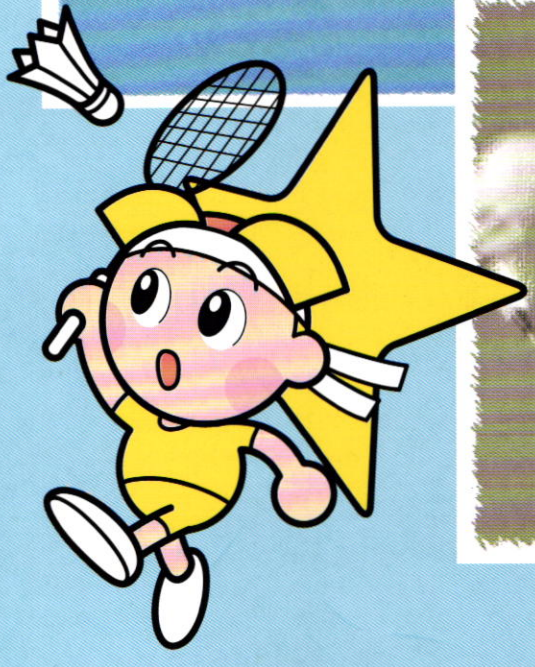
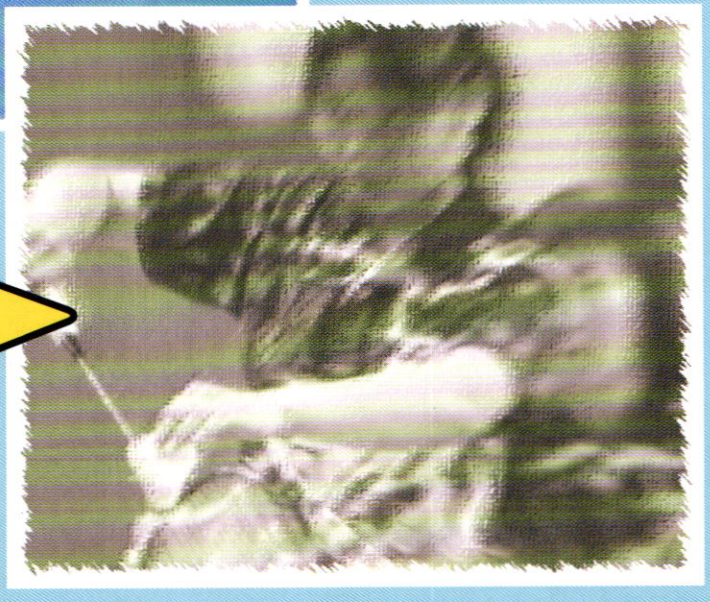
晴れの国おかやま国体

The 60th National Sports Festival in OKAYAMA, the Land of Sunshine

第６０回国民体育大会夏季大会
バドミントン競技会
プログラム





期　日／平成１７年９月１０日(土)～１３日(火)

会　場／岡山市総合文化体育館

主　催／(財)日本体育協会・文部科学省・岡山県
(財)日本バドミントン協会・岡山市

(日体協マーク)

国民体育大会マーク

昭和22年に国民体育大会のシンボルとして制定され、第2回大会から使用されることになった。

30度右傾斜の赤色の火炎を直径の10分の1の幅の紺青色の円帯で囲んである。

アマチュア・スポーツマンのあり方

（「日本体育協会スポーツ憲章」抜粋）

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自らの属する団体の規則を遵守し、フェアプレーに終始する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- スポーツを行うことによって、自らの物質的利益を求めない。
- スポーツによって得た名声を、自ら利用しない。

テーマ

晴れの国おかやま国体

岡山県は、雨の少ない温暖な気候に恵まれた「晴れの国」。輝く太陽と青空のもとで開催されるおかやま国体は、全国から集う選手の最高の晴れ舞台です。

スローガン

あなたがキラリ☆

競う人、応援する人、そして支える人。大会は一人ひとりが主役です。だれもが参加でき、喜びを分かち合える「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」で、あなたもキラリと輝いてください。

シンボルマーク

鮮やかな緑色の楕円は、２１世紀の開かれた「Ｏｋａｙａｍａ」の「Ｏ」、豊かな自然に恵まれた岡山で開催される「晴れの国おかやま国体」のステージを表しています。青い星の形は、すがすがしい青空の下、「あなたがキラリ☆」のスローガンどおり、国体に参加するすべての人びとが、キラリと輝く姿を表現しています。

マスコット



ももっち

岡山を代表するヒーロー、桃太郎をスポーツの大会にふさわしくアレンジしました。髪はスローガンを表す「キラリ」のカタチ。大会に参加するすべての人へ元気いっぱいエールを送ります。

目　　次

あいさつ	第６０回国民体育大会	会長	森　善朗	1
あいさつ	文部科学大臣		中山成彬	2
あいさつ	財団法人日本バドミントン協会	会長	綿貫民輔	3
歓迎のことば	「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」実行委員会会長	岡山県知事	石井正弘	4
歓迎のことば	「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」岡山市実行委員会会長	岡山市長	萩原誠司	5
歓迎のことば	岡山県バドミントン協会	会長	岡﨑　彬	6

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規定 …… 7
国民体育大会会長トロフィー授与規程 …… 8
大会役員 …… 9
競技会役員 …… 13
競技役員 …… 15
競技補助員 …… 17
式典補助員 …… 19
競技会係員 …… 20
競技会補助員 …… 21
総則 …… 22
競技別実施要項 …… 28
開始式次第 …… 31
表彰式次第 …… 32
開始式入場行進選手集合所配置図 …… 33
開始式入退場行進順路図 …… 34
表彰式入退場行進順路図 …… 35
競技日程 …… 36
タイムテーブル …… 37
成年女子組合せ …… 38
少年男子組合せ …… 39
成年男子・少年女子組合せ …… 40
バドミントンを楽しく見るために …… 41
都道府県別参加人員一覧表 …… 43
都道府県別出場監督・選手一覧表 …… 44
競技成績採点方法 …… 60
総合成績一覧表 …… 61
過去の成績一覧表 …… 62
競技記録 …… 81
競技会場配置図 …… 82
練習会場使用日程表 …… 85
練習会場案内図 …… 86
競技上の注意 …… 90
審判上の注意 …… 92
昼食弁当の斡旋について …… 93
医療救護について …… 94
輸送について …… 95
競技会関係電話番号一覧表 …… 96
（財）日本体育協会・文部科学省・都道府県本部宿舎一覧表 …… 97

あ い さ つ



第 60 回国民体育大会会長
財団法人 日本体育協会
会長 **森 喜朗**

秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、温暖な気候と美しい瀬戸内の自然に恵まれた、ここ岡山県において、第 60 回国民体育大会夏季大会が盛大に開催されますことは、誠に喜ばしいことであります。

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、健康で明るく豊かな国民生活に寄与することを目的として、毎年開催される我が国最大のスポーツの祭典であります。

昭和 37 年に開催された第 17 回大会以来、43 年ぶりに岡山県下で開催される本大会は、「晴れの国おかやま国体」の愛称のもと、195 万岡山県民の皆さんが英知と情熱を結集し、真心を込めて、その準備に万全を期された大変意義深い大会であります。

全国から厳しい予選を勝ち抜き、本大会に参加された選手の皆さんは、日頃鍛えた力と技を存分に発揮して競技されるとともに、地元の皆さんとの心暖かな交流の輪を広げられ、実り多い大会とされるよう切望いたします。

終わりに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力をいただきました地元岡山県をはじめ、ご関係の皆様方のご支援、ご協力に対し、心から感謝の意を表し、併せて大会の成功を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。



あ　い　さ　つ

文部科学大臣　**中山　成彬**

秋篠宮同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、ここ岡山県において、第60回国民体育大会夏季大会が盛大に開催されますことは、誠に喜ばしいことであります。

スポーツは、人々に夢と感動を与え、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や、国民一人一人の心身の健全な発達に大きく寄与するものであります。本年は国連の提唱する「スポーツと体育の国際年」であり、教育・健康・平和の促進にスポーツを活用していこうとする国際的な取り組みの年であります。

こうした中、第60回という大きな節目を迎えた国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間に親しまれるとともに、長年にわたりスポーツの振興に極めて重要な役割を果たしてまいりました。

「晴れの国おかやま国体」は、岡山県として昭和37年の第17回大会以来43年ぶりの開催となり、時代の要請に応えた「新しい国体」を目指し、岡山らしさを随所に盛り込んだ、誠に意義深い大会であります。

郷土の代表として参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、この機会に、全国の仲間や岡山県民の皆さんと交流の輪を広げられ、思い出に残る大会としていただくことを願っております。

終わりに、「あなたがキラリ☆」のスローガンの下、県民総参加で開催の諸準備に当たられた地元岡山県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様方の御支援・御協力に対し、心から感謝の意を表しまして、ごあいさつといたします。

あいさつ



財団法人日本バドミントン協会

会　長　**綿貫民輔**

「あなたがキラリ☆」をスローガンのもと、雨の少ない温暖な気候に恵まれ、中・四国の交通拠点として明るい未来を有する、ここ岡山市において、第６０回という記念すべき「晴れの国おかやま国体」バドミントン競技会が開催されますことは、誠に喜びに堪えないところであります。

ご承知のとおり、我が国バドミントン界は、一昨年のアテネオリンピックの教訓に立ち、メダルの取れる選手の輩出を最重点施策に挙げ、競技者育成プログラムの実践をスタートさせており、昨年の国際大会においては上位入賞を果たすなど徐々に成果が現れつつあります。

その中で、国民体育大会は、全国を代表する選手によって競われる国内最大のスポーツの祭典であり、斯界の競技力向上には欠くことのできない重要な役割を担っています。都道府県あるいは各地区を代表される選手諸君には、郷土の栄誉と栄光に向かって、日頃の取り組みの成果を十二分に発揮され素晴らしいプレーを展開されますよう期待いたします。

終わりに、本競技会開催にあたり、誠心誠意ご尽力賜りました岡山県並びに岡山市の関係者、地元協会の各位に対し心からお礼を申し上げまして、ごあいさつといたします。



歓迎のことば

「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」
実行委員会会長

岡山県知事　**石井　正弘**

秋篠宮同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、全国各地から多数の選手、役員の皆様をお迎えして、第60回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」夏季大会〇〇〇〇競技会を開催できますことを、大変うれしく思います。195 万岡山県民を代表いたしまして皆様を心から歓迎申し上げます。

「晴れの国おかやま国体」は、従来の慣例にとらわれることなく、これからの国体の先駆けとなるよう、簡素な中にも真心のこもった岡山らしい魅力と感動にあふれた岡山発の新しいスタイルの国体を目指し、県民の総力を挙げて開催するものであります。

選手の皆様には、「あなたがキラリ☆」のスローガンの下、栄えある郷土の代表として、日ごろ鍛えられた力と技を存分に発揮されますとともに、一緒に参加される選手はもちろんのこと、運営に携わる役員、ボランティア、応援の皆様との交流を深められ、多くの感動を分かち合うことができますよう祈念しております。

また、御来県の皆様には、これを機会に、岡山の文化や自然との触れ合い、県民とのさまざまな交流を通して、「おもてなし」の心あふれる岡山の魅力を感じていただければ幸いでございます。

終わりに、本大会の開催に当たり、多大な御支援、御尽力をいただきました関係の皆様に心から感謝を申し上げまして、歓迎の言葉といたします。



歓迎のことば

「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」
岡山市実行委員会　会長

岡山市長職務代理者　岡山市助役　**菱川　公資**

第６０回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」バドミントン競技会が、本市において盛大に開催されますことは誠に光栄であり、市民とともに心からご歓迎申し上げます。

本市は、旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置し、南部は地味豊かな沃野、北部は吉備高原につながる山並みが広がっております。加えて、温暖な風土により山海の幸に恵まれ、また、古代吉備文化のきらめきや雄藩の繁栄を今に伝える岡山城、日本三名園のひとつ後楽園をはじめとする歴史的文化遺産の数々に触れることができます。こうした自然環境や歴史を背景に、政治経済はもとより、交通、教育文化、医療福祉などさまざまな都市機能を備えた拠点都市として発展してまいりました。

現在、本市では、「国際・福祉都市」の実現を目指して、外に向けては力強く輝き、内に向けては優しいまちの整備を進めております。自分たちのまちを愛し、心から誇ることができるような、また、世界から岡山に人々が自然に集まってくるような、そんな魅力の輝くまちを築くため、市民協働によるまちづくりに取り組んでおります。

本大会の開催にあたりましては、「あなたがキラリ☆」のスローガンのもと、出場される選手の皆様一人ひとりが、かけがいのない舞台でキラリと輝いていただけるよう、市内各地域の特色を生かし、市民の心のこもったおもてなしで、皆様をお迎えしようと準備を進めてまいりました。

選手の皆様には、誉れ高き郷土の代表として、これまで培われた力と技を十二分に発揮され、秋空のようにさわやかな感動を呼び起こす素晴らしい熱戦を展開されますようご期待申し上げます。

また、この機会に本市の豊かな風物にも親しんでいただき、多くの仲間の方々とも交流を深めていただければ幸いに存じます。

終わりになりますが、本大会の開催に当たり、ご尽力くださいました関係の皆様方に対しまして深く敬意と感謝の意を表しますとともに、大会のご成功と選手の皆様方のご健闘を心よりお祈り申し上げまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



岡山県バドミントン協会

会　長　**岡﨑　　彬**

全国各地から厳しい予選会を勝ち抜かれた、選手・監督並びに役員の皆様を岡山市にお迎えし、第60回国民体育大会バドミントン競技会が開催できますことは、誠に喜ばしく心より歓迎申し上げます。

岡山県での国民体育大会は、昭和37年に第17回大会が開催されて以来43年振り2回目の大会開催となります。開催地岡山市をはじめ、岡山県バドミントン協会関係者は、ご来県される皆様を心温かくお迎えし、円滑な競技運営の下で存分なプレーができますように万端の環境づくりに誠心誠意努めてまいりました。

出場される選手の皆様には、郷土の期待と栄誉のために、日頃鍛えた力と技を充分に発揮され悔いのないプレーを展開されますようご期待申し上げますと共に、この大会を通して更に友情の輪を広げていただき、思い出に残る素晴らしい大会となりますことを念願いたしております。

「あなたがキラリ☆」をスローガンに開催されます、2005年「晴の国おかやま国体」は、国民の充実した生涯スポーツの一環として、バドミントン競技人口の拡大と競技力の向上に寄与するものと、大いに期待をされております。

終わりに、本大会の開催にあたり、ご支援、ご協力を賜りました財団法人日本バドミントン協会をはじめ、地元岡山市、並びに関係機関、関係各位に厚くお礼申し上げると共に本大会の成功を心からご祈念申し上げ歓迎のことばといたします。



天　皇　杯　　皇　后　杯

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規定

第１条　天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、秋季大会閉会式に授与し、次回冬季大会最初の競技会開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

（１）信託会社又は確実な金庫の保管する。

（２）破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

（３）財団法人日本体育協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　　本規定は昭和４１年４月１日制定

昭和４５年１月２２日一部改訂

昭和４８年７月１０日一部改訂

昭和５４年５月　９　日一部改訂



大会会長トロフィー

国民体育大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、各正式競技男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回大会開始式において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

（１）責任を持って保管する。

（２）破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

（３）優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第１条第２項の場合は当該都道府県で協議して決めるものとする。

（４）財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合には、これに応じなければならない。

附　則　　本規程は昭和４５年４月１日制定

昭和４５年１月２２日一部改訂

昭和４８年７月１０日一部改訂

昭和５４年５月　９　日一部改定

大会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長　中山　成彬

会長　森　喜朗

副会長　長沼　健　宮田　守夫　素川　富司　石井　正弘

顧問　青木　半治　安西　孝之　猪谷　千春　栗原　祐幸

鈴木　俊一　帖佐　寛章　日比野　弘　石川　武

石榑　詔之　大谷　正俊　奥田　碩　尾崎　宏

木下　喜彦　監物　永三　竹田　恆和　武田　政義

中山　昌作　古川　徹　渡邊　康二　川口　千代

市川　正　勇崎　恒也　清藤　六郎　松田　郁夫

佐藤　博俊　蒔苗　昭三郎　歌丸　一夫　柳田　昌秀

青木　英典　上村　一志　櫻井　勝利　土村　孝夫

碓井　進　大代　忠男　柱山　嗣廣　赤星　哲志

坂本　公仁　小林　健孜　古田　善伯　齋藤松次郎

谷口　繁　吉川　勉　桝岡　義明　林田　昭喜

大桑　埴嗣　佐藤　廣幸　大野　徹　竹下　隆信

組橋　正人　五ノ坪和彦　中村　哲夫　松本　通憲

井上正一郎　出口啓二郎　竹原　英治　出口　幸男

中馬　光久　堀之北重孝　神谷　育雄　櫻井　孝次

佐野　和夫　平田　竹男　五十嶋博文　飯田　藍

浅見　榮一　本山　茂樹　福島　修　橋爪　静夫

二木　英徳　伊藤　五郎　有賀　豊文　鈴木　啓三

河野　博文　松尾　謙資　山下　泉　鈴木　久雄

笠井　達夫　木村　興治　大山　則夫　田中　英壽

富澤　香代子　松下　三郎　甲佐　清久　遠井　稔男

鴨川乃武幸　小杉信太郎　木本　由孝　真下　昇

田中　文男　藤田　二郎　飯塚　十朗　蓮見　圭一

片岡　勲　川井　武彦　渡辺　幹也　宮川　昌子

相澤　隆也　高波　謙二　後　勝　田中　秋箸

後藤　和雄　遠藤　容弘　村岡　久平　菅原　春雄

齋藤　寛之　齋藤　浩　古賀　珪一　松島　宏

宮田　和久　荒井　憲二　衣笠　剛　西郷　捷

小野　清子　中島　武範　三辻　陽夫　高橋　眞琴

天沼　照夫　雨宮　忠　石川　六郎　梅村　清弘

日枝　久　福山　信義　松本　好雄　磯野　靜久

塩谷　立　小島　敏男　下村　博文　小泉　顕雄

結城　章夫　白川　哲久　近藤　信司　玉井日出夫

江田　五月　片山虎之助　谷合　正明　藤井　基之

小枝　英勲　橋本　信子　永山　克巳　中尾　嘉伸

山岡　治喜　花岡　薫　田口桂一郎　赤木　恭平

参与

川淵　三郎　山崎　達光　綿貫　民輔　林　利博
福田　康夫　山本　秀雄　大久保尚武　松浦　重治
堀　達也　増田　寛也　浅野　史郎　金森　義弘
佐藤栄佐久　角田　芳夫　福田　富一　横田　英一
沼田　武　石原慎太郎　松沢　成文　泉田　裕彦
石井　隆一　谷本　正憲　池田　俊男　山本　栄彦
田中　康夫　田口義嘉壽　斉藤斗志二　後藤　淳
岩名　秀樹　國松　善次　桝岡　義明　井手　正敬
井戸　敏三　柿本　善也　木村　良樹　田渕　康允
澄田　信義　多田　公熙　二井　関成　三谷　昭夫
多田野　榮　大亀　孝裕　中内　桂郎　久保　長
井本　勇　金子原二郎　永野　光哉　広瀬　勝貞
荒川　隆　伊藤祐一郎　稲嶺　惠一
西阪　昇　岡本　薫　篠崎　資志　中尾　哲雄
森脇　久紀　増川　英一　蜂谷　弘美　山本満理子
小倉　弘行　加藤　浩久　遠藤　康洋　栗山　康彦
神宝　謙一　西岡　聖貴　波多　洋治　小林　清子
久徳　大輔　高橋　戒隆　蓮岡　靖之　佐藤　真治
姫井由美子　三原　誠介　森本　徹磨　吉田　政司
赤坂てる子　武田　英夫　山田総一郎　長瀬　泰志
草刈　隆幸　池田　道孝　井元乾一郎　末藤　守
伊藤　文夫　小田　圭一　渡辺　英気　内山　登
小野　泰弘　河本　勉　岸本　清美　小田　春人
藤村　欣裕　住吉　良久　鈴木　一茂　景山　貢明
高橋　英士　古山　泰生　天野　学　中塚　正人
市村　三次　三村　峰夫　千田　博通　森　正人
桑山　博之　戸室　敦雄　大杉　尚久　蜂谷　勝司
原　寿男　内野　淳子　島津　義昭　黒崎　一秀
龍門　功　高橋　香代　服部恭一郎　大原謙一郎
清田　寂順　宮野　正司　山田　宗志　前田　一浩
山本　剛　中野　行雄　宮嵜　雅則　池上賢太郎
藤原　師仁　伊丹　文雄　福島　克臣　小野　隆夫
竹内　武夫　岡崎　明宏　大山　正治　岡田　浩明
青野　義昭　富阪　正和　牧野　泰三　小林　登
桑原　五郎　末長　範彦　永島　旭　西本　和馬
藤井　昭佐　井上　恵一　水野三重子　宮地　暢夫
團　琢磨　大倉　喬二　則武　章二　泉　孝次
松田　英毅　稲葉　侃爾　定金　聰　岡崎　彬
小嶋　光信　佐々木勝美　中島　博　大本　栄一
竹内　康夫　長野　士郎　森崎岩之助　石田　祥史
黒瀬　定生　佐藤　信義　坂手　卓資　向井　正剛
藤原　義章　光岡　正友　小野　雄三　菅原　弘

	福間　武男	柾木　繁男	来山　幸夫	小林　清
	池　芳昭	岸　進	井原志登己	前嶋　奥衛
	徳田　治良	藤田　長久		
委員長	泉　正文			
副委員長	岡崎　助一	小見　夏生	古矢　博通	
総務委員	荒川　昇	豊島　吉博	木内　貴史	菅原　哲朗
	杉山　茂	瀬尾　洋	乃美幸一郎	福林　徹
	三ツ谷洋子	森　正博	吉井　常浩	松田　光晥
	清水　邦夫	井上　数利	安部　喜方	菅野　正行
	菊　幸一	小林　隆	篠宮　稔	三宅　勝次
	山口　香	阪本　勝彦	石山　修	國安　教善
	古賀　香正	川口三三夫	山口　徹正	三浦　一男
委員	山本　征悦	鈴木　浩二	澤村　哲郎	林　辰男
	森　清吉	長井　俊蔵	木原　征治	渡辺　政史
	不老　浩二	竹田　幸夫	平野　正治	大矢　豊治
	昇　隆夫	菊地　俊美	江成　元伸	岡田　行雄
	藤原　伸二	白川　誠之	安井　和男	安岡　嘉彦
	末松　英司	佐藤　宣践	尾崎　正則	浅岡　武
	長谷川欣一	佐川　肇	田中　英一	岡本　武勝
	仙石　富英	五十嵐　順	鈴村　健治	生沼　剛
	君塚　晋	藤田　廣大	笹田　矩史	大塚　緑
	佐藤　直亮	関根　宏一	黒川　光隆	田名部和裕
	青田慎太郎	添谷　大輔	牧野　耕	前田　俊夫
	水田　功	渡邉　彰	今関　豊一	嶋倉　剛
	土松　憲次	菅野　映之	根来　恭子	水井　義武
	新井　忠	坂元　譲次	米原　泰裕	猪村　篤
	山本　幸男	日下　光彦	南　博徳	山岸　仁
	山田　裕典	徳永　章人	中田　哲	松野　英雄
	金尾　博	笠井　健一	岡本　忠良	梶川　政文
	松井　守	吉岡　洋介	釜瀬　司	石原　和明
	尾崎　健治	小原　信幸	千田　益生	谷本　博信
	津田三保子	鳥越　俊男	永野　資幸	額田　克海
	畠瀬美佐子	松井　明	三浦　好司	柚木　脩
	和気　誠	坪井　恭紀	中西　美治	山本　勉
	矢花　司	相坂　一則	高橋　光彦	菊地　茂樹
	八鍬　廣志	渡辺　正典	市田　和夫	髙橋　健二
	滑川　正昭	森島　堅二	齊藤　三郎	廣川　貞夫
	青木　寛	和田　英治	明石　一雄	茅野　英一
	落田　真一	立川　克雄	横嶋　信生	山岸　勇
	末平　佑二	森　幸一	吉岡　重文	三村　保
	柴田　益孝	山梨　幹郎	土屋　正男	津田　誠
	津田　欣也	中川　安久	三田　光夫	西村　幸夫

浅野　賢一　　老田　準司　　吉本　知之　　高木　正皓
小林　勢治　　森岡　裕策　　川口　一彦　　山崎　嘉彦
下岡　博司　　安田　芳彦　　中村旗四士　　藤本　幸一
宇川　和幸　　今井　裕一　　松永　和生　　北御門哲男
黒田　哲夫　　坂口　和隆　　黒木　武敏　　瀬田　豊文
瑞慶覧長行

競技会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長	菱川　公資			
会長	綿貫　民輔			
副会長	三宅　祐司	清水　務	遠井　稔男	岡﨑　彬
	石田　祥史	黒住　英明		
顧問	愛知　和男	沓掛　哲男	森　喜朗	関谷　勝嗣
	森田　一	久間　章生	橋本龍太郎	林　芳正
	伊藤　基記	加藤　三夫	上田　敬次	杉田　安雄
	宮澤　宏之	村上　忠治	八木橋伸夫	佐藤　保
	塩川　甫	橋本　角市	相場　清一	権田　正一
	丸山　嘉久	植田　博宣	原　二三雄	秋元　信一
	清水規矩雄	平田登志郎	青木　昭二	池田　昌道
	毛利　清志	川端　昇市	高橋　重夫	中島　寿禧
	五十里光秋	内多小五郎	小宮　淳宏	吹田　修一
	牧野　武	村山　幸雄	戸田　清一	浜中　誠
	福岡　幸一	伊豆　晃	岡本　武利	本郷　節生
	今北　基夫	菊地　利明	野村　嘉明	日高　壯
	渡辺　成雄	伊藤　紘一	小飼　栄一	里見　光徳
	山根　怜	佐藤　芳朗	竹林　克彦	油井　秀男
	浅岡　武	木村　寛	堀江　繁	秋草　直之
	関場　武	伊佐山正和	小野　理	小林　純幸
	小山内信一	竹林　克彦	菅原　周一	齋藤　隆夫
	金森　義弘	須藤　博	手塚　克彦	日野　昇
	唐澤　清一	杉田　博	保坂　和也	宮川　忠和
	金子　忍	高澤　基	高山　和夫	上野　忠
	後藤　淳	金森　正	神谷　哲郎	澤　長壽
	田中田鶴子	北　義一	藤田　庸右	石田　真敏
	加藤　博司	成相　安信	深山　英樹	池上　任
	西野　昌明	瀧山　一甫	西森　潮三	四島　司
	野口　良治	松本　孝一	近藤　稔	池田　徹
	金城　芳雄	花岡　薫	奥田　哲也	
参与	花岡　牧夫	岡村　英男	富田　善明	板垣　隆房
	星野　忠男	藤本　滋	加藤　寛治	原　紀征
	地崎　昭宇	片山　義久	中根　公郎	広本　勝裕
	柳本　堯敏	加藤　孝昭	重井　文博	山田録二郎
	森口　隆彦	木村　基樹	有井　靖和	礒谷　和行
	磯野　昌郎	稲葉　泰子	浦上　雅彦	太田　武正
	太田　正孝	小川　信幸	垣下　文正	加藤　公彦
	楠木　忠司	小林　寿雄	崎本　敏子	酒見　寛
	佐々木清巳	柴田　健二	下市香乃美	髙月由起枝
	鷹取　清彦	田口　裕士	竹永　光恵	田尻　祐二
	田中　慎弥	田畑　賢司	田原　清正	土肥　啓利

則武宣弘　則武伸一郎　藤沢和弥　升永市郎　三木亮治　安井聰　若井達子　植松健　安信治雄　塚本千秋　風早正毅　齋藤泰清　繁定昭男　大友哲也　江見冨美男　松本健五　高取拓司　兼松久和　末吉正人　秋山芳郎　平林久一　石川浩朗　横山卓司　山本勉

難波弘　羽場頼三郎　藤原頼武　松島重網　三宅員義　横田悦子　井口義也　清水陞　井上眞澄　天野勝昭　山本征雄　長島純男　岡村頼敬　小林良久　酒井五津男　石橋洋志　三宅勝重　皆木英也　柴部廉　大橋美勝　土井浄雄　井上甫之　團琢磨

藤井義人　本郷由子　松田安義　宮武博　吉本喜一　高田武子　山根文男　内田通子　池上進　荻野淑子　奥田さち子　廣瀬毅　髙橋義昭　萩原正彦　佐古親一　曽田佳代子　大屋敷直健　黒田英雄　梶川政文　淺野哲郎　大森壽夫　後藤清志

成本俊一　竝和秀光　伏見源十郎　松岡茂　宮川日吉　山田勇　和氣健　渡邉唯志　三竿季彦　内田博子　川島正治　藤原勲　守屋勇　石井宏幸　阪本泰基　中塚弘章　青山昴　佐藤久子　柏原光春　宗清美佐子　小野田昌三　片山洋子　木本克彦　三浦孝仁　関根義雄

委員長
副委員長
委員

藤原航　阿部秀夫　川島一郎　野村安忠　村井広美　瀬戸勝　平島秀典　中島英喜　藤原道弘　竺原博文　西寛　藤井一男　松岡純子　藤井達男　小河原東仙　三宅義文

小松貴　今井茂満　鈴木勝之　平林良治　山田順一郎　熊沢凡夫　石田賢一　小田和文　内田絢子　佐々木正邦　若林秀夫　佐藤忠裕　野田修嗣　中野政宏　田中良治　上本廣昭

浅沼仁志　岩崎昭郎　高橋英夫　藤原和文　前原初美　吉原俊治　中須賀祥雅　朝霧晴夫　松本哲也　人見稔　磯永由美　佐藤民子　西崎文貴　若林邦任　青木元春　難波健治

矢部進　上原信彦　千葉健夫　真壁幹雄　橋本千代子　中山睦雄　柴田憲　藤井久美　田中泰弘　松田範明　髙見龍剛　畑健二　西義治　赤木一考　清原義之　奥田安弘

競技役員

（順不同・敬称略）

競技役員長	山田順一郎			
総務部長	藤原　航			
総務副部長	吉原　俊治	石田　賢一		
総務委員	藤井　一男	深井千枝子	松岡　純子	田中　良治
	内田　絢子	人見　稔	福田　功	朝霧　晴夫
	松永　美香	佐々木正邦		
競技審判部長	藤原　和文			
競技審判副部長	小田　和文	中山　睦雄	柴田　憲	若林　秀夫
競技委員	竺原　博文	西　義治	田枝　誠一	小沢美智子
	佐藤　康裕			
総合成績計算委員長	上原　信彦			
総合成績計算委員	藤井　久美	山田　邦子		
進行主任	平島　秀典			
進行委員	金田　修一	久松　慎治		
記録主任	西　寛			
記録委員	川端　秀男	中野　政宏	坂本留美子	山田千津子
	小河原東仙			
シャトル主任	日笠　悌一			
シャトル委員	杉平　秀二	小西　栄子		
掲示主任	磯永　由美			
掲示委員	佐藤　民子	関　啓之		
点示主任	上田　富広			
点示委員	中村　謙友	荻野　克己	畑上　卓	
報道主任	瀬戸　勝			
報道委員	藤原　正道	坂本　典洋		
放送主任	中島　英喜			
放送委員	真鍋　陽子	穐田久美子	小河原治	
招集主任	中須賀祥雅			
招集委員	田中　泰弘	片岡　光	森　章博	
会場主任	松本　哲也			
コート主任	赤沢　康宏	東田　隆哉	横田　隆二	佐々木真由美
	小寺　裕之	橋本　英俊	藤原　由江	松本　豊彦
	神崎　義博	中浜　昌宏		
審判員	村田　弘志	船木　正博	遠井　努	倉科　儀男
	塩沢　源市	西川　浩	三王　知治	黒瀬　雅彦
	谷上　和年	今井　正男	岩垣　毅	田中　孝博
	平井　謙	安達　俊夫	利行　好男	松本　克芳
	酒井　正	福永　篤	今井　敬典	大西　一暢
	中元　一幸	阿部　秀一	水船　彰雄	田井　賢秀
	横田　寿弘	大倉　達也	松岡　和俊	枝木謙太郎
	高原　芳夫	河合　隆司	永瀬　泉美	大江　俊彦

	三好　研二	坂口　保明	石本　一豊	吉田　正輝
	久山　浩一	中西　悟	稲谷　和昌	山本　典子
	福尾　雅俊	松本　正直	水舟　一郎	河本　健二
	野田　修嗣	片岡　俊之	詫間　利昭	黒住　浩史
	白神　和彦	市川　佑	浅原　芳弘	
線審員	加藤　宏幸			
線審主任	畑　健二			
線審員	武政　英和	田邊　靖博	樋口　正幸	末田　真一
	清水　幹子	中原　修二	藤本　和宏	高取　亨一
	田中　敬	藤井　裕幸	三好　誠	前田　雅美
	山名　正晃	豊田　雄一	三浦　博文	赤尾　大助
	長谷　和邦	那須　敦子	峯　知恵美	金崎　敏男
	大塚貴美代	篠田　絵里	岡村　愛	瀬戸　恵
	水川　卓士	勘藤　靖永	高橋　季規	中須賀史行
	冨田　真三	杉本　康介	三宅　伸介	奥本美津己
	坂本　昌彦	田中　薫	山本　倫久	田邊ひとみ
	小池　美香	寺山加代子	森安　秀隆	梶原　恵子
	西　弘子	香山百合子	山下　良依	内川良太郎
	村上　世紀	加賀　竜也	岡野　圭典	岡　和宏
	出原　和枝	末包　唯子	小田　豊子	藤森久美子
	石原　桂子	藤九　明美	小田垣恵美子	久保田博子
	古峪　明美	立石　三江	岡崎　由佳	草加　旬望
	伊久　弘子	岡部　信子	秋田　智子	中浜　雅子
	浅原　雅子	定森　道代	安藤　恵理	石湯　洋子
	逢澤　直子	藤本登志子	牧　愛子	中川　善子
	浅原　達也	高山　貴仁	竹内　雅章	稲田　耕治
	中山健太郎	稲田まち子	安藤　義光	治部美智子
	小幡　康弘	岡武　浩司	内村佳津子	松永　直己
	川波　秀浩	岩井　宏子	香山　光明	山下　剛
	入野　耕治	今宮　龍也	時光　祐司	藤田　晃司
	三好　幸夫	松本　純弥	内海　久美	寺田みどり
	仁後　清美	光本　純子	佐伯　晃子	小野　美香
	石戸　祐介	穴吹　栄二	中山　博登	田中　恭子
	藤田　昭敏	松尾　淳一	後藤　恵	
得点表示主任	光本　清			

競技補助員

（順不同・敬称略）

岡山県立岡山芳泉高等学校	生田　裕子	大野　萌	長田　麻美子	尾関　理美
	亀田友加里	小橋　麻衣	徳永　瞳	濱崎　希
	藤原亜佑子	浅沼　志保	上井麻衣子	岡本　彩奈
	角野　菜摘	葛尾紗也佳	難波　有希	新谷　香織
	吉田　有希			
岡山県立興陽高等学校	石倉　聖也	小椋　隆博	三田　成生	藤田　涼平
	宗野　悠希	冨田　耕志	清水　大輔	杉本　裕一
	松井　明直	谷　惇平	西山　雄士	
岡山県立倉敷工業高等学校	小野　惇弘	山本　修司	生山　託実	前田　晃輔
	安井　宏晃	福本　知也	島田　皓司	大田　茂雄
	片岡　辰臣	森坂　勝平		
岡山県立倉敷商業高等学校	天本　朝子	井上　千聡	柏野　友美	平井久美子
	岡本　歩	石原　美緒	高取　智恵	藤井佑香梨
	高越真富果	中野　可穂		
岡山県立水島工業高等学校	高地　恭弘	黒川　亮	藤原　理人	中野　良祐
	川上　佑輔	中尾　修平	矢部　拓也	渡辺　一磨
	末吉　佑任	水川　文人		
倉敷翠松高等学校	豊田　早記	宮原　里奈	尾上　幸希	岡田　麻希
	臼井　里奈	高橋　美香	井川　美幸	池田　千恵
	藤井　愛子	清水　美穂		
岡山県立西大寺高等学校	井元　貴博	木内　崇弘	木下　翔太	豊福　純平
	後藤　英次	黒﨑　貴雅	谷　尚樹	小崎　聖也
	芳賀　雄一	岡本　泰志	延原　隆志	菅井　浩文
	大森健太郎	剛迫　丈尚	米井　亨	井石　晴子
	林　美幸	高原　里奈	宮地　彩奈	三宅　杏季
	佐野　文美	井村　純子	角田　麻紀	松尾　知佳
	西田　真弓	高原　里沙	岡崎　りか	根岸　沙樹
	鶴海　香織	大森加奈恵		
岡山県立笠岡商業高等学校	伊東　千沙	光枝　綾子	養父　梢	尾崎　志織
	岡元美沙子	広畑　佑衣	高田悠樹乃	仁科　友希
	桑田　陽奈	原野　彩香		
山陽女子高等学校	坂本　知佳	岡崎　愛	中野　綾弥	金山　友美
	伊月　洋子	藤原　由貴	中野友里子	難波由記菜
岡山県立瀬戸南高等学校	井上　賀晴	平島　広貴	竹林　功司	鈴木　久崇
	大智　典之	藤原　一雅	松田　和也	大西　克幸
	入鹿　彰巴	熊本由香里	木曽田枝里	皿井　敦子
	保都　陽子	田淵　彩加	松浦　彩香	杉本美乃莉
	安藤　有希	近藤のぞみ	樋口　綾香	青木　アヤ
	竹原　利恵	西尾　優美		
岡山理科大学附属高等学校	田淵　竜也	中野　輝	吉川　元基	山崎　竜次
	阪井　貴久	實金　靖浩	今岡　元気	近藤　悠輔

	矢積　佑一	友野　瑛太		
岡山県立総社高等学校	岡﨑　恵祐	友野　　純	山本　龍平	六名　良輔
	森　　雄司	佐野　　司	高谷　修平	小林　直樹
	隅田　幸司	研谷　弥伸	杤木　遥平	森長　雅巳
岡山県立玉野光南高等学校	磯崎　悠介	内田　純平	岡本　将範	室井　利之
	柏内　雅弘	松本　海里	若林　　功	斉藤　泰紀
	吉田　圭吾	森若　直也	牧野佑城雄	平田　実里
	三宅　昭代	山口奈緒子	植田　千晶	矢吹　美佳
	塩野　藍奈	原田　由衣	佐藤まゆこ	山下　　藍
	村本知栄子			

式典補助員

（順不同・敬称略）

式典アナウンサー	松田ひとみ	村井　俊彦		
式典アシスタント	柚木　美穂	坂本　知世	猿渡　由佳	佐伯香名子
	角田　行子	宮武　真弓		
プラカード保持者	吉川　舞	安藤　桃子	板倉　加奈	宮川　千尋
行進誘導員	稲川　真央	大川亜利沙	河原菜津子	高田　朱加
	別府　綾香	松本　晴美	青井　仁美	塩野　幸美
	福田　桃子	宮崎　絵梨	岡田佑里恵	清水　麻衣
	日笠まりこ	東山　麻衣	福島　美貴	河田菜津美
	清水　美香	福島絵梨子	大倉　日生	山本　真実
	岸原　知美	佐藤　寛子	加藤　美沙	田中　　幸
	坂本　葉月	広岡みのり	谷　紀里子	佐藤　　洋
	藤田　　彬	末吉　　徹	重成　優斗	青木　陽典
	赤松　則樹	阿部　友哉	奥村　将志	樽崎　一志
	藤井　雅浩	藤井　信彦	山本　貴博	藤田　　悠
	石原　康平	神山　正之	伊藤　久尊	沖永　和成
	中村　和希	西野　紘生	宮里　知治	道仙　智章
	福田　健人	貝原　佑典	川田　博貴	次田　圭佑
	友廣　圭二	原田　拓弥	石井　貴大	安井　英人
	村上　祐貴			
賞状筆耕者	佐藤　文雄	高畑　敦子	三原　貞子	岩藤　修昌
	柴部　祐子	柴部　朋子	山上　隆恵	原　　敏子
	沖野　敏子	坪井　節子	萱野　和江	武内　　薫
	同前　静枝	湯浅　治子	小橋さちえ	
手話通訳者	土屋　教子	西神　瑞恵	大岡　政恵	羽場　弥生

競技会係員

（順不同・敬称略）

競技会場部長	酒井五津男			
競技会場副部長	隅田　育佳			
総務班長	安藤　満久			
総務係	中山　徹	水嶋　賢吾	藤田　健一	宮川　博文
	斎藤千加子	林　恭之	斎藤　誠	
医事係	岸本　文美	水嶋　和子		
会場整理係	廣門　均	今井　浅則	西村　浩二	矢野　光信
受付案内係	今川　眞	村上　園美	門瀬　勝憲	熊崎　伸治
休憩所係	三木　泰介	内藤　始	高見　恵	
施設班長	横山　治康			
競技会場係	中尾　隆志	橋爪　裕史	高橋　哲治	森本　直樹
輸送交通係	吉岡　健二	片山　哲次	中川淳一朗	太田　武男
	室井　康宏	奥山　正毅	原田　雅光	勝部　公詩
	池内　大介	大西　映徳	河相　元三	青江　洋典
	荒木敬一郎	森野　道浩	光本　和正	重定　秀紀
	八木　正男			
環境係	片岡　広正	岡本　安正	西江　邦敏	池田　孝志
	川上　保雄			
練習会場係（岡山市立芳泉小・中学校体育館）				
	豊田　誠久	菅井　友昭		
練習会場係（六番川水の公園体育館）				
	石井　恒至	西村　朋一		
練習会場係（㈱クラレ岡山事業所体育館）				
	阪本　成則	京深　誠		
練習会場係（岡山県立興陽高等学校体育館）				
	岡崎　彰夫	玉田　重人		
記録式典班長	楢原　薫			
式典表彰係	片岡　清	繁田　寛喜	児子　圭二	福田　正
	西　佳春	藤井　茂	黒住　周一	木村　美紀
	田辺　千帆			
記録速報係	大森　勲	落谷　佳子		

競技会補助員

（順不同・敬称略）

澤原　諄一
三上　陽子
赤岩　素子
門野　道文
角南芙美子
中原　恵理
神谷　佑香
神田　寛子
内田　智美
若林美代子
井上　直子
児仁井ひかる
河合　美織
南原　舞
入砂すみえ
柴田　早貴
田淵　斐弓
平井　幹乃
野々上文子
野々上佳菜
坪田　佳与
表　年恵
中西麻菜美
成本　千尋
徳島由紀子
難波　美穂
難波由衣佳
長倉　達郎
宮本壮太郎
日笠　愛子
上松　広栄
上松万由美

上松　由衣
佐藤　薫
三木原香乃
平田　千尋
高橋　愛子
林　美希
岡　紗千子
藤原　理沙
岸原　桃子
岡本　祐佳
小倉　万里
浦上　明子
青井　奈々
貝原　千尋
江國由香里
枝光穂奈美
大樫真由子
大原未奈代
川上　あい
島村　絵里
田島　笑
中村　泉
毛利　文乃
岩本　智子
海老原宏美
神崎　愛
辻　あかね
濵田　翔子
藤原　薫
古塚奈津美
田淵　萌愛
山本　梨子

上込のぞみ
上村　春花
工藤　唯
成冨　利子
黒瀬美智子
谷中　康枝
小林　聖子
小湊阿理沙
境　詩織
山口　有里
岡本　武利
福田　好子
岸野　吉成
信岡　吉邦
鶴海　良孝
杉岡　文夫
橋本　勝
小杉　修一
大野　敬通
佐藤　誠治
雨坪　奈美
吉本　聖
井関　将基
加治家正則
國府　駿
横田　雅子
難波　利佳
早崎三佐子
柴田由加里
竹内　友紀
石井　絢沙
大町　朋子

神谷　愛理
林　志佳
梅崎　泰佳
岡田　真澄
岡田　和樹
長汐奈未子
武用　瑞穂
平賀　資尋
井上　恵子
井上　貴子
三吉亜由美
杉森　奈美
亀井　由奈
土岐　真由
河野　沙紀
赤木　裕子
林　千絵
小鉄明日香
小林　愛代
坂本　舞衣
佐藤　斗美
髙木　瞳
髙原　幸恵
畑　知子
八矢　智美
古澤　広美
堀江　智香
堀越　彩花
松本　彩花
峯　香織
山口　朋子
大崎　知美

岡本　京
香西しづか
酒井　瞳
髙木　那七
高森　光
武内美奈実
武部　未奈
谷吉麻梨子
林　実奈
福水久瑠美
藤原　秀香
森田　希望
森田　百恵
守本　亜美
八木　純子
山田磨里亜
若林　陽子
児玉　祐司
谷本　静穂
坪田佳奈子
丸岡久花利
水田千香子
大和　睦実
山本　理佐
大西　由理
富田麻奈美
畠中　千穂
春名　麻衣
平田　愛
山下　礼華

総　　則

開　催　の　趣　旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、アマチュアリズムとスポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

岡山県で開催する第60回国民体育大会夏・秋季大会「晴れの国おかやま国体」は、時代の要請に応えた「新しい国体」を目指し、より一層の充実・活性化を図るとともに、簡素・効率化を進めながら、岡山らしさを随所に盛り込んだ、魅力と感動にあふれる大会を県民の総力をあげて開催するものである。

実　施　方　針

1　大　　会

大会を夏季及び秋季に分ける。

2　実施競技

季　　別	正　　式　　競　　技	公開競技
夏季大会	水泳、サッカー、ボート、セーリング、フェンシング、バドミントン、カヌー、ボウリング、ゴルフ	ビーチバレー
秋季大会	陸上競技、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、柔道、ソフトボール、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた	高等学校野球 スポーツ芸術

3　会期及び会場地

季　　別	会　　期	会　　場　　地	会場地数
夏季大会	平成17年９月10日（土） ～13日（火） ［４日間］	岡山市、玉野市、瀬戸内市、建部町、灘崎町、瀬戸町、吉井町、倉敷市、北房町、勝田町	４市６町
秋季大会	平成17年10月22日（土） ～27日（木） ［６日間］	岡山市、玉野市、瀬戸内市、御津町、建部町、吉備中央町、備前市、瀬戸町、山陽町、熊山町、吉井町、日生町、吉永町、佐伯町、和気町、倉敷市、総社市、早島町、真備町、笠岡市、井原市、鴨方町、美星町、芳井町、高梁市、新見市、勝山町、落合町、湯原町、久世町、新庄村、川上村、八束村、津山市、加茂町、奥津町、鏡野町、中央町、久米南町、柵原町、勝央町、奈義町、勝北町、大原町、美作町、英田町	11市32町３村

4　競技方法

正式競技は都道府県対抗とし、公開競技についてはそれぞれの実施要項に示す方法とする。

5　ドーピング・コントロール検査の実施

国民体育大会ドーピング・コントロール規定に基づき、ドーピング・コントロール検査を実施する。

6　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

参加者は、日本国籍を有する者とする。

なお、その他都道府県を代表して参加する者は、次による。

(1)　参加資格

ア　各競技の選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育協会会長が代表として認め、選抜した者であること。

イ　第58回又は第59回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、第58回又は59回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ)　成年種別

a　平成16年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

(ｲ)　少年種別

a　平成16年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

b　一家転住に係る者（別記2「一家転住等」に伴う特例措置の考え方による。）

ウ　選手、監督の兼任は、同一種別内に限る。

エ　前記のほか、選手については次のとおりとする。

(ｱ)　参加選手は各季別に1人1競技とする。

(ｲ)　回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

(ｳ)　健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ｴ)　都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(ｵ)　単一大学又は実質的に単一大学の学生によって構成される団体競技のチームは、参加できない。ただし、個人競技で当該競技団体が定めた適正な予選方法により、結果として単一大学の者が選出された場合は、この限りではない。

(ｶ)　ドーピング・コントロール検査対象に選定された場合は、検査をうけなければならない。

(2)　所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

(ｱ)　居住地を示す現住所

(ｲ)　勤務地

(ｳ)　ふるさと（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

イ　少年種別

(ｱ)　居住地を示す現住所

(ｲ)　学校教育法第1条に規定する学校の所在地

(ｳ)　勤務地

※　上記の属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、平成17年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務又は通学していなければならない。ただし、成年種別の参加者が、属する都道府県として「ふるさと」を選択する場合は、この限りではない。

(3)　選手の年齢基準

ア　成年種別に参加する者は、昭和62年４月１日以前に生まれた者とする。

イ　少年種別に参加する者は、昭和62年４月２日以降に生まれた者とする。ただし、中学生以下の生徒及び児童は参加することができないが、次の競技（種目）の中学３年生は参加することができるものとする。

水泳（競泳）、陸上競技、体操（競技）

なお、年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成17年４月１日を基準とする。

(4)　前記の各事項に疑義のあるときは、（財）日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、（財）日本体育協会がその可否を決定する。

＜附　則＞

次の各号に掲げる者については、日本国籍を有しない者であっても成年又は少年の種別に参加することができる。

①　学校教育法第１条に規定する学校に在籍する生徒及び学生。

ただし、

（ｉ）　出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生及び家族滞在（中学３年生）については、大会実施要項が定める参加申込締切時に１年以上在籍していること。

（ii）　出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、留学生については、参加できない。

②　参加しようとする当該年以前に前号の規定に該当していた者。

別記１　【国民体育大会ふるさと選手制度】

(1)　成年種別に出場する選手は、開催基準要項細則第３項〔本則第７項第２号及び第９項第７号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア　居住地を示す現住所

イ　勤務地

ウ　ふるさと

(2)　「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

(3)　「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は、変更できないものとする。

(4)　「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要項細則第３項－(1)－①－ウ（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

(5)　ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

(6)　参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込み締切り期日までに、（財）日本体育協会宛に提出する。

別記２　【「一家転住等」に伴う特例措置の考え方】

転校への特例

次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（開催基準要項細則第３項－(1)－①－ウ）に抵触しないものとする。

(1)　この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

(2)　本特例を受けることができるのは、一家転住等やむをえない理由に限ることとする。

(3)　「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

(4)　転居先の都道府県予選会締切日以前に、次の手続きを終了していること。

ア　別に定める様式により、属していた都道府県体育協会会長及び都道府県競技団体会長の承認を得ること。

イ　承認を得た書類については、転居先が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体へ提出すること。

7　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1)　次のア、イの得点を合計したものを都道府県ごとの男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第１位から第８位までの都道府県に与え、次の２種類とする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第３位以下を切り捨てる。

(ｱ)　種別などに与える競技得点

a　競技者数が４人以下の場合は、第１位に24点、第２位21点、第３位18点、第４位15点、第５位12点、第６位９点、第７位６点、第８位３点とする。

b　競技者数が５人以上７人以下の場合は、第１位に40点、第２位35点、第３位30点、第４位25点、第５位20点、第６位15点、第７位10点、第８位５点とする。

c　競技者数が８人以上の場合は、第１位に64点、第２位56点、第３位48点、第４位40点、第５位32点、第６位24点、第７位16点、第８位８点とする。

(ｲ)　種目などに与える競技得点

各種目などの第１位に８点、第２位７点、第３位６点、第４位５点、第５位４点、第６位３点、第７位２点、第８位１点とする。

イ　参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2)　各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3)　アンチ・ドーピング規則違反に関わる得点等の取り扱いについては、国民体育大会アンチ・ドーピング規則違反に対する制裁措置等取り扱い規則によるものとする。

8　表　　彰

(1)　冬季、夏季及び秋季の３季を通して実施した全正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第１位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2)　冬季、夏季及び秋季の３季を通して実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3)　各正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。

(4)　各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5)　各競技の各種別及び各種目などの第１位から第８位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、更にその都道府県名と個人名を記載したものをチーム全員に授与する。

9　各競技の参加申込み方法

(1)　都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び（財）日本高等学校野球連盟が選出したチームを、都道府県の各競技団体会長及び体育協会会長は連署のうえ、（財）日本体育協会長あて所定の参加申込書に必要事項を記入し、申し込むものとする。

(2)　参加申込書は、所定の様式により３通作成し、定められた期限までにそれぞれ１通を、次の各事務局あてに書留郵便または宅配便で送付する。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」実行委員会事務局

ウ　晴れの国おかやま国体各競技会場地実行委員会事務局

(3)　参加申込期限

季　　別	期　　限	競　　技
夏　季　大　会	平成17年８月23日（火）	水　　泳　ほか　　９競技
秋　季　大　会	平成17年９月21日（水）	陸上競技　ほか　２８競技

(4)　参加申込用紙は、「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」実行委員会で作成し、各都道府県体育協会に送付する。

(5)　参加申込み締切り後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、(2) のア、イ、ウの各事務局あてに文書で届け出なければならない。

10　大会参加負担金

(1)　本大会に選手団（視察員を除く。）を派遣する都道府県体育協会は、１人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	１，５００円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	２，０００円

(2)　大会参加負担金は、各都道府県体育協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限

季　　別	納　入　期　限
夏　季　大　会	平成17年８月23日（火）
秋　季　大　会	平成17年９月21日（水）

イ　納入先

みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　５１３７２９

財団法人日本体育協会

11　宿泊申込み

大会参加者は、「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」実行委員会が指定した所定の様式により、定められた期限までに申し込む。

12　参加選手団本部役員編成及び視察員

(1)　参加選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　夏季大会　団長、副団長、総監督及び総務とし、５人以内。

イ　秋季大会　団長、副団長、総監督及び総務とし、参加選手500人以上の場合は20人以内、参加選手300人以上500人未満の場合は15人以内、参加選手300人未満の場合は10人以内とする。

ウ　各季とも５人以内の顧問を設けることができる。

エ　各季とも上記本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

(2)　視察員は、各季とも１都道府県３人以内とする。ただし、第61回大会から第65回大会までの開催県については、次のとおりとする。

ア　夏季大会　兵庫県、秋田県、大分県、新潟県各20人以内、千葉県10人以内とする。

イ　秋季大会　兵庫県80人以内、秋田県、大分県各40人以内、新潟県20人以内、千葉県10人以内とする。

13　参加章、記念章及び視察員章の交付

参加章、記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

(1)　参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員

(2)　記念章

デモンストレーションとしてのスポーツ行事参加者及び大会協力者

(3)　視察員章

視察員

14　参加上の注意

(1)　大会期間中は、交付された参加章、記念章又は視察員章を着用しなければならない。

(2)　参加章及び視察員章着用者は、各季大会開・閉会式を除くすべての競技会場に入場することができる。

(3)　各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県名を明示したユニフォームを着用しなければならない。

15　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1)　都道府県の主催団体は、(財) 日本体育協会及び中央競技団体等関係団体と協議のうえ本要項に基づき実施要項を作成する。

(2)　参加者は、実施要項に基づき当該都道府県の主催団体に申し込む。なお、参加は１人１都道府県とし、各季別１競技に限る。

(3)　申込みは、すべて各競技団体所定の参加申込用紙による。

(4)　参加料を徴収する場合の金額は、主催団体が中央競技団体と協議のうえ定める。

(5)　競技運営に差し支えない限り、岡山県選手は当該競技のブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

16　デモンストレーションとしてのスポーツ行事

デモンストレーションとしてのスポーツ行事は次表のとおりとし、実施については、同スポーツ行事実施基準に基づく実施要項による。

季　別	デモンストレーションとしてのスポーツ行事	会　場　地	会場地数
夏季大会	家庭婦人バレーボール、ゲートボール、少年・少女スポーツ（ソフトテニス、ソフトボール）、スキー、ソフトバレーボール、綱引、ディスクゴルフ、デュアスロン、日本拳法、パラグライダー、武術太極拳	吉備中央町、総社市、神郷町、久米町、備前市、旭町、上齋原村、早島町、落合町、大佐町、岡山市	３市７町１村
秋季大会	ウォーキング、ウォークラリー、グラウンド・ゴルフ、スポーツチャンバラ、ターゲット・バードゴルフ、ティーボール、パワーリフティング、ビリヤード、ペタンク	山手村、吉備中央町、奥津町、建部町、矢掛町、哲多町、柵原町、瀬崎町、作東町、寄島町、赤坂町、哲西町、清音村	11町２村

17　そ の 他

(1)　参加申込書、参加負担金及び宿泊申込書が、定められた期限までに指定された場所に到着しない場合は、理由のいかんを問わず、本大会への参加を認めない。

(2)　その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。

第６０回国民体育大会バドミントン競技実施要項

1　期　　日　　平成17年９月10日（土）から13日（火）まで（４日間）

種　別	９月10日(土)	９月11日(日)	９月12日(月)	９月13日(火)
成年男子		１　回　戦	準々決勝・準決勝	３位決定戦・決勝
成年女子	１回戦・２回戦	３　回　戦	準々決勝・準決勝	３位決定戦・決勝
少年男子	１　回　戦	２回戦・３回戦	準々決勝・準決勝	３位決定戦・決勝
少年女子		１　回　戦	準々決勝・準決勝	３位決定戦・決勝

2　会　　場　　岡山市　　岡山市総合文化体育館

3　種別及び参加人員

種　別	監　督	選　手	参加都道府県	小　計	合　計
成年男子	1	3	16	64	504
成年女子	1	3	47	188	
少年男子	1	3	47	188	
少年女子	1	3	16	64	

4　競技上の規定及び方法

(1)　現行の(財)日本バドミントン協会競技規則による。

(2)　各種別とも１複２単による都道府県対抗トーナメント方式とし、うち２試合を得た方を勝ちとする。なお、勝敗決定後の試合は打ち切る。

(3)　３位決定戦を行う。

5　予選方法

成年男子、少年女子はブロック大会を通過したチームが本大会に出場する。

ブロック大会区分及び選手チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	成年男子	少年女子
北　海　道	北海道	1	1
東　　北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2
関　　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	2
北　信　越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	2
東　　海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1
近　　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2
中　　国	鳥取、島根、広島、山口	2	2
四　　国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1
九　　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2
開　催　地	岡山	1	1
計		16	16

6　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則６に定めるところによる。

7　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1)　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも１位２４点、２位２１点、３位１８点、４位１５点、５位（４チーム）各７．５点の競技得点を与える。

(2)　参加得点

大会（ブロック大会も含む。）に参加した都道府県に１０点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8　表　　彰

(1)　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に、表彰状を授与する。

(2)　男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

(3)　各種別の第１位から第８位までに、賞状を授与する。

9　参加申込み方法

(1)　参加申込書は、所定の用紙により３通作成し、平成17年8月23日（火）までに、それぞれ１通を下記宛、いずれも書留郵便又は宅配便で送付する。（締切り期日厳守のこと。）

ア　〒150-8050　東京都渋谷区神南１－１－１　岸記念体育会館内
(財)日本バドミントン協会
TEL　03-3481-2382　FAX　03-3481-2456

イ　〒700-0824　岡山県岡山市内山下２－１１－１６小山ビル５Ｆ
「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」実行委員会事務局
TEL　086-226-7193　FAX　086-226-7169

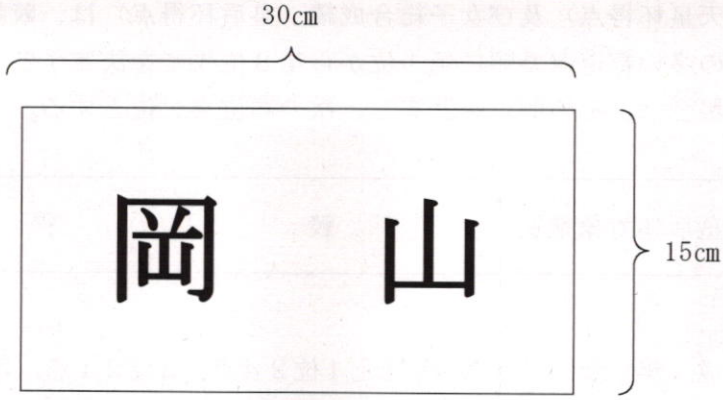
ウ　〒700-8544　岡山県岡山市大供１－１－１
「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」岡山市実行委員会事務局
TEL　086-803-1060　FAX　086-227-0260

(2)　参加申込み締切り後の選手の変更は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合（１）のア・イ・ウの事務局あてに文書で届け出なければならない。ただし、監督会議開催前までとする。

10　参加上の注意

競技に際しては、上衣背面中央に縦15㎝、横30㎝の範囲内に都道府県名を明示すること。文字は、明瞭な漢字とする。

（例）



11　その他

(1)　組合せ抽選会

日　時　　平成17年8月24日（水）　午後１時

場　所　　岸記念体育会館　会議室

〒150-8050　東京都渋谷区神南１－１－１

TEL　03-3481-2382

(2)　監督会議

日　時　　平成17年9月9日（金）　午後３時

場　所　　メルパルクOKAYAMA泰平の間

〒700-0984　岡山県岡山市桑田町１－１３

(3)　審判会議

日　時　　平成17年9月9日（金）　午後４時

場　所　　メルパルクOKAYAMA泰平の間

〒700-0984　岡山県岡山市桑田町１－１３

(4)　開始式

日　時　　平成17年9月10日（土）　午前８時30分

場　所　　岡山市総合文化体育館

〒700-8024　岡山県岡山市浦安南町４９３－２

(5)　表彰式

日　時　　平成17年9月13日（火）　午後１時

場　所　　岡山市総合文化体育館

〒700-8024　岡山県岡山市浦安南町４９３－２

開　始　式

日程及び次第

① 日　時　平成１７年９月１０日（土）　８時３０分より

② 会　場　岡山市総合文化体育館

③ 次　第

順序	次　　第	時刻	所要時間	内　　容
	選手集合完了	8:20		
	役員整列完了	8:25		
1	開式通告	8:30	1	放送により通告 「ファンファーレⅠ」
2	選手団入場	8:31	14	競技会会長 「行進曲」
3	競技会開始宣言	8:45	1	競技会委員長 「ファンファーレⅡ」
4	国旗儀礼	8:46	2	「君が代」
5	諸旗儀礼	8:48	2	「若い力」
6	大会会長トロフィー返還	8:50	2	競技会会長 「得賞歌」
7	競技会会長あいさつ	8:52	3	競技会会長
8	歓迎のことば	8:55 8:58	3 3	岡山市長 岡山県ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ協会会長
9	表彰・感謝状贈呈	9:01	5	(財)日本バドミントン協会会長
10	閉式通告	9:06	1	放送により通告
11	選手団退場	9:07	8	競技会会長 「行進曲」
	役員解散	9:15		

表　彰　式

日程及び次第

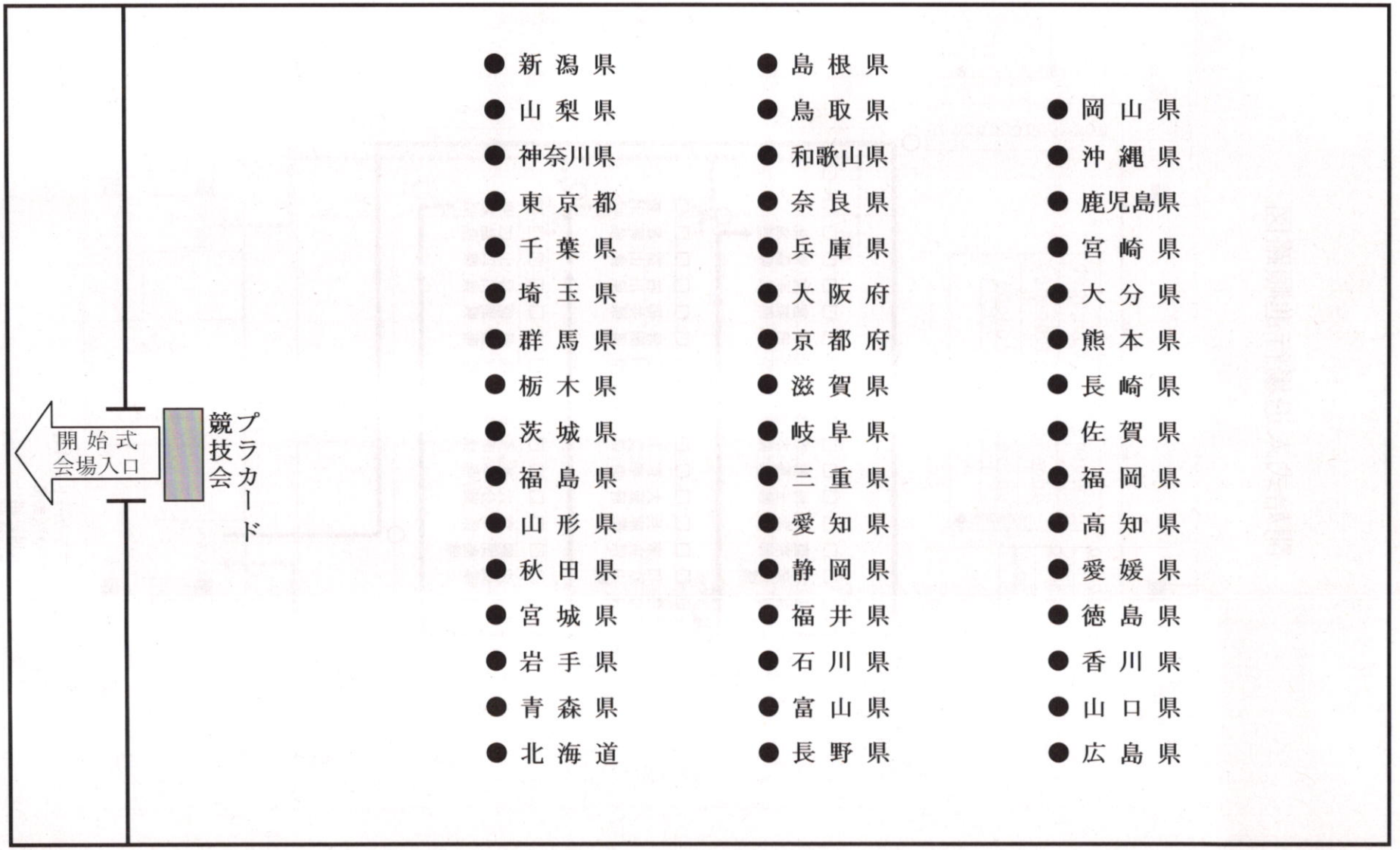
① 日　時　平成１７年９月１３日（火）　１３時００分

② 会　場　岡山市総合文化体育館

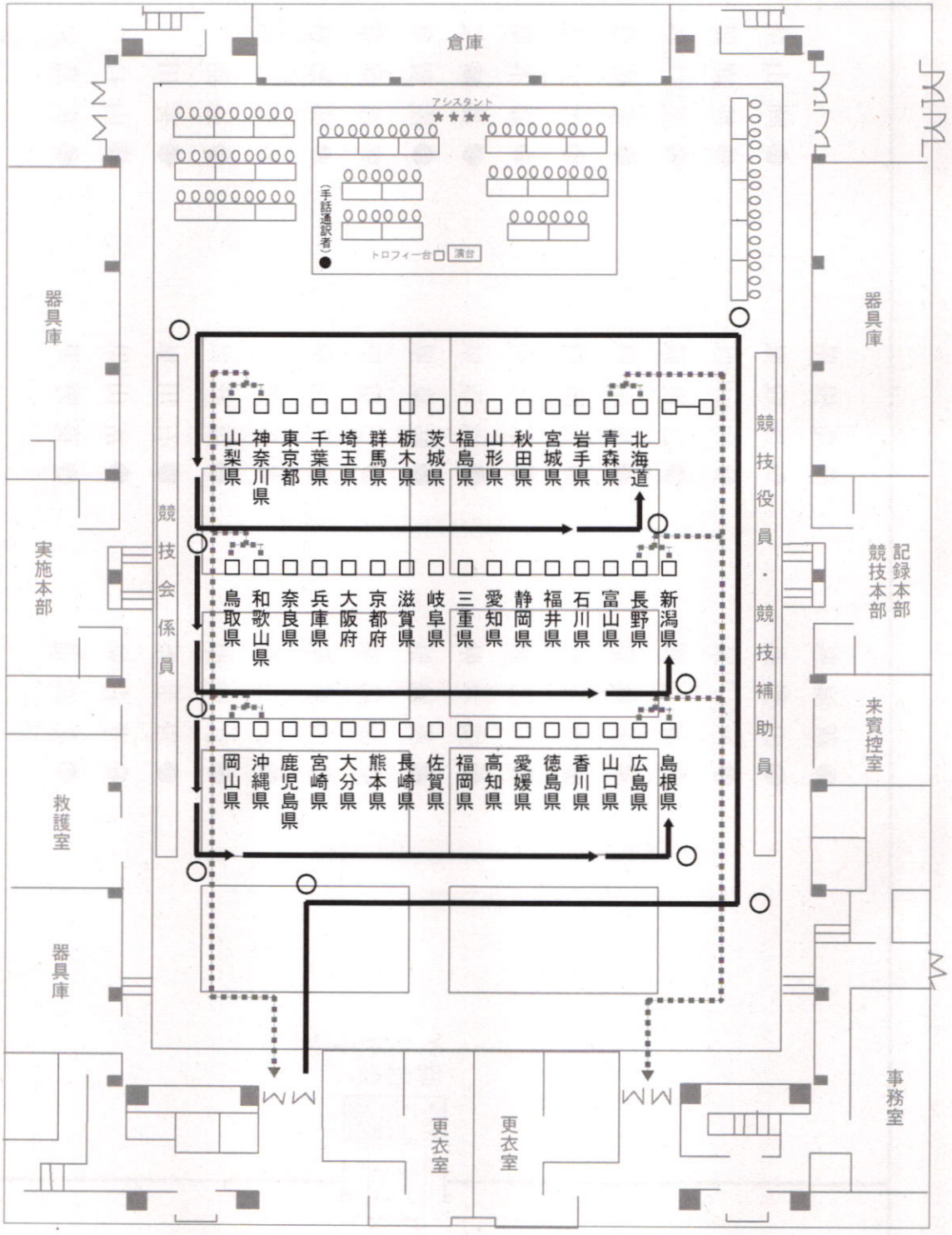
③ 次　第

順序	次　　第	時刻	所要時間	内　　容
	選手集合完了	12:50		
	役員整列完了	12:55		
1	開式通告	13:00	1	放送により通告 「ファンファーレⅠ」
2	選手団入場	13:01	4	競技会会長 「行進曲」
3	成績発表	13:05	5	総合成績計算委員長
4	表　彰	13:10	20	競技会会長 「得賞歌」
5	競技会会長あいさつ	13:30	3	競技会会長
6	歓送のことば	13:33	3	岡山市長
7	国旗儀礼	13:36	2	「君が代」
8	諸旗儀礼	13:38	2	「若い力」
9	競技会終了宣言	13:40	1	競技会委員長 「ファンファーレⅡ」
10	閉式通告	13:41	1	放送により通告
11	選手団退場	13:42	3	競技会会長 「行進曲」
	選手・役員解散	13:45		

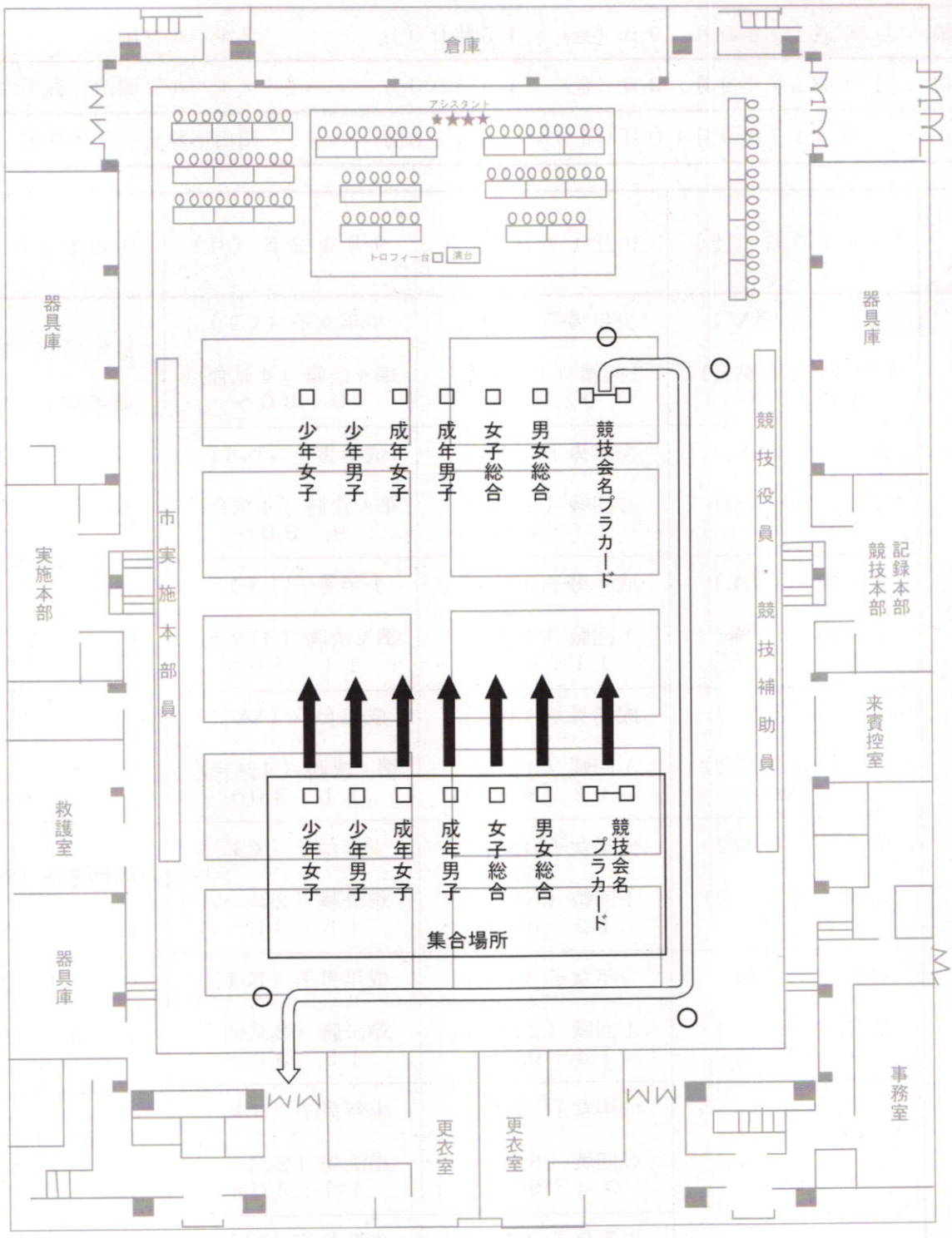
開始式入場行進選手集合所配置図



開始式入退場行進順路図



表彰式入退場行進順路図



競　技　日　程

監督会議	平成１７年９月　９日（金）	１５時００分	メルパルク岡山　泰平の間
審判会議	平成１７年９月　９日（金）	１６時００分	メルパルク岡山　泰平の間
開始式	平成１７年９月１０日（土）	８時３０分	岡山市総合文化体育館

月日／会場	９月１０日（土）	９月１１日（日）	９月１２日（月）	９月１３日（火）
岡山市総合文化体育館	成年女子（Ｗ） １回戦（１０試合） １０：００～	少年男子（Ｂ） ２回戦（１０試合） ９：３０～	少年女子（Ｇ） 準々決勝（４試合） ９：３０～	成年男子（Ｍ） 成年女子（Ｗ） 少年男子（Ｂ） 少年女子（Ｇ） ３位決定戦 ９：００～
	成年女子（Ｗ） １回戦（５試合） １１：３０～	少年男子（Ｂ） ２回戦（６試合） １１：００～	成年男子（Ｍ） 準々決勝（４試合） ９：３０～	
	少年男子（Ｂ） １回戦（５試合） １１：３０～	成年男子（Ｍ） １回戦（４試合） １１：００～	少年男子（Ｂ） 準々決勝（４試合） １１：３０～	
	少年男子（Ｂ） １回戦（１０試合） １３：００～	成年男子（Ｍ） １回戦（４試合） １２：３０～	成年女子（Ｗ） 準々決勝（４試合） １１：３０～	
	成年女子（Ｗ） ２回戦（１０試合） １４：３０～	少年女子（Ｇ） １回戦（６試合） １２：３０～	少年女子（Ｇ） 準決勝（２試合） １３：３０～	成年男子（Ｍ） 成年女子（Ｗ） 少年男子（Ｂ） 少年女子（Ｇ） 決勝戦 ９：００～
	成年女子（Ｗ） ２回戦（６試合） １６：００～	少年女子（Ｇ） １回戦（２試合） １４：００～	成年男子（Ｍ） 準決勝（２試合） １３：３０～	
		成年女子（Ｗ） ３回戦（８試合） １４：００～	少年男子（Ｂ） 準決勝（２試合） １５：３０～	
		少年男子（Ｂ） ３回戦（８試合） １５：３０～	成年女子（Ｗ） 準決勝（２試合） １５：３０～	

表彰式	平成１７年９月１３日（火）	１３時００分	岡山市総合文化体育館

タイム テーブル

月 日	コート番号 / 開始時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	8:30	開 始 式									
第1日目	10:00	W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8	W9	W10
9月10日	11:30	W11	W12	W13	W14	W15	B1	B2	B3	B4	B5
(土)	13:00	B6	B7	B8	B9	B10	B11	B12	B13	B14	B15
	14:30	W16	W17	W18	W19	W20	W21	W22	W23	W24	W25
	16:00	W26	W27	W28	W29	W30	W31				
	9:30	B16	B17	B18	B19	B20	B21	B22	B23	B24	B25
第2日目	11:00	B26	B27	B28	B29	B30	B31	M1	M2	M3	M4
9月11日	12:30	M5	M6	M7	M8	G1	G2	G3	G4	G5	G6
(日)	14:00	G7	G8	W32	W33	W34	W35	W36	W37	W38	W39
	15:30	B32	B33	B34	B35	B36	B37	B38	B39		
第3日目	9:30	G9	G10	G11	G12	M9	M10	M11	M12		
9月12日	11:30	B40	B41	B42	B43	W40	W41	W42	W43		
(月)	13:30	G13			G14	M13			M14		
	15:30		B44	B45			W44	W45			
第4日目	9:00	M16	M15	W46	W47	B47	B46	G15	G16		
9月13日											
(火)											

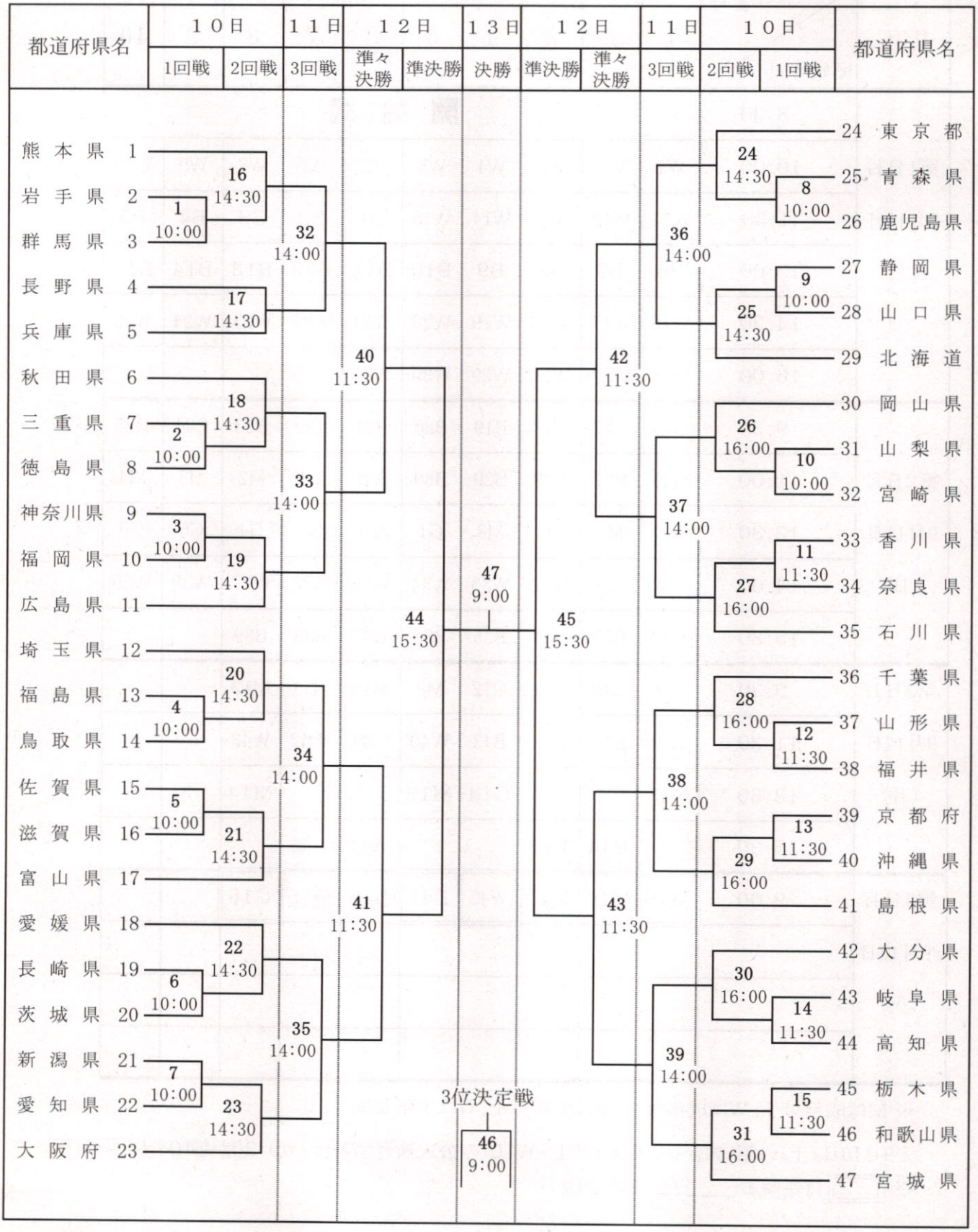
※ Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子

※9月10日(土)の第1試合(成年女子W1～W10)の公式練習は若番より9:30から10分間ずつ行う。

※ □ は決勝戦、＿＿ は3位決定戦

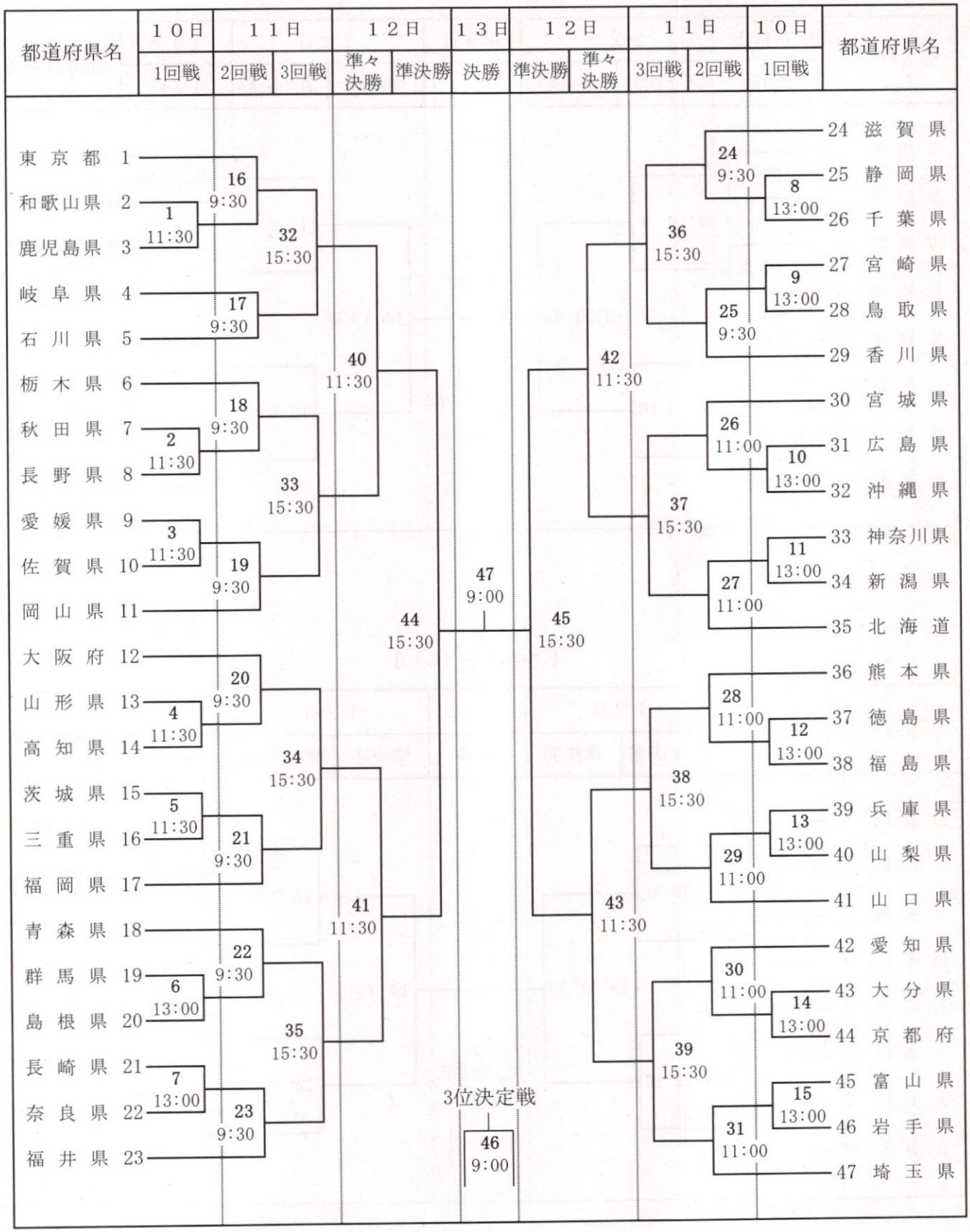
第６０回国民体育大会　夏季大会
バドミントン競技組合せ表

【 成年女子（W）】



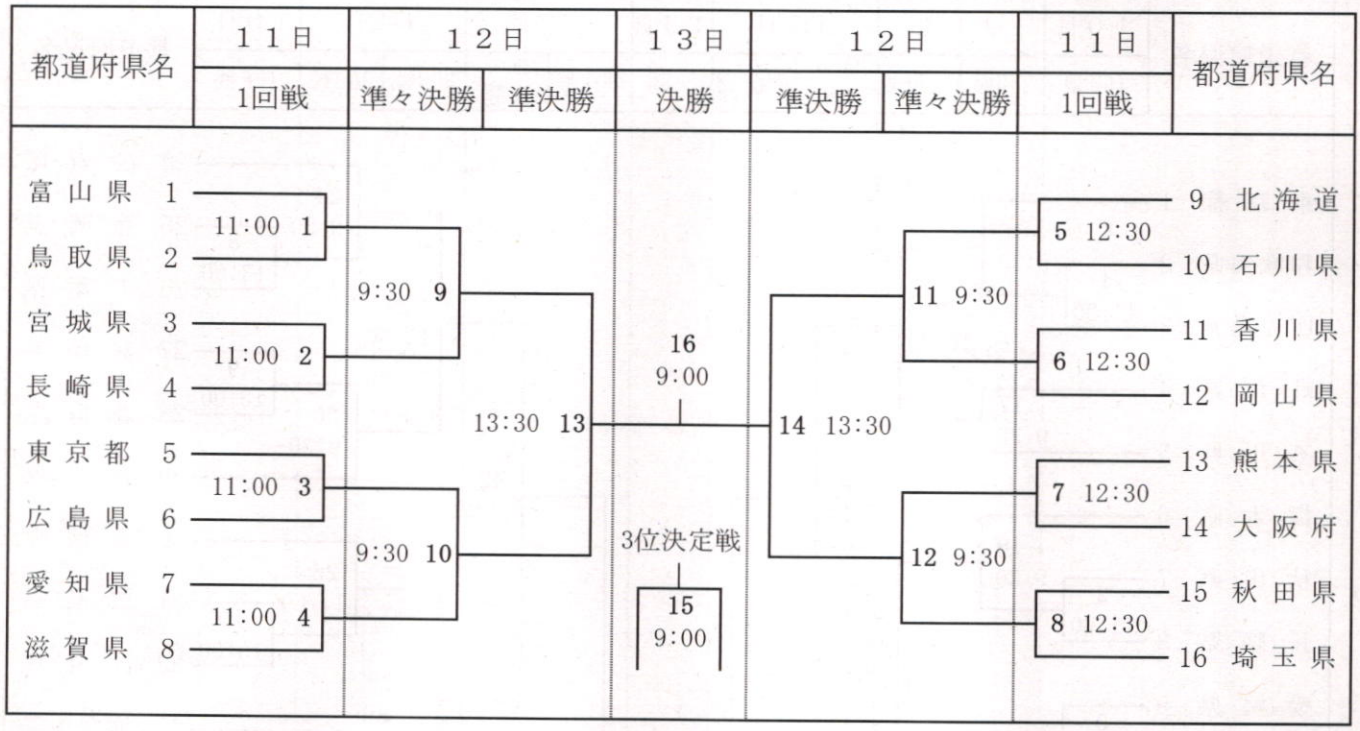
第６０回国民体育大会　夏季大会
バドミントン競技組合せ表

【 少年男子（B）】

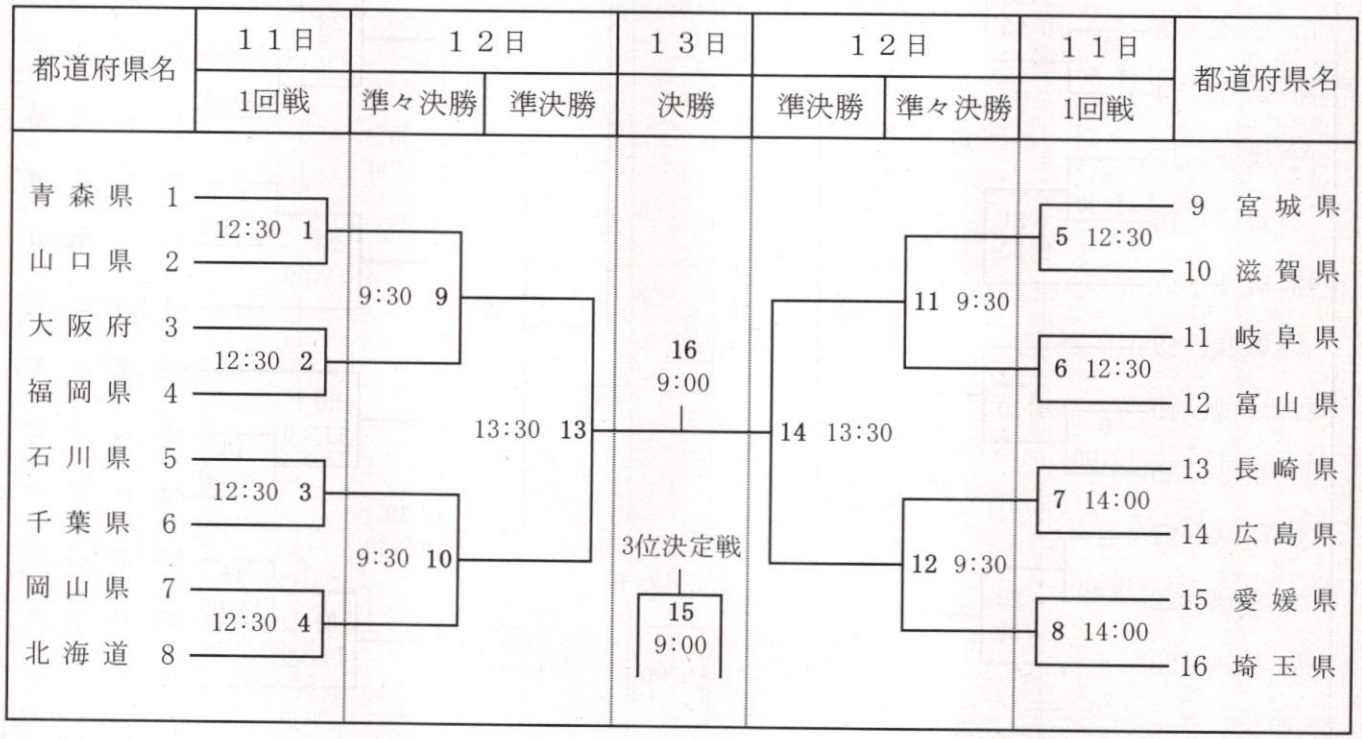


第６０回国民体育大会　夏季大会
バドミントン競技組合せ表

【 成年男子（M）】



【 少年女子（G）】



バドミントンを楽しく見るために

—— バドミントンQ&A ——

Q　どうしてバドミントンと呼ばれるようになったのですか？

A　バドミントンは、インドのボンベイ地方ブーナで盛んに行われた遊びで、１８７３年にイギリスのボーフォート公の領地バドミントン・ハウスで宴会が開かれたとき、インド帰りの士官が余興に、この遊びを紹介したところが始まりと言われています。それがきっかけでこの遊びがバドミントンと名付けられ、世界中に広がったものです。そして、日本には、大正時代に紹介され、第２次世界大戦後に全国的に広がったものです。

Q　バドミントンとは、どんなスポーツですか？

A①　ネットを挟んでラケットで羽根（シャトルコックまたはシャトル）を打ち合うものです。コートの外に落ちたり、コートの内や外であっても床に落ちる前に体やラケットにシャトルがタッチすれば失点（フォルト）になります。

②　試合には、１人（シングルス）ゲームと２人（ダブルス）ゲームがあります。

③ダブルスゲームには、男同士、女同士でペアを組むものと、男女でペアを組むもの（ミックスダブルス）があります。

Q　バドミントンの羽根（シャトルコック）はどんなものですか？

A　コルクの台に鳥の羽根１６枚を取り付けます。重さは僅か５ｇほどです。

正式試合の羽根は水鳥を使います。一般では、陸鳥の羽根やナイロンの合成素材のものもあります。

Q　打たれた時のシャトルコックのスピードはどれ位ですか？

A　下向きに強く打つスマッシュのとき、世界の一流選手の場合は初速３５０Ｋｍにもなることがあり、その速度は瞬間的には新幹線より速いのです。

Q　新幹線より速いスピードのものをどうして打ち返すことができるのですか？

A　ラケットから離れる時の速度は速いのですが、ネットを越えてある距離になる減速します。初速と終速の差が一番大きいスポーツです。

また、慣れてくると飛んでくるシャトルのコースを予測できるようになります。

Q　どうすれば、得点（ポイント）になりますか？

A　サーブ権を取って勝った時だけ得点になります。サーブ権があったときに負けてもサーブ権が移るだけで相手の得点になりません。

Q　試合の得点は難点で勝敗が決まるのですか？

A　１ゲームは、女子シングルスは１１点（ポイント）、男子シングルス、男子、女子ダブルスは１５点（ポイント）で行います。試合は、３ゲームで行い、うち２ゲームを選手した方が勝ちです。ところが、バドミントンには「セッティング」と言われる独特のルールがあります。女子シングルスで１０点で並んだ場合とそれ以外の種目では、１４点で並んだ場合に追いつかれたチームが「セッティング」をするか、しないかを選ぶことができます。

「セッティング」を選んだ場合

女子シングルス　先に１３点
男子シングルス　先に１７点
男子・女子ダブルス　先に１７点
} 取れば勝ちです。

なお、得点は「セッティング」を選んだ場合でもサーブ権のある方にしか与えられません。

≪国体バドミントン競技について≫

Q　種別はどのようなものがありますか？

A　成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の４種別があります。

Q　参加県はどのように決めるのですか？

A　「２００４年彩の国まごころ国体」では、成年男子と少年女子は４７都道府県が参加し、成年女子と少年男子は全国９ブロックに分けて大会を勝ち抜いた都道府県の１５チームと開催県（埼玉県）１チームの合計１６チームが参加します。１チームは、監督１人・選手３人の４人で編成します。

Q　試合はどのようにして行いますか。

A　８コートを使って、すべて都道府県対抗の団体戦トーナメント方式で行います。試合は、①ダブルス②シングルス③シングルスの順で行い、先に２勝したチームが勝ちとなります。

Q　天皇杯得点・皇后杯得点は、どのようにして決まるのですか？

A　得点には、競技得点と参加得点の２つがあります。競技得点は、各種別ともに１位４０点、２位３５点、３位３０点、４位２５点、５位（４チーム）１２．５点です。参加得点は、大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に１０点を与えるものです。

但し、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合には与えられません。この競技得点と参加得点の合計が総合得点になります。

天皇杯の対象種別は、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子で、皇后杯の対象種別は、成年女子と少年女子です。

都道府県（種別）別参加申込人数一覧表

地区	番号	都道府県	成年男子			成年女子			少年男子		少年女子		合計			総合計
			監督		選手	監督		選手	監督	選手	監督	選手	監督		選手	
			専任	兼任		専任	兼任						専任	兼任		
北	1	北海道	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
東北	2	青森県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	3	岩手県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	4	宮城県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	5	秋田県	1	( )	3	1	( )	3	1	3			3	( )	9	12
	6	山形県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	7	福島県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
関東	8	茨城県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	9	栃木県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	10	群馬県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	11	埼玉県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	12	千葉県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	13	東京都	1	( )	3	1	( )	3	1	3			3	( )	9	12
	14	神奈川県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	15	山梨県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
北信越	16	新潟県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	17	長野県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	18	富山県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	19	石川県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	20	福井県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
東海	21	静岡県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	22	愛知県	1	( )	3	1	( )	3	1	3			3	( )	9	12
	23	三重県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	24	岐阜県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
近畿	25	滋賀県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	26	京都府		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	27	大阪府	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	28	兵庫県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	29	奈良県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	30	和歌山県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
中国	31	鳥取県	1	( )	3	1	( )	3	1	3			3	( )	9	12
	32	島根県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	33	岡山県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	34	広島県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	35	山口県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
四国	36	香川県	1	( )	3	1	( )	3	1	3			3	( )	9	12
	37	徳島県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	38	愛媛県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	39	高知県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
九州	40	福岡県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	41	佐賀県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	42	長崎県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	43	熊本県	1	( )	3	1	( )	3	1	3			3	( )	9	12
	44	大分県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	45	宮崎県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	46	鹿児島県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	47	沖縄県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
合計			16	( )	48	47	( )	141	47	141	16	48	126	( )	378	504

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　古川　英樹	㈱ＮＴＴ東日本北海道	
	選手　吉川　勇司	㈱ＮＴＴドコモ北海道	
	選手　三上　裕司	㈱ＮＴＴ北海道テレマート	
	選手　米　　隆夫	ＮＴＴ北海道電話帳㈱	
宮城県	監督　関根　靖則	ＮＴＴ東日本宮城	
	選手　草井　　篤	ＮＴＴ東日本宮城	
	選手　畑山　辰徳	法政大学	
	選手　菊田　健一	日本大学	
秋田県	監督　鈴木　理之	㈱北都銀行	
	選手　藤田　真人	㈱北都銀行	
	選手　平山　政史	㈱北都銀行	
	選手　佐々木　翔	㈱北都銀行	
埼玉県	監督　中條　　彪	日本ユニシス㈱	
	選手　山田　英孝	日本ユニシス㈱	
	選手　福井　剛士	日本ユニシス㈱	
	選手　石川　　澄	日本ユニシス㈱	
東京都	監督　町田　文彦	ＮＴＴ東日本	
	選手　松本　　徹	ＮＴＴ東日本	
	選手　川口　馨士	ＮＴＴ東日本	
	選手　清水　　裕	ＮＴＴ東日本	
富山県	監督　今泉　　勉	トナミ運輸㈱	
	選手　舛田　圭太	トナミ運輸㈱	
	選手　大束　忠司	トナミ運輸㈱	
	選手　大束　真也	トナミ運輸㈱	
石川県	監督　長谷川　進	（有）ハセガワスポーツ	
	選手　木下　政彦	トナミ運輸㈱	
	選手　廣瀬　雅士	石川トヨペット	
	選手　村上　　亮	金沢学院大学	
愛知県	監督　吉田　　努	東海興業㈱	
	選手　坂上　裕哉	トヨタ自動車㈱	
	選手　稲垣　寿一	東海興業㈱	
	選手　稲垣　翔悟	名古屋経済大学市邨高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
滋賀県	監督　酒井良之	滋賀女子短大	
	選手　山口公洋	近畿大学	
	選手　数野健太	日本大学	
	選手　早川賢一	日本大学	
大阪府	監督　平井達也	西日本電信電話㈱	
	選手　松井　充	西日本電信電話㈱	
	選手　銭谷公浩	近畿大学	
	選手　櫻井勝仁	ＮＰＯ法人大阪トリッキーパンダース	
鳥取県	監督　辻中孝彦	鳥取県立鳥取工業高等学校	
	選手　清水隆志	鳥取県立鳥取東高等学校	
	選手　佐藤伴哉	鳥取県スポーツセンター	
	選手　末吉健志	龍谷大学	
岡山県	監督　藤原道弘	ＪＦＥスチール㈱	
	選手　松川大記	岡山県立水島工業高等学校	
	選手　尾崎勝久	岡山県立倉敷中央高等学校	
	選手　佐伯浩一	日本大学	
広島県	監督　尾崎　清	（財）広島市産業振興センター	
	選手　新宅地塩	福岡大学	
	選手　有田裕佑	日本大学	
	選手　酒井宏治	早稲田大学	
香川県	監督　辻本義文	ピースフル辻本	
	選手　吉川大助	英明高等学校	
	選手　竹川慶二	小松印刷	
	選手　天野真一	中央大学	
長崎県	監督　渕上竹見	長崎市役所	
	選手　片岡直茂	東長崎中学校	
	選手　西山勝也	長崎東高等学校	
	選手　茂見祥平	鳴北中学校	
熊本県	監督　井上哲章	熊本県立翔陽高等学校	
	選手　花田政文	ＹＫＫＡＰ株式会社九州事業所	
	選手　田上良治	ＹＫＫＡＰ株式会社九州事業所	
	選手　古財和輝	日本体育大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　吉岡秀樹	㈱ＮＴＴ東日本北海道	
	選手　岩松絵理子	㈱ＮＴＴ北海道テレマート	
	選手　中麻依子	㈱ＮＴＴ北海道テレマート	
	選手　宮崎優花	㈱ＮＴＴ東日本北海道	
青森県	監督　工藤峰靖	藤崎町役場	
	選手　水雲智子	つがる市立木造中学校	
	選手　岡部珠恵	東北福祉大学	
	選手　平尾真美	東京女子体育大学	
岩手県	監督　石川聡	ＪＲ東日本盛岡支社	
	選手　谷地春子	御明神牧野農業協同組合	
	選手　池端美杉	釜石市役所	
	選手　川村益美	専修大学	
宮城県	監督　山並正人	ラケットショップ広瀬	
	選手　岡田真紀	七十七銀行	
	選手　高橋美紀	七十七銀行	
	選手　平山愛	七十七銀行	
秋田県	監督　魚谷啓法	㈱北都銀行	
	選手　須藤雅子	㈱北都銀行	
	選手　正木真澄	㈱北都銀行	
	選手　斉藤奈緒	㈱北都銀行	
山形県	監督　嵐田芳輝	㈱でん六	
	選手　鈴木芙美恵	山形県民共済生活協同組合	
	選手　瀧口瑠美	㈱でん六	
	選手　板東真由美	鶴岡市医師会	
福島県	監督　平野泰宏	福島学院大学	
	選手　山下紋可	スポーツアカデミー相馬	
	選手　出口文乃	東芝エレベータ	
	選手　山ノ内加奈	竹田看護専門学校	
茨城県	監督　小島一夫	つくば国際大学	
	選手　梅津知恵	茨城トヨペット㈱	
	選手　中川彩	つくば国際大学	
	選手　綿引悠貴	つくば国際大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
栃木県	監督　舘野　政男	小山城南高等学校	
	選手　後藤　久美	日本女子体育大学	
	選手　赤星　舞	日本女子体育大学	
	選手　蓬田　朝美	東京女子体育大学	
群馬県	監督　金子　隆男	群馬県前橋市立前橋高等学校	
	選手　中嶋　愛美		
	選手　大杉　真穂	プラスチックホンダ	
	選手　下山　明日香		
埼玉県	監督　能登　則男	戸田市立戸田東小学校	
	選手　小室　恭子	尚美学園大学	
	選手　大熊　倫子	ヨネックス㈱	
	選手　馬上　愛実	青山学院大学	
千葉県	監督　浜野　一男	千葉市役所	
	選手　松田　友美	㈱ヨネックス	
	選手　赤尾　亜希	㈱ヨネックス	
	選手　小柳　知子	㈱ヨネックス	
東京都	監督　岩田　良子	ヨネックス㈱	
	選手　田井　美幸	ＮＴＴ東日本	
	選手　媚山　映里	ＮＴＴ東日本	
	選手　今別府　靖代	ヨネックス㈱	
神奈川県	監督　藤井　圭	日立ハイブリッドネットワーク株式会社	
	選手　岩田　新菜	日本体育大学	
	選手　井川　里美	株式会社ラケットショップフジ	
	選手　棚田　満美子	株式会社ラケットショップフジ	
山梨県	監督　窪田　邦宏		
	選手　伊藤　寿美子	山梨県立甲府昭和高等学校	
	選手　飯島　春奈	東京女子体育大学	
	選手　島田　陽子	日本女子体育大学	
新潟県	監督　片桐　徹	新潟国際情報大学	
	選手　倉井　香織	（有）ユウワ	
	選手　松本　真優		
	選手　川村　朋子	東北福祉大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
長野県	監督　倉田吉春	長野県立長野商業高等学校	
	選手　中村真希	長野県立屋代南高等学校	
	選手　布目沙矢香	住友信託銀行	
	選手　味岡真由美	東京女子体育大学	
富山県	監督　河合昭博	三協アルミニウム工業㈱	
	選手　舛田恵	トナミ運輸㈱	
	選手　大下詩織	富山トヨタ自動車㈱	
	選手　山口恵利	日本福祉大学	
石川県	監督　羽田義仁	㈱北國銀行	
	選手　奥村亜紀代	浦崎歯科医院	
	選手　青山早希	㈱北國銀行	
	選手　鍛治祐美子	㈱北國銀行	
福井県	監督　岡田忍	スポーツショップコーチ	
	選手　田中祐美子	社北小学校	
	選手　山崎優希子	福井ソーイング	
	選手　畑小百合	京都産業大学	
静岡県	監督　山本秀和	ジヤトコ株式会社	
	選手　金森裕子	早稲田大学	
	選手　村松瑞穂	筑波大学	
	選手　塩澤彩子	静岡大学	
愛知県	監督　岡川泰博	豊田通商㈱	
	選手　本田正恵	豊田通商㈱	
	選手　川戸和子	東海興業㈱	
	選手　小椋しのぶ	日本体育大学	
三重県	監督　木村佳奈	川越南小学校	
	選手　飯田有紀	三重県立久居高等学校	
	選手　松尾宏美	暁学園	
	選手　松井千夏	東京女子体育大学	
岐阜県	監督　尾藤伸治	東海女子大学	
	選手　後藤愛	東海女子大学	
	選手　脇田侑	筑波大学	
	選手　吉村征美	東海女子大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
滋賀県	監督　羽野　健郎	ラケットショップイチムラ	
	選手　早川　由希子	立命館大学	
	選手　中村　百合	滋賀女子短大	
	選手　垣岩　真未	日本体育大学	
京都府	監督　平井　悟	京あみ	
	選手　後藤　舞	立命館大学	
	選手　通次　尚美	立命館大学	
	選手　今井　杏莉	立命館大学	
大阪府	監督　谷内　貴昭	三洋電機㈱	
	選手　脇坂　郁	三洋電機㈱	
	選手　多谷　郁恵	三洋電機㈱	
	選手　今別府　香里	三洋電機㈱	
兵庫県	監督　鈴木　草麻生	三菱電機㈱	
	選手　高野　理沙	三菱電機㈱	
	選手　田井　紀子	三菱電機㈱	
	選手　地神　加奈子	東海女子短期大学	
奈良県	監督　辻田　泰昌	㈱N．T．Tファシリティーズ	
	選手　三宅　知佳	天理大学	
	選手　谷坂　優花	天理大学	
	選手　箸尾　千尋	㈱花の大和	
和歌山県	監督　武野　宗睦	有田中央高等学校	
	選手　下澤　なつみ	知的障害者更正施設杉の郷	
	選手　生駒　優	グンゼスポーツつかしん	
	選手　岩岡　真由美	京都産業大学	
鳥取県	監督　山本　明良	鳥取三洋電機株式会社	
	選手　澤　憂妃	鳥取三洋電機株式会社	
	選手　藤原　由衣	鳥取三洋電機株式会社	
	選手　田中　妙美恵	鳥取三洋電機株式会社	
島根県	監督　田部　実智代	㈱山陰合同銀行	
	選手　江部　真梨	㈱山陰合同銀行	
	選手　高木　さやか	㈱山陰合同銀行	
	選手　西川　夏紀	㈱山陰合同銀行	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
岡山県	監督　若林邦任	ラケットショップ・ナガイ	
	選手　井山美里	岡山ガス㈱	
	選手　守屋仁美	岡山ガス㈱	
	選手　谷口貴美	岡山ガス㈱	
広島県	監督　宮崎克巳	広島ガス㈱	
	選手　吉岡知香	広島ガス㈱	
	選手　日野由希江	広島ガス㈱	
	選手　小池温子	広島ガス㈱	
山口県	監督　高橋良明	ラケットショップＷＩＮ	
	選手　重村泉	山口市役所	
	選手　末長夏樹	下松市立潮音保育園	
	選手　末長南	株式会社コラボレート	
香川県	監督　亀谷幸男	百十四銀行	
	選手　米田佳代	百十四銀行	
	選手　濱口有里	百十四銀行	
	選手　山下真由	龍谷大学	
徳島県	監督　吉岡努	大塚化学	
	選手　井村浩子	徳島美容専門学校	
	選手　麻植まさよ	立命館大学	
	選手　松本彩佳	九州国際大学	
愛媛県	監督　武智英治	四国ガス	
	選手　大條亜津紗	立命館大学	
	選手　安藤朋恵	松山大学	
	選手　関谷真由	早稲田大学	
高知県	監督　中原学	高知県立高知海洋高等学校	
	選手　濱渦生江	高知学芸高等学校	
	選手　松田伊代	龍谷大学	
	選手　泥谷夕希	高知大学	
福岡県	監督　八色敬三	九州国際大学	
	選手　山田紘実	九州国際大学	
	選手　久野納菜	九州国際大学	
	選手　樽野有希	日本体育大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
佐賀県	監督　山田雅子	ベスト電器㈱	
	選手　江島理恵	佐賀大学海洋エネルギー研究センター	
	選手　武下ちどり	佐賀女子短期大学	
	選手　椛島のぞみ	福岡工業大学	
長崎県	監督　森辺ひかり	長崎自動車学校	
	選手　宮田美穂	シャトルクラブ	
	選手　松尾美穂子	諫早高等学校	
	選手　白山麻衣子	日本体育大学	
熊本県	監督　今井彰宏	ＮＥＣ九州	
	選手　末綱聡子	ＮＥＣ九州	
	選手　今井幸代	ＮＥＣ九州	
	選手　前田美順	ＮＥＣ九州	
大分県	監督　升巴正博	大分県立大分西高等学校	
	選手　島田麻子	太陽の家	
	選手　大塚安純	国土交通省大分河川事務所	
	選手　河原理恵	別府大学短期大学部	
宮崎県	監督　林田敦子		
	選手　服部絵美	損保ジャパン	
	選手　服部麻衣	青山学院大学	
	選手　小川成美	日本体育大学	
鹿児島県	監督　大迫理恵	サン食品㈱	
	選手　木之下直子	根占中学校	
	選手　内山香		
	選手　田代裕可里	九州国際大学	
沖縄県	監督　上村勇人	スポーツショップキクムラ	
	選手　大見謝朝野	㈱ヨネックス	
	選手　長嶺朋子	三洋信販	
	選手　仲里弥生	沖縄銀行	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　井口一司	札幌第一高等学校	
	選手　高島雅彦	札幌第一高等学校	
	選手　大平真名人	札幌第一高等学校	
	選手　十河弘樹	札幌第一高等学校	
青森県	監督　戸祭潤	青森山田高等学校	
	選手　西村昭彦	青森山田高等学校	
	選手　鈴木大裕	青森山田高等学校	
	選手　松浦翔	青森山田高等学校	
岩手県	監督　菊地亨	岩手県立前沢高等学校	
	選手　千田拓也	岩手県立前沢高等学校	
	選手　中塚粧太	岩手県立前沢高等学校	
	選手　岩渕勇樹	岩手県立前沢高等学校	
宮城県	監督　若生正弘	仙台商業高等学校	
	選手　伊深裕貴	仙台商業高等学校	
	選手　阿部翔太	仙台商業高等学校	
	選手　佐藤弘武	仙台商業高等学校	
秋田県	監督　松田清孝	秋田県立横手工業高等学校	
	選手　小笠原憲吾	秋田県立横手工業高等学校	
	選手　伊藤広太	秋田県立横手工業高等学校	
	選手　谷村一馬	秋田県立秋田工業高等学校	
山形県	監督　上林英樹	皆川スポーツ	
	選手　齋藤翔	山形県立鶴岡工業高等学校	
	選手　笹原聖士	山形県立鶴岡工業高等学校	
	選手　兼子卓也	山形県立鶴岡工業高等学校	
福島県	監督　橋本遊二	帝京安積高等学校	
	選手　池田智明	福島県立白河旭高等学校	
	選手　菅澤伸哉	帝京安積高等学校	
	選手　安部惇士	帝京安積高等学校	
茨城県	監督　木内広史	常総学院高等学校	
	選手　羽石直弥	常総学院高等学校	
	選手　小松崎佑也	常総学院高等学校	
	選手　日下部友哉	常総学院高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
栃木県	監督　村上幸一	作新学院高等学校	
	選手　福田春樹	宇都宮南高等学校	
	選手　上野元彰	作新学院高等学校	
	選手　吉澤薫	作新学院高等学校	
群馬県	監督　平間章雄	群馬県立前橋東高等学校	
	選手　吉田昇	群馬県立前橋東高等学校	
	選手　福田和也	群馬県立前橋東高等学校	
	選手　松島圭祐	群馬県立太田商業高等学校	
埼玉県	監督　大屋貴司	埼玉栄高等学校	
	選手　林純司	埼玉栄高等学校	
	選手　三橋智希	埼玉栄高等学校	
	選手　上田拓馬	埼玉栄高等学校	
千葉県	監督　稲田聡	西武台千葉高等学校	
	選手　平戸充	西武台千葉高等学校	
	選手　石川直樹	西武台千葉高等学校	
	選手　池澤佑介	西武台千葉高等学校	
東京都	監督　渋谷実	関東第一高等学校	
	選手　髙階知也	関東第一高等学校	
	選手　名須賀亮	関東第一高等学校	
	選手　武下利一	関東第一高等学校	
神奈川県	監督　五十嵐功	川崎市立川崎総合科学高等学校	
	選手　岡田裕貴	川崎市立川崎総合科学高等学校	
	選手　中島忠昭	法政大学第二高等学校	
	選手　磯崎祐磨	藤沢翔陵高等学校	
山梨県	監督　望月旭	甲府市立甲府商業高等学校	
	選手　功刀公人	甲府市立甲府商業高等学校	
	選手　加藤大貴	甲府市立甲府商業高等学校	
	選手　堀内京平	甲府市立甲府商業高等学校	
新潟県	監督　山縣泰弘	北越高等学校	
	選手　長谷川聡	北越高等学校	
	選手　星野健太朗	北越高等学校	
	選手　小林勝彦	新潟県立有恒高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
長野県	監督　神林　務	長野県立小諸商業高等学校	
	選手　小平徹也	長野県立小諸商業高等学校	
	選手　中嶋辰徳	長野県立小諸商業高等学校	
	選手　白金健豪	長野県立蘇南高等学校	
富山県	監督　水和清次	高岡第一高等学校	
	選手　上田真也	高岡第一高等学校	
	選手　高嶋淳平	高岡第一高等学校	
	選手　手塚保将	富山県立高岡工芸高等学校	
石川県	監督　水内浩	金沢市立工業高等学校	
	選手　安藤総兵	金沢市立工業高等学校	
	選手　伊東克範	金沢市立工業高等学校	
	選手　堂谷内剛	金沢市立工業高等学校	
福井県	監督　斉藤郁	福井県立足羽高等学校	
	選手　斉藤祐司	福井県立足羽高等学校	
	選手　斉藤真弘	福井県立足羽高等学校	
	選手　松川直弘	福井県立勝山高等学校	
静岡県	監督　岩沢猛	静岡県立熱海高等学校	
	選手　河野洋平	星陵高等学校	
	選手　小野拓也	星陵高等学校	
	選手　細小路直人	静岡県立富士宮北高等学校	
愛知県	監督　野瀬泰弘	岡崎城西高等学校	
	選手　三浦時央	岡崎城西高等学校	
	選手　今村昌平	岡崎城西高等学校	
	選手　駒田直也	名古屋経済大学市邨高等学校	
三重県	監督　新門耕一	暁高等学校	
	選手　藤野和樹	暁高等学校	
	選手　清水大輔	三重県立久居高等学校	
	選手　内田諒	暁高等学校	
岐阜県	監督　三浦公雄	ＪＡ岐阜南	
	選手　森昭裕	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　杉山将士	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　島岡亮治	岐阜県立岐阜商業高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
滋賀県	監督　藤上良信	比叡山高等学校	
	選手　早崎修平	比叡山高等学校	
	選手　田中昭太	比叡山高等学校	
	選手　川下剛士	比叡山高等学校	
京都府	監督　山本裕幸	京都府立西乙訓高等学校	
	選手　堀　功定	京都府立西城陽高等学校	
	選手　小泉哲平	京都両洋高等学校	
	選手　宇都宮眸	京都両洋高等学校	
大阪府	監督　有田圭一	柏原高等学校	
	選手　安田敬之	柏原高等学校	
	選手　大滝涼太	柏原高等学校	
	選手　川上直人	柏原高等学校	
兵庫県	監督　友金幸雄	神戸村野工業高等学校	
	選手　柳川　智	神戸村野工業高等学校	
	選手　門元良樹	神戸村野工業高等学校	
	選手　久保利彦	神戸村野工業高等学校	
奈良県	監督　村山友二	㈱N．T．Tマーケティングアクト関西	
	選手　森田正秀	奈良県立添上高等学校	
	選手　杉本祐斗	奈良県立添上高等学校	
	選手　江頭恭平	奈良県立添上高等学校	
和歌山県	監督　山本慎二	伊都高等学校	
	選手　畑下大和	新宮高等学校	
	選手　山東亮太	那賀高等学校	
	選手　平野晃一	那賀高等学校	
鳥取県	監督　宮本義夫	有限会社明和印刷	
	選手　森本有一	鳥取県立倉吉総合産業高等学校	
	選手　山本武史	米子北高等学校	
	選手　湯谷亮介	鳥取県立鳥取工業高等学校	
島根県	監督　和田英昭	㈱中島製作所	
	選手　玄行友也	島根県立松江北高等学校	
	選手　角田　碧	島根県立松江北高等学校	
	選手　中原圭悟	島根県立大東高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
岡山県	監督　西崎文貴	岡山県立西大寺高等学校	
	選手　佐伯祐行	岡山県立水島工業高等学校	
	選手　三宅達也	岡山県立水島工業高等学校	
	選手　米元優樹	岡山県立水島工業高等学校	
広島県	監督　花岡理	広島県立安古市高等学校	
	選手　大迫剛士	広島県立安古市高等学校	
	選手　木村剛	広島県立安古市高等学校	
	選手　田辺佳文	広島市立安佐北高等学校	
山口県	監督　松原康則	山口県立柳井工業高等学校	
	選手　河村光将	山口県立柳井工業高等学校	
	選手　高松哲平	山口県立柳井工業高等学校	
	選手　秋友和洋	山口県立柳井工業高等学校	
香川県	監督　河合雄太	高松商業高等学校	
	選手　高木貴弘	高松商業高等学校	
	選手　森翔紀	高松中央高等学校	
	選手　三好耕二	英明高等学校	
徳島県	監督　澤田慎也	徳島中央高等学校	
	選手　武田直也	徳島商業高等学校	
	選手　松村恭兵	徳島商業高等学校	
	選手　福家康記	城南高等学校	
愛媛県	監督　徳永督	新田高等学校	
	選手　大倉弘樹	新田高等学校	
	選手　河村卓哉	愛媛県立新居浜東高等学校	
	選手　村上真次郎	新田高等学校	
高知県	監督　桑名功	高知県立高知東高等学校	
	選手　森本匡博	高知県立高知東高等学校	
	選手　内原悠詞	高知県立高知東高等学校	
	選手　矢野宏樹	高知県立高知東高等学校	
福岡県	監督　成富勝彦	自由ヶ丘高等学校	
	選手　久場秀行	福岡大学附属大濠高等学校	
	選手　具志堅興平	自由ヶ丘高等学校	
	選手　西村厚輝	自由ヶ丘高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
佐賀県	監督　森田広貴	佐嘉スポーツ(有)	
	選手　吉村拓也	唐津工業高等学校	
	選手　中村高優	唐津南高等学校	
	選手　中村一也	唐津南高等学校	
長崎県	監督　林　貴昭	西陵高等学校	
	選手　小山健太	西陵高等学校	
	選手　小川量平	西陵高等学校	
	選手　松尾幸一郎	西陵高等学校	
熊本県	監督　権藤浩二	熊本県立八代東高等学校	
	選手　武山修三	熊本県立八代東高等学校	
	選手　園田啓悟	熊本県立八代東高等学校	
	選手　嘉村健士	熊本県立八代東高等学校	
大分県	監督　渡邉仁友	大分県立別府鶴見丘高等学校	
	選手　佐藤　郷	大分県立別府鶴見丘高等学校	
	選手　升巴勇希	大分県立大分上野丘高等学校	
	選手　衛藤翔平	大分県立大分西高等学校	
宮崎県	監督　山内　勉	宮崎県立妻高等学校	
	選手　高妻光博	宮崎県立宮崎工業高等学校	
	選手　高妻智一	宮崎県立宮崎工業高等学校	
	選手　吉田賢司	宮崎県立宮崎工業高等学校	
鹿児島県	監督　鬼塚敦義	牧園高等学校	
	選手　柳　雅俊	鹿児島高等学校	
	選手　曽山秀策	鹿児島高等学校	
	選手　益山広基	鹿児島商業高等学校	
沖縄県	監督　赤嶺　靖	沖縄水産高等学校	
	選手　上原奨矢	沖縄水産高等学校	
	選手　比嘉門翼	与勝高等学校	
	選手　上門正也	与勝高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　谷浦　隆	札幌静修高等学校	
	選手　木村　茜	札幌静修高等学校	
	選手　澤村郁美	札幌静修高等学校	
	選手　八木麻由加	とわの森三愛高等学校	
青森県	監督　高屋　仁	青森山田高等学校	
	選手　本間ちさと	青森山田高等学校	
	選手　藤井瑞希	青森山田高等学校	
	選手　垣岩令佳	青森山田高等学校	
宮城県	監督　常田貴裕	聖ウルスラ学院英智高等学校	
	選手　丁塚真紀	聖ウルスラ学院英智高等学校	
	選手　大阪あや	聖ウルスラ学院英智高等学校	
	選手　伊藤小菜美	聖ウルスラ学院英智高等学校	
埼玉県	監督　田部井秀郎	越谷南高等学校	
	選手　井上春奈	埼玉栄高等学校	
	選手　富永翔子	越谷南高等学校	
	選手　作山智美	上尾高等学校	
千葉県	監督　高瀬秀雄	西武台千葉高等学校	
	選手　皆川友依	西武台千葉高等学校	
	選手　松本千夏	西武台千葉高等学校	
	選手　鈴木美希子	西武台千葉高等学校	
富山県	監督　麦谷正二	富山県立高岡西高等学校	
	選手　江淵愛美	富山県立高岡西高等学校	
	選手　金山友萌	富山県立高岡西高等学校	
	選手　安念幸恵	高岡龍谷高等学校	
石川県	監督　車　浩明	石川県立金沢向陽高等学校	
	選手　浜中麻亜子	石川県立金沢向陽高等学校	
	選手　樽野　恵	石川県立金沢向陽高等学校	
	選手　南出なつき	石川県立金沢向陽高等学校	
岐阜県	監督　多田隈尚	西濃信用金庫	
	選手　高井亜季代	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　奥　幸那	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　松岡智美	岐阜県立岐阜商業高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
滋賀県	監督　濱　久美雄	滋賀女子高等学校	
	選手　福森　絵里菜	滋賀女子高等学校	
	選手　大條　小真姫	滋賀女子高等学校	
	選手　土井　杏奈	滋賀女子高等学校	
大阪府	監督　谷田　尚嗣	此花学院高等学校	
	選手　恵良　友里亜	此花学院高等学校	
	選手　小口　晃佳	四天王寺高等学校	
	選手　津村　優衣	四天王寺高等学校	
岡山県	監督　佐藤　忠裕	山陽女子高等学校	
	選手　三宅　司	山陽女子高等学校	
	選手　入江　千夏	山陽女子高等学校	
	選手　岡﨑　愛	山陽女子高等学校	
広島県	監督　藤田　雅史	鈴峯女子高等学校	
	選手　落合　智世	鈴峯女子高等学校	
	選手　岡田　美紀	鈴峯女子高等学校	
	選手　柳亭　郁実	清水ヶ丘高等学校	
山口県	監督　河本　泰	山口県立熊毛北高等学校	
	選手　紙川　美津恵	山口県立柳井工業高等学校	
	選手　藤井　綾香	山口県立熊毛北高等学校	
	選手　逸見　雪乗	山口県立熊毛北高等学校	
愛媛県	監督　出井　康隆	新田高等学校	
	選手　髙岡　希奈	新田高等学校	
	選手　小川　静香	新田高等学校	
	選手　安藤　真里絵	愛媛県立西条農業高等学校	
福岡県	監督　明神　憲一	九州国際大学付属高等学校	
	選手　下崎　彩	九州国際大学付属高等学校	
	選手　栗原　文音	九州国際大学付属高等学校	
	選手　谷口　智美	自由ヶ丘高等学校	
長崎県	監督　駒田　智史	長崎女子高等学校	
	選手　竹中　朋佳	長崎女子高等学校	
	選手　大塚　珠世	長崎女子高等学校	
	選手　古木　春香	長崎女子高等学校	

競技成績採点方法

男女総合成績(天皇杯得点)及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

１　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成　年　男　子 成　年　女　子 少　年　男　子 少　年　女　子	成　年　女　子 少　年　女　子	各種別とも１位２４点、２位２１点、３位１８点、４位１５点、５位（４チーム）各７．５点、の競技得点を与える。

２　参加得点

大会（ブロック大会も含む。）に参加した都道府県に１０点を与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表

	都道府県名	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男子総合成績（天皇杯）				女子総合成績（皇后杯）				備考
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位	
1	北海道																	
2	青森																	
3	岩手																	
4	宮城																	
5	秋田																	
6	山形																	
7	福島																	
8	茨城																	
9	栃木																	
10	群馬																	
11	埼玉																	
12	千葉																	
13	東京																	
14	神奈川																	
15	山梨																	
16	新潟																	
17	長野																	
18	富山																	
19	石川																	
20	福井																	
21	静岡																	
22	愛知																	
23	三重																	
24	岐阜																	
25	滋賀																	
26	京都																	
27	大阪																	
28	兵庫																	
29	奈良																	
30	和歌山																	
31	鳥取																	
32	島根																	
33	岡山																	
34	広島																	
35	山口																	
36	香川																	
37	徳島																	
38	愛媛																	
39	高知																	
40	福岡																	
41	佐賀																	
42	長崎																	
43	熊本																	
44	大分																	
45	宮崎																	
46	鹿児島																	
47	沖縄																	

過去の成績一覧表

第４回　昭和２４年　東京都ＹＭＣＡ（個人戦オープン）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子　単	東京　広田敏秀	北海道　佐藤保	東京　藤井光男
一般男子　複	東京　広田敏秀 藤井光男	神奈川　岡淳一 相馬万吉	北海道　佐藤保 村上三郎
一般女子　単	神奈川　吉田とよ子	愛知　吉沢千里	神奈川　遠藤文子
一般女子　複	神奈川　吉田とよ子 遠藤文子	神奈川　小林歌子 中村たき	愛知　吉沢千里 後藤範子

第５回　昭和２５年　愛知県　白鷗小学校・東桜小学校（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京　広田敏秀 藤井光男 小宮淳宏 山田康久	神奈川　岡淳一 相馬万吉 小谷直次 松本武道	北海道　佐藤保 村上三郎 葛西英俊 若林守
一般女子	神奈川　吉田とよ子 遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子	愛知　水谷鈴子 堀江綾子 保田久子 伊与田照子	北海道　伊藤絹代 安藤栄 佐賀信子 片岡京子
高校男子	北海道　石田裕 神山周二 大塚健一 島中貞夫	愛知　石川光男 渡辺成雄 大竹健司 野口勇	神奈川　岡道明 村松弘喬 江井実 藤井昴一

第６回　昭和２６年　広島県　広大東雲分校・同大附属小学校（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京　広田敏秀 岡道明 山田康久	岐阜　玉越忠治 大竹健司 大野和彦	愛知　藤井光男 渡辺成雄 蟹和男
一般女子	愛知　堀江綾子 保田久子 伊与田照子	石川　登悦子 貝原まさえ 高田八重子	北海道　伊藤絹代 片岡京子 栗原澄子
高校男子	愛知　服部興治 野口勇 立松健一	石川　東正直 西貞夫 諸江秀一	岐阜　後藤裕八郎 林金太郎 田中正則

第７回　昭和２７年　宮城県　東北大学体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀 岡道明 藤井昴一 吉原秀雄	北海道	石田裕 神山周二 葛西英俊 野坂豊三郎	東京	江井実 小宮章敏 山崎茂 佐藤芳朗
一般女子	石川	貝原まさえ 登悦子 高田八重子 米倉衣絵	東京	田中知江子 中谷成子 生之瀬京子 小野寺京子	愛知	堀江綾子 保田久子 伊与田照子 水野美根子
高校男子	東京	望月文雄 倉田一彦 力石潔 鈴木隆治	神奈川	新倉和男 関根英司 内藤弾明 伏島光則	石川	諸江秀一 井上晴夫 山本圭三 上田稔
高校女子	兵庫	広瀬延子 西尾貞子 小笠原美津子 関一子	山形	佐藤照子 五十嵐弘子 斉藤久美子 佐藤明	神奈川	大川良子 竜野美代子 藤田光子 中島緑

第８回　昭和２８年　香川県　善通寺体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀 佐治豊 川崎順久 杉田博	東京	藤井光男 諸江秀一 相川十一郎 萩原誠	岐阜	大竹健司 松岡竜三 丹波哲昭 林金太郎
一般女子	神奈川	遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子 小野智子	北海道	岡元弘子 梅津貴久江 阿部悦子 荒井重子	石川	貝原まさえ 登悦子 島谷須磨子 町駒ヤス子
高校男子	北海道	片石兼敏 加藤正則 長谷川竜男 井桁啓充	石川	江尻桂三 辻直而男 半田外幸男 岡崎健一	神奈川	越川啓 花岡牧夫 折井利彦 内藤弘明
高校女子	宮城	西堀富美子 谷津京子 佐藤範子 松本幸子	香川	大西誉子 秋山武子 真鍋久子	神奈川	大川良子 藤田光子 竜野美代子 波多野澄子

第９回　昭和２９年　北海道　札幌市（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	岐阜	玉越忠治 大竹健司 松岡竜三	愛知	野口勇 服部興治 稲熊貞夫	富山	清水正 釣谷友一 荒木亥久男
一般女子	宮城	西堀富美子 佐藤範子 谷津京子	石川	登悦子 貝原まさえ 渋谷信	愛知	保田久子 伊与田照子 堀江綾子
高校男子	愛知	豊場健 御友広正 伊藤雅昭	石川	西村嘉信 江尻桂三 島谷昇	神奈川	富沢健一 伊豆内宏 渡辺潔
高校女子	福島	武田信子 伊藤桂子 尾形亨子	岡山	大森嘉美 友野文子 三宅基子	愛知	大沢節子 大室久美子 大竹泰子

第１０回　昭和３０年　神奈川県　神奈川県体育館・鶴見女高校体育館（総合優勝　神奈川県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀 杉田博 岡道明	岐阜	大竹健司 松岡竜三 酒井弘	富山	釣谷友一 荒木亥久男 高木満
一般女子	福島	武田信子 伊藤桂子	神奈川	荒川とみ子 小林歌子 大川良子	北海道	梅津貴久江 阿部悦子 下山重子
高校男子	東京	永井栄一 北島克英 小野岡順一	石川	北方匡 関功 米谷外喜彦	山形	生田仁紀 板垣隆房 羽角至
高校女子	岡山	友野文子 権田節子 三宅基子	宮城	佐々木功子 三津節 菅井静子	香川	永田豊子 藤田紙代 藤村怜子

第１１回　昭和３１年　兵庫県　神戸ＹＭＣＡ・生田中学校（総合優勝　岡山県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	杉田博 佐藤芳明 佐藤昌久	大阪	上田益弘 増木節男 武村俊平	岡山	毛利清志 前田俊一 石原利通
一般女子	宮城	西堀富美子 小野寺静江 佐藤範子	岡山	友野文子 権田節子 光本政子	兵庫	西尾貞子 加藤洋子 金森奎子
高校男子	神奈川	小宮好雄 中村智 斉藤裕之	岡山	四ツ柳邦夫 小田桐正徳 岩本龍一	山形	板垣隆房 山岸重考 鑓水勝志
高校女子	香川	横井キヌエ 井上桂子 山下衣子	北海道	小林桂子 戸田寿子 根岸絢	宮城	三浦節 沼倉英子 三浦与志子

第１２回　昭和３２年　静岡県　富士市体育館・富士高講堂（総合優勝　神奈川県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗 杉田博 新倉和男	東京	望月文雄 力石潔 鈴木俊三	北海道	島中貞夫 星野嘉雄 神山周爾
一般女子	香川	横井キヌエ 井上桂子 山下衣子	岡山	権田節子 光本政子 小林桂子	神奈川	大川良子 小林歌子 石川英子
高校男子	神奈川	小宮好雄 中村智 鈴木敏勝	石川	酒井明夫 村田和男 堀知章	島根	平野隆 森脇英祐 富田豊
高校女子	香川	田島外茂子 山下久子 宮下ツヤ子	静岡	掛橋良子 西村弘子 佐野禎子	石川	有田順子 長田悠喜子 松田富美子

第１３回　昭和３３年　富山県　高岡女子高校体育館・南星中学校体育館（総合優勝　東京都）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 越川啓 花岡牧夫	神奈川	杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪	高谷芳弘 上田益弘 松王清志
一般女子	香川	横井キヌエ 山下久子 田島外茂子	神奈川	小林歌子 大川良子 二見文子	岡山	権田節子 光本政子 小林桂子
高校男子	山形	金森義弘 板垣善憲 小林賢	東京	鈴木幸春 宮永武司 貝戸肇	奈良	森晃一 榎高嗣 中川安正
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	石川	山崎紀久子 川節子 竹多光子

第１４回　昭和３４年　東京都　足立区体育館（総合優勝　神奈川県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗 佐藤昌久 関口潔	石川	新田正治 酒井治夫 村田和男	大阪	松王清志 小松康博 小松貢
一般女子	神奈川	大川良子 二見文子 椎野みや子	香川	横井キヌエ 山下久子 宮川ツヤ子	富山	大坪あい子 高島洋子 中島玲子
教員男子	神奈川	杉田博 山本剛 石原義治	大阪	佐藤茂雄 宝来敏夫 北野敬四郎	東京	平田登志郎 市川和司 柳田直規
高校男子	宮城	渡部紘一 堀江保雄 甲斐昭宏	北海道	竜瀬康彦 竹中将光 梅木聡	神奈川	山本洋彦 岡崎恵三 小坂拓充
高校女子	香川	蔵本文子 有木とみ子 福本和子	静岡	伊沢利子 志村セツ子 石原待子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子

第１５回　昭和３５年　熊本県　菊池市体育館（総合優勝　富山県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	東京	永井栄一 北島克英 貝戸肇	神奈川	佐藤芳朗 遠藤啓治 砥石勤	富山	荒木亥久男 扇沢三徳 大野幸雄
一般女子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	秋田	脇坂チエ 木村政子 横山満子	静岡	野村志津江 伊沢利子 志村セツ子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 茂藤寛	神奈川	杉田博 山本剛 石原義治	秋田	宮越竜三 脇坂安隆 鈴木裕司
高校男子	神奈川	岡崎恵三 小坂拓充 長谷川敏彦	山形	佐藤勝彦 出沢勇男 高橋清一	新潟	阿部孚 笠原淳 伊藤洋祐
高校女子	富山	橘美智子 酒井美智子 平田敦子	香川	横井文子 林信子 森久子	秋田	高橋奉子 石沢七子 長崎文子

第１６回　昭和３６年　秋田県　象潟町中学校体育館（総合優勝　秋田県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 永井栄一 星野忠男	神奈川	佐藤芳朗 岡崎恵三 遠藤啓治	山形	板垣隆房 出沢勇男 北村任
一般女子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子	秋田	木村政子 横山満子 高橋奉子	香川	宮川ツヤ子 福井知子 横井文子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻圭三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	秋田	脇坂安隆 鈴木裕司 高橋弘喜
高校男子	新潟	大竹紘一 安沢武司 星野義昭	北海道	中村富光 松浦潔 松本直治	山梨	平田勲 秋山真男 早川博
高校女子	山形	佐藤弘子 小笠原詔子 矢口淳子	静岡	高木紀子 天野博江 影山昭子	秋田	伊藤美津子 横山綾子 大門モモ子

第１７回　昭和３７年　岡山県　県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝　東京都、富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	星野忠男 富田豊 井門鎮雄	神奈川	遠藤啓治 鈴木敏勝 岡崎恵三	愛知	北島克英 小宮好雄 長谷川陽一
一般女子	香川	福井知子 横井文子 森久子	富山	橘美智子 酒井美智子 栂野尾桂子	秋田	木村政子 横山満子 高橋奉子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻圭三	神奈川	杉田博 秋山捷彦 岡田敬三郎	秋田	脇坂安隆 鈴木裕司 真崎俊光
高校男子	新潟	本田務 荒川治男 阿野善紀	東京	西野一征 須田孝夫 関一誠	青森	奥谷国昭 長谷川勇 三上義明
高校女子	富山	橘妙子 室崎光子 河村和子	秋田	大塚トシ 大門サヨ子 間瀬幸子	岡山	高塚淳子 重政百代 七村泰子

第１８回　昭和３８年　山口県　下関市体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 稲熊文隆	東京	井門鎮雄 宮永武司 堺栄一	島根	星野忠男 富田豊 長谷川春茂
一般女子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	香川	田島外茂子 横井文子 森久子	富山	栂野尾桂子 酒井美智子 室崎光子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻圭三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	大阪	大世古吉弘 北野敬四郎 片岡輝明
高校男子	新潟	星野義夫 裏田光男 樋口一春	東京	関一誠 中村安 古屋和正	北海道	福島智徳 林守 久保田和男
高校女子	栃木	前沢和子 松本昭子 小出千代子	新潟	後藤和子 茂沢純子 竹内泰子	北海道	高森幸子 高田裕子 村田泰子

第１９回　昭和３９年　新潟県　県立三条高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 岩后隆昭	東京	永井栄一 宮永武司 堺栄一	石川	新田正治 村田和男 沢田力
一般女子	香川	横井文子 田島外茂子 森久子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	岐阜	高木紀子 天野博江 岩后蛍子
教員男子	新潟	渡部紘一 永井司 佐藤俊夫	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻圭三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦
高校男子	新潟	鈴木正造 神田和夫 片山毅	奈良	森芳夫 橋本修 真壁年一	富山	立野正昭 盛野博之 高林弘則
高校女子	栃木	植木タカ子 大島コヨ 武田初枝	新潟	竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	秋田	佐々木フミ 中川美枝子 加賀谷ユミ子

第２０回　昭和４０年　岐阜県　富田学園体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 長谷川敏彦	東京	堺栄一 宮永武司 田上十六	香川	東条義昭 山口立朗 牟田顕
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田泰子	香川	横井文子 森久子 加藤和子	新潟	後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
教員男子	石川	河原山晴夫 北方匡 村西一	北海道	杉田茂良 笹森剛 中島弘志	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	栂野尾昌一 寺前信之 中坪邦雄	岐阜	堀幸矩 杉山修 尾関美智則	奈良	真壁年才 河村憲一 滝野公一
高校女子	大阪	近藤光枝 才脇妙子 池田栄子	岐阜	高橋葉子 稲葉良子 川本美代子	栃木	上野明美 石崎喜代子 吉田サト子

第２１回　昭和４１年　大分県　日田林工高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 安沢武司	山梨	岡崎恵三 秋山真男 三上勇	大分	宮永武司 田中大也 春武俊一
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	新潟	後藤和子 石崎妙子 加藤操	秋田	横山満子 高橋奉子 加賀谷ユミ子
教員男子	北海道	杉田茂良 安達惟彦 上山功夫	石川	河原山晴夫 北方匡 原栄一	岡山	三宅勝 毛利清志 柳本堯敏
高校男子	新潟	本間順次 高橋宣 奥田良作	宮城	我妻一郎 市川清 寒河江一利	香川	西辻和一 西崎健弘 小田忠庸
高校女子	山形	小山登茂子 遠藤幹子 伊藤シゲ子	新潟	本間恵美子 日下悦子 高坂薫	岡山	湯木博江 浦口恵子 佐藤民子

第２２回　昭和４２年　埼玉県　越ヶ谷市立体育館（総合優勝　香川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	板垣善憲 安沢武司 小林一宏	神奈川	小島一平 山本洋彦 遠藤啓治	東京	堺栄一 田上十六 本橋平八
一般女子	香川	有木とみ子 横井文子 山本真江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 加藤操	岐阜	高木紀子 天野博江 虫賀雅子
教員男子	富山	清水芳隆 正木史郎 松山信之	北海道	杉田茂良 安達惟彦 上山功夫	宮城	加茂和夫 渡部紘一 菊地功
高校男子	富山	米田実 松島保 谷口寛	奈良	滝野公一 小林正昭 葛輪博一	宮城	門間幹夫 山田哲夫 木戸純一
高校女子	新潟	相沢マチ子 金子美知子 高坂薫	香川	小片千恵子 竹森経子 山下清美	栃木	田仲美津江 枝加代子 印波和子

第２３回　昭和４３年　福井県　県立勝山合同体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	岡崎恵三 秋山真男 田中登	神奈川	小島一平 吉良悠一 渡辺直人	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 安藤久美子	東京	高橋とも子 水野小夜子 田仲美津江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 小林邦子
教員男子	熊本	南直治 工藤勇参 芦原健身	石川	北方匡 村西一 原栄一	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	二上敏博 草島正治 布目茂	山形	遠藤好男 田所光男 伊藤政臣	岐阜	岩田昇 後藤路宏 足立守男
高校女子	大阪	平山泰子 柴山きよ子 高橋弘子	香川	宮武泰子 福本幸子 赤沢ひろ子	新潟	堀川栄美子 竹仲悦子 大竹由里子

第２４回　昭和４４年　長崎県　諫早市体育館、県立諫早高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高橋千代美	東京	高橋とも子 田仲美津江 水野小夜子	京都	永井かおり 山下三枝子 岡崎繁子
教員男子	熊本	西田寿明 工藤勇参 芦原健身	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏	石川	北方匡 原栄一 村西一
高校男子	新潟	本間亨 小泉司 九原正敏	群馬	内田通夫 桐生台次郎 渡辺稔	奈良	菅原弘貴 岡田昇久 山本繁幸
高校女子	大阪	柴山きよ子 高橋弘子 大場照美	岐阜	及川恵子 脇田和子 紅谷島子	栃木	望月しずか 石崎茂子 阿久津まさ子

第２５回　昭和４５年　岩手県　釜石製鉄所健康保険組合体育館（総合優勝　岩手県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	東京	池田信孝 栂野尾昌一 鈴木健二	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二
一般女子	新潟	竹中悦子 相沢マチ子 後藤和子	岐阜	高木紀子 天野博江 桑原富士子	栃木	松本昭子 石崎喜代子 望月しずか
教員男子	岩手	佐々木彦士 佐々木邦夫 永沢和彦	石川	北方匡 原栄一 松本忠之	熊本	西田寿明 工藤勇参 芦原健身
高校男子	奈良	巽康司 竹内真 西川繁美	石川	銭谷欽治 竹村勇治 青山信吾	岩手	高橋信夫 佐藤荘 佐藤吉雄
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	栃木	小林敏枝 藤井幸子 池田静江	香川	川東秀美 森清美 田所静子

第２６回　昭和４６年　和歌山県　湯浅中学校、耐久高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	渡辺直人 小島一平 宮川秀樹	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄	岐阜	森芳夫 河田満 安藤義治
一般女子	新潟	鈴木明美 後藤和子 本間恵美子	神奈川	杉田良子 味藁とも子 秋山陽子	北海道	田村静子 高野美千子 今川喜佐子
教員男子	滋賀	久保田良昌 藤原健二 藤上良信	和歌山	森隆 中西詳味 佐藤光伸	熊本	本郷節生 南直治 工藤勇参
高校男子	新潟	土田証雄 鈴木裕 佐野直行	和歌山	山本茂樹 倉内徹 岡忠成	奈良	西川繁美 佐野弘 中井基夫
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	福島	千葉陽子 宮内すみ子 木村瑞江	岡山	林寿美子 平田喜久江 三宅一美

第２７回　昭和４７年　太陽国体　鹿児島県　南高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	小島一平 渡辺直人 宮川秀樹	東京	鈴木健二 池田信孝 栂野尾昌一	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄
一般女子	東京	湯木博恵 竹中悦子 石崎茂子	愛知	橋本香代 池田静江 富居康子	香川	小片千恵子 小西幸代 森清美
教員男子	和歌山	森隆 中西詳味 門間幹夫	栃木	別井晃 斉藤桔 森田昇	石川	北方匡 原栄一 長谷川進
高校男子	奈良	中井基夫 南田義正 辻敏弘	石川	原敏夫 山下敏行 谷島助男	岐阜	古西悟 角田勝 後藤純一
高校女子	大阪	秋本幸子 高田幹子 徳田敦子	山形	矢口洋子 本間浩子 今田真知子	千葉	山田尚子 平野美千代 瀬野清美

第２８回　昭和４８年　若潮国体　千葉県　県立茂原高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京 関一誠 栂野尾昌一 池田信孝	愛知 本間順次 松島保 谷口寛
一般女子	東京 湯木博恵 相沢マチ子 竹中悦子	香川 森清美 川東秀美 長尾弥生	岐阜 天野博江 広沢功子 日比野悦子
教員男子	滋賀 藤上良英 藤上良信 藤原健二	石川 原栄一 長谷川進 和田修	山形 永井司 高山昌三 斉藤和夫
高校男子	富山 西村正美 梶川博之 上治雄	福島 寺田繁 矢部芳光 五十嵐弘之	奈良 池田文昭 松重恵三 坪内利夫
高校女子	大阪 高田幹子 徳田敦子 植野恵美子	千葉 山田尚子 平野美千代 瀬野清美	山形 堀田正子 清水礼子 福原友子

第２９回　昭和４９年　水と緑のまごころ国体　茨城県　石岡小学校体育館、石岡二高校体育館（総合優勝　東京

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京 池田信孝 栂野尾昌一 今井茂満	神奈川 小島一平 宮川秀樹 笠井教行	愛知 松島保 本間順次 谷口寛
一般女子	東京 石崎茂子 今田真知子 柴山きよ子	香川 田所静子 山口豊子 川東秀美	北海道 田村静子 高野美千子 藤島百子
教員男子	和歌山 門間幹夫 武藤隆志 森隆	石川 原栄一 長谷川進 高来秀夫	茨城 佐藤利昭 関本昌和 大川健太郎
高校男子	山形 米山孝二 中島俊彦 加藤信之	奈良 塚本良一 小倉久和 村田信博	福井 長谷川博幸 諏訪芳博 中村幸平
高校女子	新潟 関根和子 大塚ソノエ 佐藤由喜子	香川 牛田真弓美 片山千英子 渡辺幸子	大阪 植野恵美子 石川好子 北村寿弥子

第３０回　昭和５０年　たくましくあすをひらこう　みえ国体　県立松阪高校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位	2位	3位
成年男子	一般	神奈川 小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京 池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	富山 河村博之 今泉勉 米沢和男
成年男子	教員	石川 原栄一 長谷川進 和田修	群馬 今井勇司 関俊夫 桐生台次郎	宮城 渡部紘一 木戸純一 白岩良治
成年女子		東京 湯木博恵 池田美加 柴山きよ子	香川 川東秀美 田所静子 山口豊子	岡山 石田雅子 三田明美 藤原敦子
少年男子		奈良 吉岡伸浩 富田章夫 田島裕司	石川 宮森庄吉 酒井直人 坂本宏志	宮城 橘川光孝 沼沢隆 宍戸隆夫
少年女子		大阪 植野恵美子 北村寿弥子 石川好子	三重 谷口元美 槇野いく子 野崎知花	香川 前川加代子 渋谷茂子 金崎美保

第３１回　昭和５１年　若楠国体　佐賀県　県立牛津高校体育館、町立牛津中学校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	富山	今泉勉 牧野光男 米沢和男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 和田修	群馬	関俊夫 今井勇司 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 武藤隆志 山本茂樹
成年女子		東京	湯木博恵 石崎茂子 今田真知子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子
少年男子		石川	重山成生 森田均 坂本昌嗣	滋賀	北橋進 西山博司 西堀武	香川	平野勝彦 上原明 木田敬二
少年女子		大阪	石川好子 平久美子 河村茂美	新潟	青木恵子 藤井良子 佐藤友子	東京	徳永順子 松枝睦子 永野ふみ子

第３２回　昭和５２年　あすなろ国体　青森県　浪岡町民体育館（総合優勝　青森県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	埼玉	尾崎幹雄 飯野佳孝 土田証雄	東京	池田信孝 梅野尾昌一 銭谷欽治	神奈川	小島一平 笠井教行 辻敏弘
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 舛田吉光	群馬	今井勇司 栗原恒夫 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 山本茂樹 米山正和
成年女子		東京	湯木博恵 池田美加 池田茂子	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美
少年男子		滋賀	西山博司 矢部忠司 山田和樹	栃木	角田光永 久郷俊明 関根忠	青森	丹藤勇一 楠美誠悦 島内俊二
少年女子		大阪	平久美子 河村茂美 原口恵子	高知	浜田由理 田村圭香 寺田史枝	青森	葛西明子 山下奈々子 柳沼端代

第３３回　昭和５３年　やまびこ国体　長野県　塩尻市立体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男 大場和博 西村龍夫	新潟	棒勇 鈴木裕 丸山法男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	長谷川進 舛田吉光 和田修	群馬	今井勇司 栗原恒夫 岩崎盛和	熊本	工藤勇参 稲津悟 田中芳文
成年女子		大阪	谷美津代 秋本幸子 東海林文子	福岡	桶本百合子 丸山富江 山口峰子	栃木	沼能久子 日山裕子 日向野藤枝
少年男子		熊本	本石俊憲 権藤浩二 井上哲章	山形	桜井雅人 五十嵐正弘 須貝英徳	滋賀	保科正浩 横田悟司 川嶋栄司
少年女子		新潟	月岡広美 中沢一枝 斉藤優子	栃木	上野加代子 高田康子 海賀里美	大阪	合川裕子 原口恵子 北田スミ子

第３４回　昭和５４年　日本のふるさと宮崎国体　宮崎西都市民体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男	神奈川	小島一平	北海道	遠藤好男
			大場和博		高橋清		木村敏雄
			織本富之		菅敏明		久原正敏
	教員	石川	長谷川進	群馬	今井勇司	滋賀	藤原健二
			和田修		栗原恒夫		藤上良信
			舛田吉光		鏑木智博		脇坂重之
成年女子		栃木	日山裕子	大阪	東海林文子	香川	平井佐代子
			日向野藤枝		葛西明子		山田高子
			大嶌和代		原口恵子		前川加代子
少年男子		熊本	権藤浩二	香川	岡野佳浩	栃木	馬場良浩
			村上英介		小西太		小野口正
			井上哲章		竹田佳史		大島正志
少年女子		大阪	北田スミ子	新潟	藤井直子	熊本	川添安代
			植田日出子		遠藤えり子		高峯和子
			冨田美千代		富岡栄子		陣内貴美子

第３５回　昭和５５年　栃の葉国体　栃木県　真岡市総合体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉	石川	長谷川進	神奈川	小島一平
		米正隆		舛田吉光		池田隆治
		二上敏博		堂谷内均		菅敏明
成年女子	東京	端洋護	滋賀	谷美津代	愛知	小松澄子
		渡辺多喜子		若村弥生		渡辺喜美
		高岸陽子		阪口典子		柳田智佳子
少年男子	滋賀	山本裕幸	栃木	大島正志	熊本	井上哲章
		竹端英夫		大堀円		伊東幸男
		松浦進二		戸村正樹		福田和幸
少年女子	熊本	高峯和子	大阪	松田全代	新潟	野上満子
		陣内貴美子		新木千織		山内美子
		森山弘美		尾崎升美		山田登美子

第３６回　昭和５６年　びわこ国体　滋賀県　大津市皇子が丘公園体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉	青森	佐藤光伸	群馬	今井勇司
		米正隆		須藤茂		秋庭克行
		林加永		村元英美		鏑木智博
成年女子	東京	湯木博恵	滋賀	谷美津代	大阪	河村茂美
		高岸陽子		西村美千代		平久美子
		月岡広美		磯野恵理子		葛西明子
少年男子	滋賀	松浦進二	山梨	松野修二	石川	羽田義仁
		片岡泰		宮健次		村松博
		辻田泰昌		宮康二		宮本照啓
少年女子	熊本	陣内貴美子	香川	山内佳子	新潟	山内美子
		高峯尚子		佃貴子		石崎咲知子
		森山弘美		永井明美		本田佳代子

第３７回　昭和５７年　くにびき国体　島根県　大東町立体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	群馬	今井勇司	富山	今泉勉	北海道	遠藤好男
		鏑木智博		米沢和男		米山孝二
		秋庭克行		米正隆		千葉昌弘
成年女子	岡山	河本小織	大阪	河村茂美	静岡	山本美津子
		高田幹子		平久美子		川島直子
		小寺裕美		国奥美智子		原田純子
少年男子	滋賀	西川勉	石川	山尾克則	埼玉	長内征美
		辻田泰昌		岡島浩一		新井利幸
		杉本吉男		羽田憲治		大割誠一郎
少年女子	大阪	松田太嘉子	熊本	森山弘美	栃木	三沢真奈美
		石井香澄		高峯尚子		岡崎仁子
		鴻原春美		青木きよみ		小貫早苗

第３８回　昭和５８年　あかぎ国体　群馬県　桐生市民体育館（総合優勝　群馬県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	群馬	今井勇司	新潟	鈴木裕	静岡	後藤和之
		栗原恒夫		山下圭一		飯野佳孝
		鏑木智博		飯塚芳英		井出裕雄
成年女子	岡山	河本小織	静岡	川島直子	東京	枝美代子
		高田幹子		白松千加子		月岡広美
		中原裕美		原田純子		高峯尚子
少年男子	熊本	川本英明	兵庫	佐藤浩	奈良	見市昌弘
		林謙一		松本泰典		小野満哲
		三次英昭		村山喜洋		村山友二
少年女子	大阪	鴻原春美	熊本	上村美香	新潟	原田真理恵
		新木貴子		平井真由美		本田みどり
		宮崎正美		青木きよみ		川野名智美

第３９回　昭和５９年　わかくさ国体　奈良県　田原本町中央体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	工士恭司	群馬	今井勇司	奈良	辻敏弘
		江藤正治		栗原恒夫		中井基夫
		権藤浩二		鏑木智博		吉岡伸浩
成年女子	大阪	葛西明子	石川	伊東ひとみ	東京	枝美代子
		星和枝		小野順子		森山弘美
		平山美恵子		小路和代		三田知佳子
少年男子	滋賀	江藤裕樹	富山	平井保光	埼玉	松元功一
		中川健		中嶋正男		生井沢勝美
		中川康		室田繁行		石橋隆
少年女子	大阪	新木貴子	新潟	若井郁子	青森	徳光由美子
		今村薫		小池由扶子		谷地春子
		山田陽子		青戸香織		西田美知子

第４０回　昭和６０年　わかとり国体　鳥取県　県立由良育英高校体育館（総合優勝　熊本県

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺圭一	群馬	今井勇司 栗原恒夫 竹内康夫	愛知	坂本宏志 古賀勝志 坂井外喜男
成年女子	新潟	月岡広美 野上満子 山内美子	大阪	高峯和子 星和枝 平山美恵子	山形	東海林文子 佐藤栄美子 田口真由美
少年男子	埼玉	生井沢勝美 菊地修 石橋隆	石川	気谷篤人 山本明彦 中川守	熊本	浜北和彦 中村徳裕 小本義久
少年女子	熊本	田島志乃 田代美智世 松尾知美	新潟	小池由扶子 青戸香織 棒匡子	青森	横手智恵美 平間由紀 乳井智秋

第４１回　昭和６１年　かいじ国体　山梨県　勝沼町民体育館（総合優勝　山梨県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	山梨	山本裕幸 松野修二 宮健次	大阪	森下一夫 谷田尚嗣 保科正浩	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺圭一
成年女子	新潟	月岡広美 野上満子 山内美子	富山	今川真理子 大谷鶴美 田向和子	山梨	高田幹子 野口英代 清藤和
少年男子	熊本	久住猛 畑野宏幸 本山秀昭	山梨	内田高志 與石努 岩佐延寿	富山	吉田直樹 越田芳成 城木夢高
少年女子	福岡	田村富士美 田島由美 間庭由美	熊本	松尾和美 毛利千秋 渡辺喜美子	埼玉	秋元美佐緒 太田悦子 清水由紀子

第４２回　昭和６２年　海邦国体　沖縄県　糸満市西崎総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	岐阜	蘭和真 木内広史 横尾宣幸	群馬	栗原恒夫 竹内康夫 片桐哲也	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺圭一
成年女子	富山	今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	愛知	宮本美津子 大屋幸恵 松本清美	石川	彼島佳子 小路和代 水本幸子
少年男子	滋賀	鈴木草麻生 平井肇 小河原崇	熊本	本山秀昭 高村誠也 廣龍宗美	埼玉	関根英勝 石井隆 鈴木秀二
少年女子	熊本	中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	大阪	南里高子 岩田良子 水井妃佐子	新潟	棒匡子 高橋朱美 加賀ゆかり

第４３回　昭和６３年　京都国体　京都府　長岡京市西山公園体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男	群馬 鏑木智博 竹内康夫 片桐哲也
成年女子	富山 今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	大阪 今村薫 田代美智世 磯崎照枝	愛知 大屋幸恵 丑田明子 佐々恵理
少年男子	埼玉 大谷知昌 内村剛 須賀隆弘	北海道 工藤忠和 藤本謙治 村井秀樹	滋賀 平井肇 小河原崇 中橋一晃
少年女子	大阪 岩田良子 水井妃佐子 新木美志子	熊本 中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	宮城 立花久枝 矢野直子 伏見亜古

第４４回　平成元年　はなます国体　北海道　日本工学院北海道専門体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	北海道 伊藤雅弘 山尾克則 角谷淳一	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男
成年女子	群馬 野口英代 中島真美 藤岡美智子	大阪 今村薫 奥山保子 秋元美佐緒	東京 都木弘美 毛利千秋 星野実智代
少年男子	北海道 佐藤嘉伸 郷路一郎 古川英樹	埼玉 片山卓哉 久保田雄三 関根靖則	熊本 田上厚志 本田和裕 霜上和宏
少年女子	熊本 宮村愛子 松田治子 阪本雅子	大阪 水井妃佐子 利川三貴 坂田美佐	佐賀 庄島由美子 寺尾美紀 藤原久子

第４５回　平成２年　とびうめ国体　福岡県　筑紫野市農業者ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	三重 福田実 中川健 常山兼二	大阪 辻田泰昌 奥野勉 早戸敬雄	福岡 荒木秀文 中村正巳 石井正行
成年女子	福岡 清水尚美 田村富士美 田頭美奈子	静岡 金丸陽子 横手智江美 山田美紀	大阪 今村薫 奥山保子 三ツ川貴子
少年男子	大阪 岸田明宏 上龍賢二 小河原詔市郎	熊本 本田和裕 岡部英朗 前田尚文	埼玉 関根靖則 高橋真 増田直樹
少年女子	埼玉 井田貴子 青木由美子 浜崎忍	大阪 松田洋子 杉田暢子 大田貴子	佐賀 寺尾美紀 篠原久子 鬼塚知美

第４６回　平成３年　石川国体　石川県　美川町総合スポーツセンター（総合優勝　石川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	中川　健 三重　常山兼二 山内一志	辻田泰昌 大阪　奥野勉 早戸敬雄	毛利達彦 石川　羽田義仁 崎田健一
成年女子	田児よし子 東京　都木弘美 立花久枝	青戸香織 神奈川　森真由美 加賀ゆかり	小泉陽子 石川　上浜陽子 中尾仁美
少年男子	太田慎二 千葉　石橋秀法 佐藤裕二	増田直樹 埼玉　高橋真 加賀谷洋	青木康 石川　竹鼻拓也 石本明男
少年女子	橋本淳子 宮城　山田浩美 貴田泉	高野八重 群馬　丹野恭子 田部井美奈	津田藍子 石川　安田香奈 丸山実喜子

第４７回　平成４年　べにばな国体　山形県　新庄市体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	辻田泰昌 大阪　今井彰宏 鈴木草麻生	西山博司 山形　渡辺清一 寺島剛志	角谷淳一 北海道　工藤忠和 古川英樹
成年女子	大堀麻紀 富山　佐々木忍 野々村美春	林美希 熊本　田畑美香 上田純子	田児よし子 東京　岡山登紀子 立花久枝
少年男子	高橋幸治 群馬　横山秀之 坂入英貴	成島瑞穂 茨城　樋渡順也 矢部正博	片岡直茂 熊本　花田政文 野田良介
少年女子	大田貴子 大阪　水井泰子 川口桐香	小室恭子 埼玉　伊藤さおり 浅井康代	宮村亜貴子 熊本　村上直美 伊藤真弓

第４８回　平成５年　東四国国体　香川県　坂出市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	高橋英治 東京　峯岸康史 須賀隆弘	谷田尚嗣 大阪　植村昭彦 常山兼二	中川　健 三重　磯部昌弘 吉田義利
成年女子	西田美由紀 大阪　村上直美 大田貴子	林美希 熊本　田畑美香 上田純子	中尾仁美 香川　川本光佐子 磯崎照枝
少年男子	樋渡順也 茨城　矢部正博 大橋雅道	田中肇一 千葉　池田哲徳 小倉伸彦	井野嘉久 北海道　一宮孝一 馬木智一
少年女子	水井泰子 大阪　川口桐香 鬼池めぐみ	増茂孝枝 北海道　中山智香子 田村裕美	山田潤子 富山　進藤範子 山田青子

第４９回　平成６年　わかしゃち国体　愛知県　大府市民体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	須賀隆弘 片山卓哉 久保田雄三	大阪	辻田泰昌 今井彰宏 植村昭彦	富山	気谷篤人 岩淵公一 本山秀昭
成年女子	東京	松尾知美 道上彰子 阪本雅子	富山	佐々木忍 渡辺真由美 高野八重	新潟	竹野景子 遠藤みゆき 亀田幸恵
少年男子	滋賀	酒井将之 諏訪良人 松本徹	北海道	一宮孝一 馬木智一 今西隆浩	石川	津田光一郎 奥森正志 舛田圭太
少年女子	大阪	福島由佳 鬼池めぐみ 市橋美紀	福岡	長谷部裕子 吉富明子 吉武由加里	群馬	中麻依子 岡田真紀 亀山貴代

第５０回　平成７年　ふくしま国体　福島県　白河市中央体育館（総合優勝　福島県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	福島	柳谷辰哉 大堀均 平野泰宏	富山	気谷篤人 本山秀昭 本田和裕	大阪	常山兼二 渡辺哲義 岸田明宏
成年女子	福島	棒匡子 大堀麻紀 寺尾美紀	大阪	中山智香子 増茂孝枝 田中美保	富山	佐々木忍 松田治子 高野八重
少年男子	滋賀	松本徹 向裕樹 川口馨士	福島	渡部訓生 沈逸文 竹俣洋平	石川	徳坂渉 栄代正男 舛田圭太
少年女子	石川	中島珠美 片糸由希子 堀哲子	富山	山田青子 石橋陽子 加藤真知子	福岡	吉富明子 大石瞳 稗田華子

第５１回　平成８年　ひろしま国体　広島県　三原リージョンプラザ（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今井彰宏 谷内貴昭 本田和裕	熊本	霜上和宏 花田政文 福田茂	北海道	村井秀樹 佐藤嘉伸 水澤直哉
成年女子	富山	河口奈緒美 明石由美 市橋理恵	新潟	竹野景子 斎藤かおり 住矢直美	広島	福井奈美 吉川愛 渡辺夕子
少年男子	石川	舛田圭太 車浩明 酒井忠相	埼玉	小吹公彦 中西洋介 長嶺宙	熊本	大東忠司 木下伸介 二瓶良
少年女子	埼玉	井川里美 岩脇史 李荔	熊本	杉浦美幸 永峰弘子 橋本純子	大阪	吉岡知香 鄭有琁 安城美華

第５２回　平成９年　なみはや国体　大阪府　大東市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	東京 兒嶋　昇 町田　文彦 須賀　隆弘 久保田　雄三	大阪 松井　峰生 常山　兼二 植村　昭彦 岸田　明宏	福岡 森　裁美 清水　文武 棟居　秀行 五十嵐　一智
成年女子	大阪 宮崎　克巳 井田　貴子 中山　智香子 増茂　孝枝	奈良 谷口　章 水井　妃佐子 水井　泰子 渡辺　未奈子	富山 河合　昭博 高野　八重 河口　奈緒美 市橋　美紀
少年男子	大阪 和田　泰寛 仲尾　修一 永谷　和也 福川　和也	熊本 権藤　浩二 瓶　良 大東　真也 中村　寿史	石川 彼島　重範 車　浩明 酒井　忠相 茶谷　徳靖
少年女子	福岡 樽野　智子 森　かおり 中内　景子 三好　奈緒	石川 和田　修 田井　美幸 桝田　恵 田村　恵理	大阪 西上　正一 福永　麻美 安城　美華 速水　永子

第５３回　平成１０年　かながわ・ゆめ国体　神奈川県　大和市ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ体育会館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 鈴木　草麻生 今井　紀夫 大山　宏司	東京 兒嶋　昇 町田　文彦 須賀　隆弘 渡辺　清一	大阪 松井　峰生 岸田　明宏 松井　充 川口　馨士
成年女子	奈良 谷口　章 水井　泰子 松田　治子 市橋　理恵	茨城 磯部　和弘 米倉　加奈子 大坂　千尋 岩松　絵里子	富山 河合　昭博 高野　八重 河口　奈緒美 明石　由美
少年男子	熊本 権藤　浩二 大東　真也 中村　寿史 茂見　祥平	埼玉 関根　務 橋村　竜彦 平山　政史 川崎　和宗	石川 彼島　重範 酒井　忠相 茶谷　徳靖 山下　淳
少年女子	福岡 樽野　智子 中内　景子 藤本　乃恵 松尾　美穂子	大分 吉田　信之 末綱　聡子 赤尾　美代 赤尾　亜希	埼玉 加藤　勝 大熊　倫子 山口　絵美 謝　婷婷

第５４回　平成１１年　くまもと未来国体　熊本県　八代市総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	熊本 石黒　之武久 霜上　和宏 花田　政文 大東　忠司	富山 今泉　勉 今井　紀夫 今大山　宏司 吉川　大助	神奈川 石場　隆雄 舛田　圭太 清水　隆志 古川　裕輔
成年女子	大阪 宮崎　克巳 鬼池　めぐみ 森　かおり 関本　祥子	茨城 大塚　三佳 大米倉　加奈子 中島　暁子 大坂　千尋	富山 河合　昭博 山本　静香 山田　潤子 山田　青子
少年男子	東京 渋谷　実介 安村　康翔 佐藤　治翔 佐々木　翔	熊本 権藤　浩二 茂見　祥平 池田　礼緒奈 土田　真義	香川 岡野　佳浩 二宮　和敬 前田　丈博 木場　喬
少年女子	福岡 明神　憲一 松尾　美穂子 藤本　乃恵 脇坂　郁	熊本 伊東　幸雄 田上　千晴 松本　舞子 野口　理加	埼玉 中島　正敏 陳　暁娜 大下　詩織 広岡　まり香

第５５回　平成１２年　２０００年とやま国体　富山県　高岡市民体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 今井紀夫 谷田貴昭 大山宏司	熊本 村中陽介 花田政文 田上良治 古井博高	神奈川 石場隆雄 舛田圭太 清水隆志 古川裕輔
成年女子	茨城 下鳥洋樹 米倉加奈子 長縄美佳子 岩松絵理子	大阪 喜多努 関本祥子 田上千春予 西宏	富山 河合昭博 山本静香 山田潤子 山田青子
少年男子	東京 渋谷実 佐藤翔治 佐々木翔 池田雄一	富山 山形英明 川口佳介 米隆夫 劉志遠	北海道 井口一司 早坂幸平 石田圭大 竹村純
少年女子	青森 髙屋仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 楊藹琳	富山 麦谷正二幸 田村美幸 今井幸代 劉晶	長崎 春野良三 松田友美 西山真鯉子 宇津早也香

第５６回　平成１３年　新世界・みやぎ国体　宮城県　塩竈市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 吉川大助 舛田圭太 大東忠司	熊本 村中陽介 古井博高 花田政文 田上良治	埼玉 中條彪 中村憲尚 福井剛士 加賀谷洋
成年女子	千葉 中村新一子 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	茨城 小島一夫 松浦裕子 正木真澄 梅津知恵	富山 河合明博 山田潤子 田村美幸 佐伯知佳
少年男子	東京 渋谷実 山浦尚仁一 池田雄士 新開慎	埼玉 大屋貴司 斉藤元伸 堤敦史 井上知也	青森 戸祭潤 岩脇峰生 長原克博 鈕佳平
少年女子	青森 髙屋仁 楊藹琳 廣瀬栄理子 今別府靖代	富山 中田庄二 佐伯美沙都 劉晶 今井幸代	大分 吉田信之 服部麻衣 倉満一美 橋本麻衣子

第５７回　平成１４年　よさこい高知国体　高知県　南国市立ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 今井紀夫 舛田圭太 大東忠司	北海道 古川英樹 水澤直哉 三上裕司 長原正博	大阪 渡辺哲義 川口馨士 一宮孝一 谷内貴昭
成年女子	千葉 中村新一香 山本静香 松田友美 赤尾亜希	宮城 山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸子	東京 落合久夫 岩田良子 米倉加奈子 田井美幸
少年男子	東京 渋谷実 池田雄一士 新開慎士 高木洋平	埼玉 大屋貴司 井上知也 秋山駿祐 新井克巳	滋賀 藤上良信 山口洋公 数野健太 早川賢一
少年女子	青森 高屋仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 小柳知子	岐阜 尾藤伸治 脇田侑 後藤舞 林裕佳	宮城 常田貴裕 田嶋朝美 平山優 松村咲希

第５８回　平成１５年　NEW!!わかふじ国体　静岡県　富士宮市民体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	東京 兒嶋　昇 久保田　雄三 片山　卓哉 清水　裕	岡山 藤原　道弘 松川　大記 尾崎　勝久 佐伯　浩一	宮城 原田　利雄 草井　篤 山下　洋平 鈴木　知道
成年女子	千葉 中村　新一 寺本　悦子 松田　友美 赤尾　亜希	宮城 山並　正人 小川　尚子 長縄　美佳子 徳永　幸子	熊本 今井　彰宏 末綱　聡子 中内　景子 今井　幸代
少年男子	滋賀 藤上　良信 数野　健一 早川　賢太 早崎　修平	東京 小林　重徳 高木　洋平 堀川　善生 林　森	埼玉 大屋　貴司 中尾　祐介 黒田　俊明 宗形　俊克
少年女子	宮城 常田　貴裕 平山　優 松村　咲希 麻植　まさよ	青森 高屋　仁 小柳　知子 藤澤　美佑紀 今別府　香里	熊本 工藤　勇参 吉村　征美 前田　美順 岡　ひとみ

第５９回　平成１６年　彩の国まごころ国体　埼玉県　久喜市総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 舛田　圭太 大東　忠司 大東　真也	埼玉 中條　彪 山田　英孝 福井　剛士 中西　洋介	北海道 小倉　隆司 松本　章 竹村　純 長原　正博
成年女子	熊本 今井　彰宏 末綱　聡子 幡谷　好美 前田　美順	宮城 山並　正人 小川　尚子 長縄　美佳子 平山　優	東京 岩田　良子 田井　美幸 媚山　映里 今別府　靖代
少年男子	東京 渋谷　実生 藤田　真生 堀川　善生 高階　知也	埼玉 帰山　好和 遠藤　大由 山田　和司 小町谷　輝	滋賀 藤上　良信 早川　賢一 早崎　修平 川下　剛士
少年女子	青森 高屋　仁里 今別府　香里 本間　ちさと 藤井　瑞希	埼玉 名倉　康弘 高橋　沙織 井上　春奈 李　舒静	宮城 常田　貴裕 松村　咲希 麻植　まさよ 大阪　あや

第６０回　平成１７年　晴れの国おかやま国体　岡山県　岡山市総合文化体育館（総合優勝　　）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子			
成年女子			
少年男子			
少年女子			

競　技　記　録

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）

——D——

——S——

（　　）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）	―――― ―――― ――――	（　　）……
（　　）	―――― ―――― ――――	（　　）
（　　）	―――― ―――― ――――	（　　）

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）

——D——

——S——

（　　）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）	―――― ―――― ――――	（　　）……
（　　）	―――― ―――― ――――	（　　）
（　　）	―――― ―――― ――――	（　　）

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）

——D——

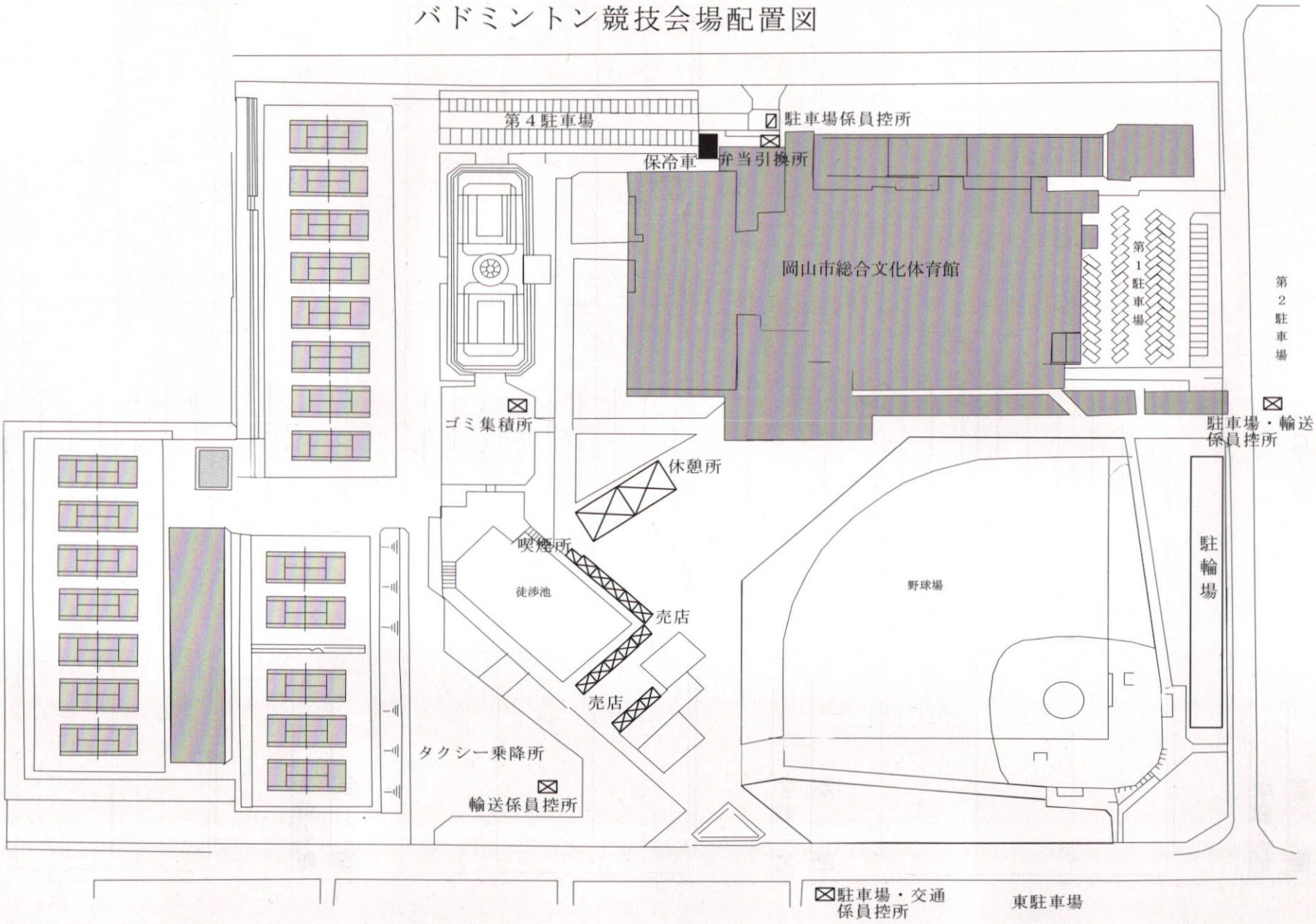
——S——

（　　）

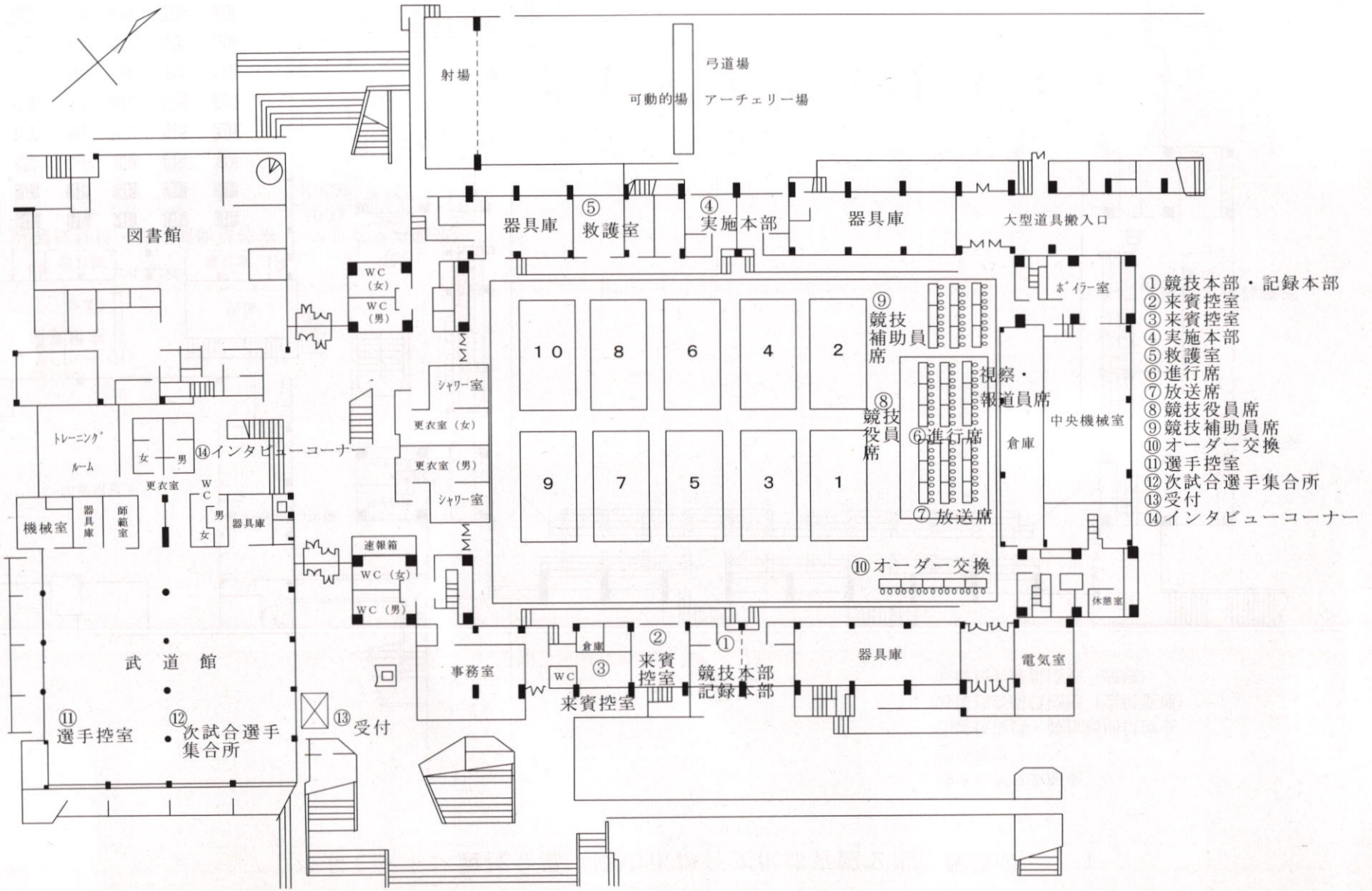
＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）	―――― ―――― ――――	（　　）……
（　　）	―――― ―――― ――――	（　　）
（　　）	―――― ―――― ――――	（　　）

バドミントン競技会場配置図

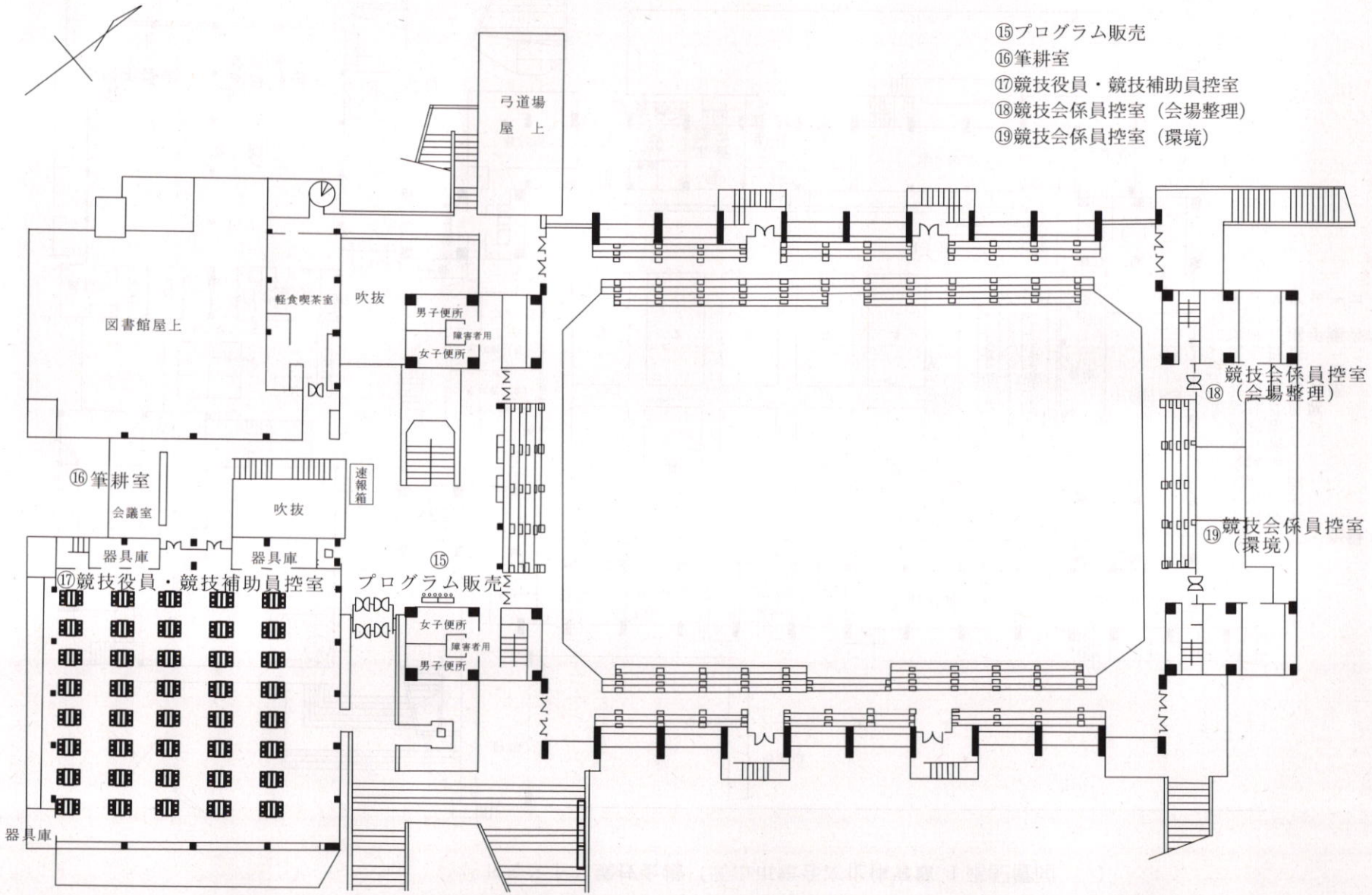


バドミントン競技会場（岡山市総合文化体育館 1階配置図　）



①競技本部・記録本部
②来賓控室
③来賓控室
④実施本部
⑤救護室
⑥進行席
⑦放送席
⑧競技役員席
⑨競技補助員席
⑩オーダー交換
⑪選手控室
⑫次試合選手集合所
⑬受付
⑭インタビューコーナー

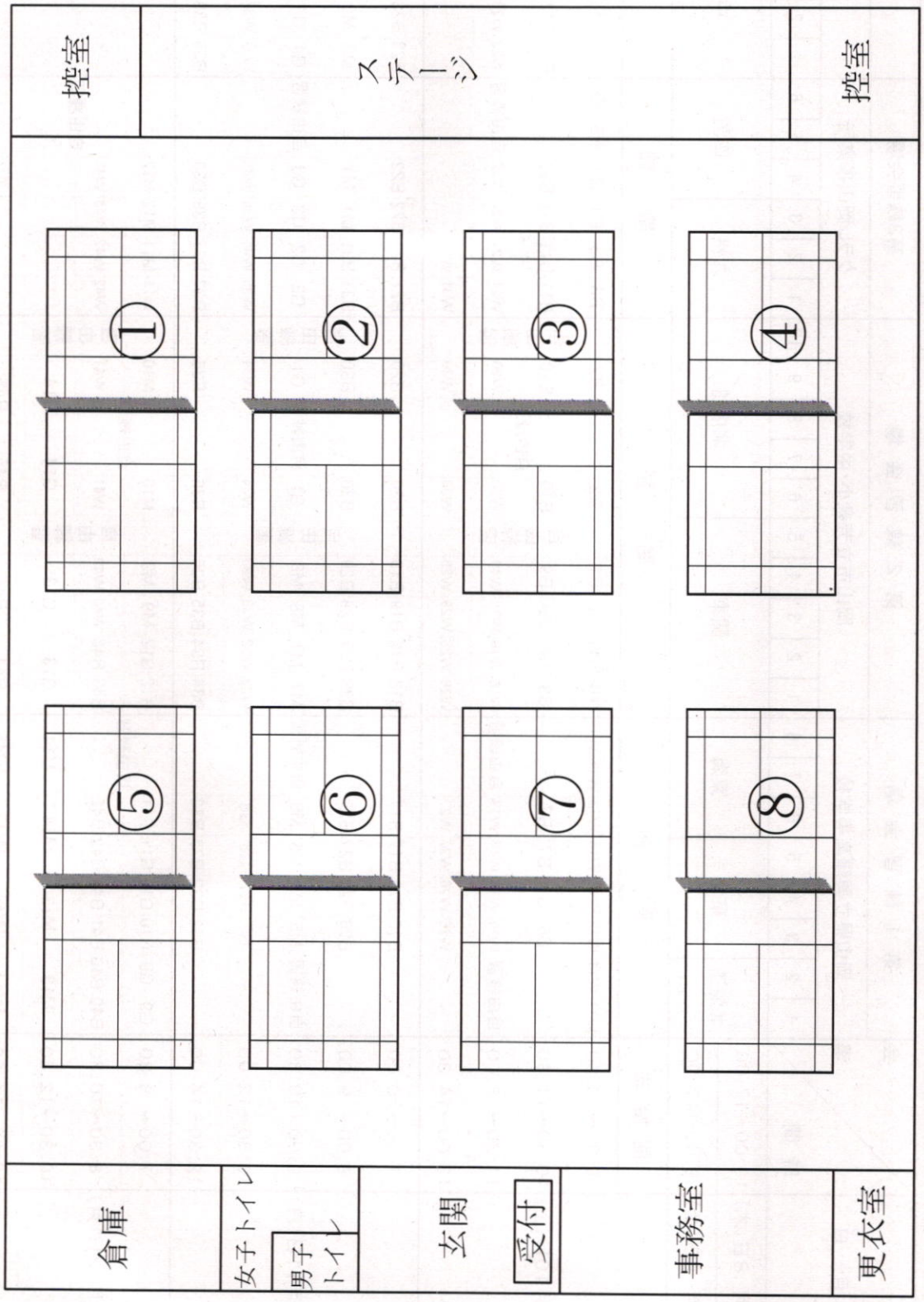
バドミントン競技会場（岡山市総合文化体育館２階　配置図　　）



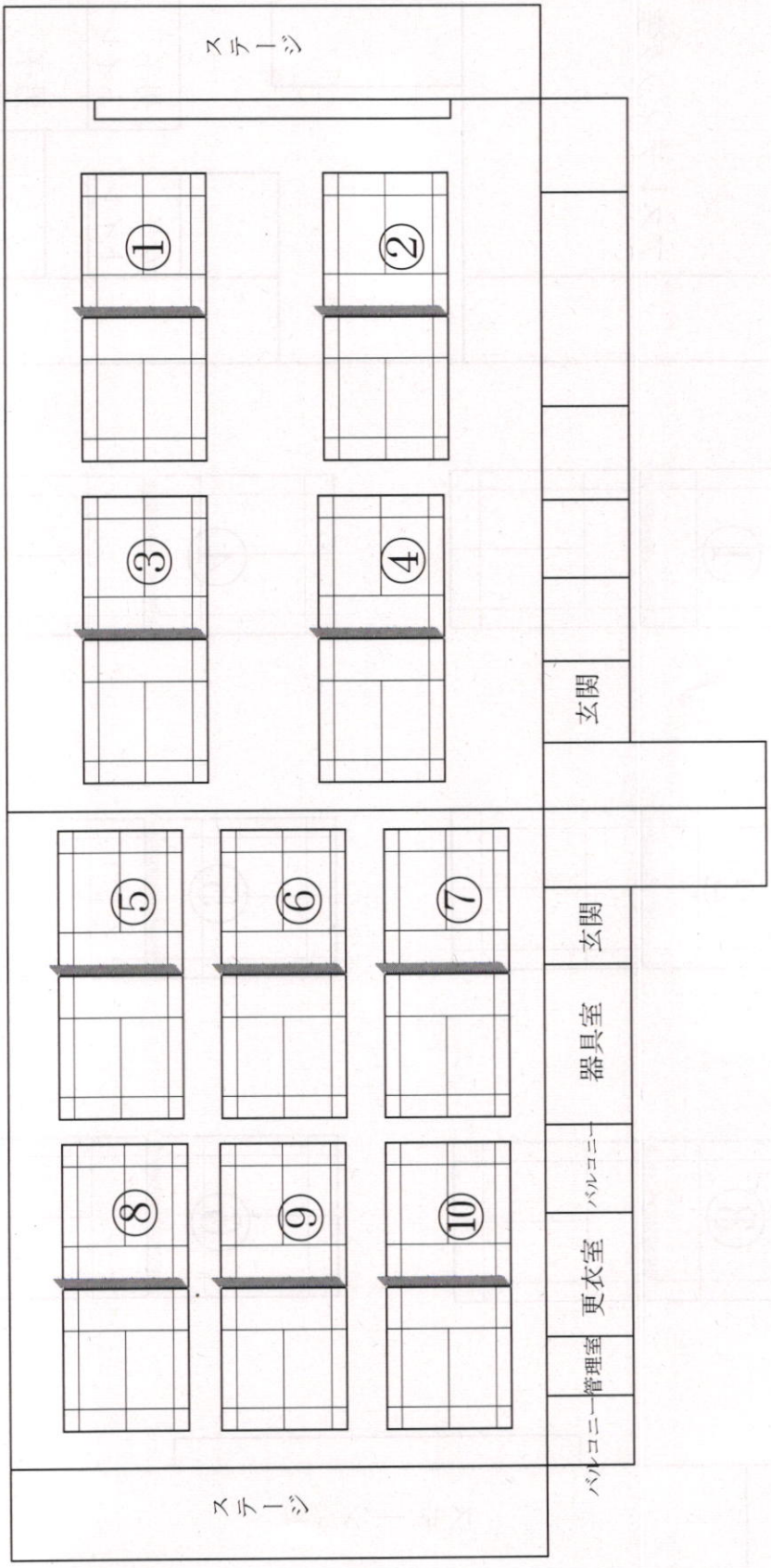
練習会場使用日程表

月日	会場 / 時間	第1練習会場								第2練習会場										第3練習会場						第4練習会場							
		岡山県立興陽高等学校								岡山市立芳泉小・中学校										クラレ岡山事業所						六番川水の公園							
		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8
9月 8日(木)	13:00～17:00	北海道		東北			東海			関東					北信越					九州			四国			中国				近畿			
9月 9日(金)	9:00～17:00																																
9月10日(土)	開始式	閉鎖								閉鎖										閉鎖						閉鎖							
	9:30～10:30	W11	W11	W12	W12	W13	W13	W14	W14	W15	W15	B1	B1	自由練習	B2	自由練習		B2	自由練習	B3	B3	B4	B4	B5	B5	自由練習							
	10:30～11:30	自由練習		B6	B6	B7	B7	自由練習		B8	B8	B9	B9		B10			B10		B11	B11	B12	B12	自由練習		B13	B13	B14	B14	B15	B15	自由練習	
	11:30～13:00			W16	W16	W17	W17			W18	W18	W19	W19		W20			W20		W21	W21	W22	W22			W23	W23	W24	W24	W25	W25		
	13:00～14:30			W26	W26	W27	W27			W28	W28	W29	W29		W30			W30		W31	W31												
9月11日(日)	7:00～ 8:00	自由練習		B16	B16	B17	B17	自由練習		B18	B18	B19	B19	自由練習	B20	自由練習		B20	自由練習	B21	B21	B22	B22	自由練習		B23	B23	B24	B24	B25	B25	自由練習	
	8:00～ 9:00			B26	B26	B27	B27			B28	B28	B29	B29		B30			B30		B31	B31	M1	M1			M2	M2	M3	M3	M4	M4		
	9:00～10:30			M5	M5	M6	M6			M7	M7	M8	M8		G1			G1		G2	G2	G3	G3			G4	G4	G5	G5	G6	G6		
	10:30～12:00			G7	G7	G8	G8			W32	W32	W33	W33		W34			W34		W35	W35	W36	W36			W37	W37	W38	W38	W39	W39		
	12:30～14:00			B32	B32	B33	B33			B34	B34	B35	B35		B36			B36		B37	B37	B38	B38			B39	B39						
9月12日(月)	7:00～ 8:30	G9	G9	G10	G10	G11	G11	自由練習		G12	G12	M9	M9	自由練習	M10	自由練習		M10	自由練習	M11	M11	M12	M12	自由練習		閉館							
	8:30～10:30	B40	B40	B41	B41	B42	B42			B43	B43	W40	W40		W41			W41		W42	W42	W43	W43										
	10:30～12:30	M13		M13		M14		M14		G13		G13			G14		G14																
	12:30～14:30	W44		W44		W45		W45		B44		B44			B45		B45																
9月13日(火)	7:00～ 8:00	M15	M15	M16	M16	W46	W46	W47	W47	B46	B46	B47	B47	G15	G15		G16	G16		閉館						閉館							

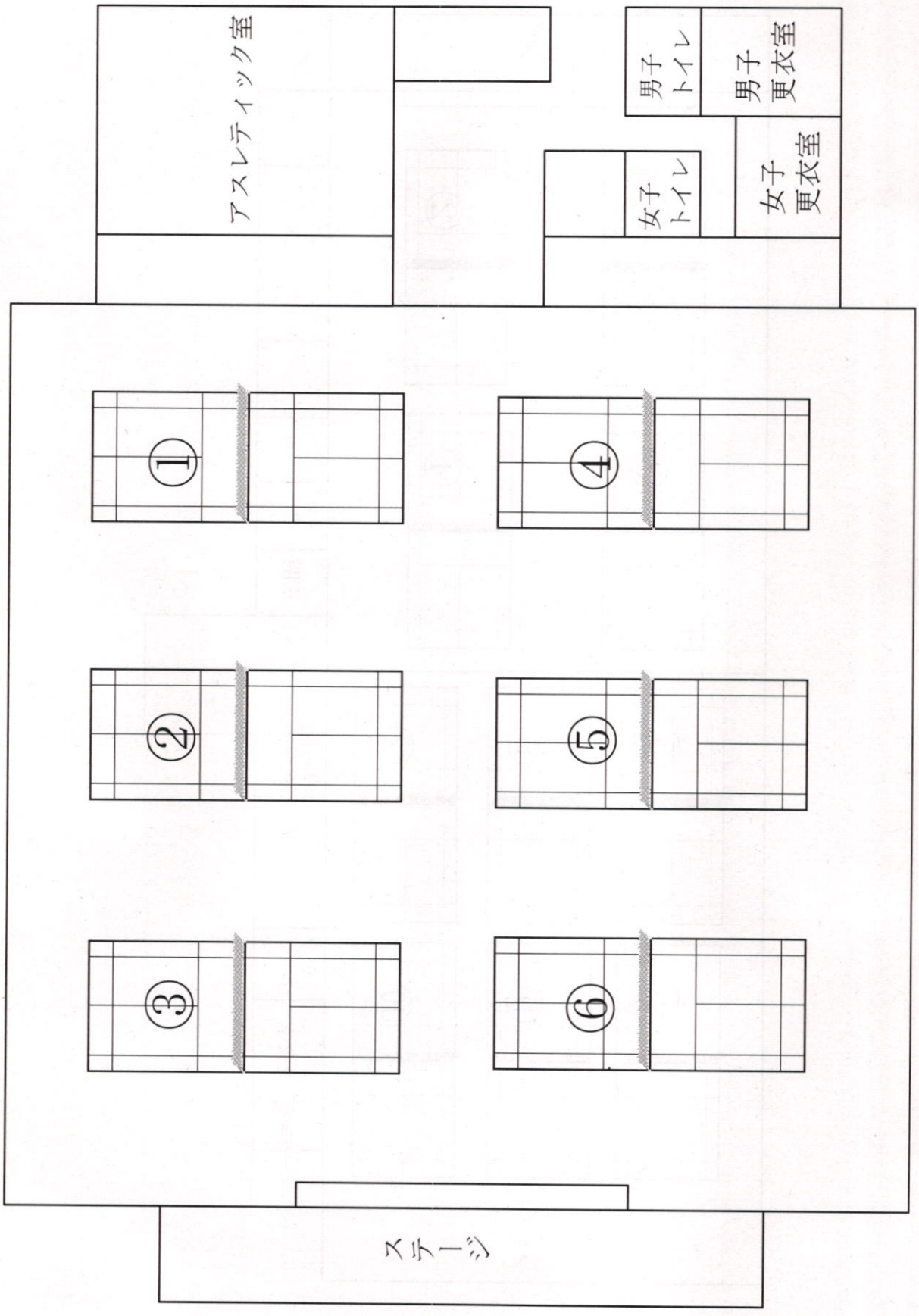
第１練習会場　岡山県立興陽高等学校体育館



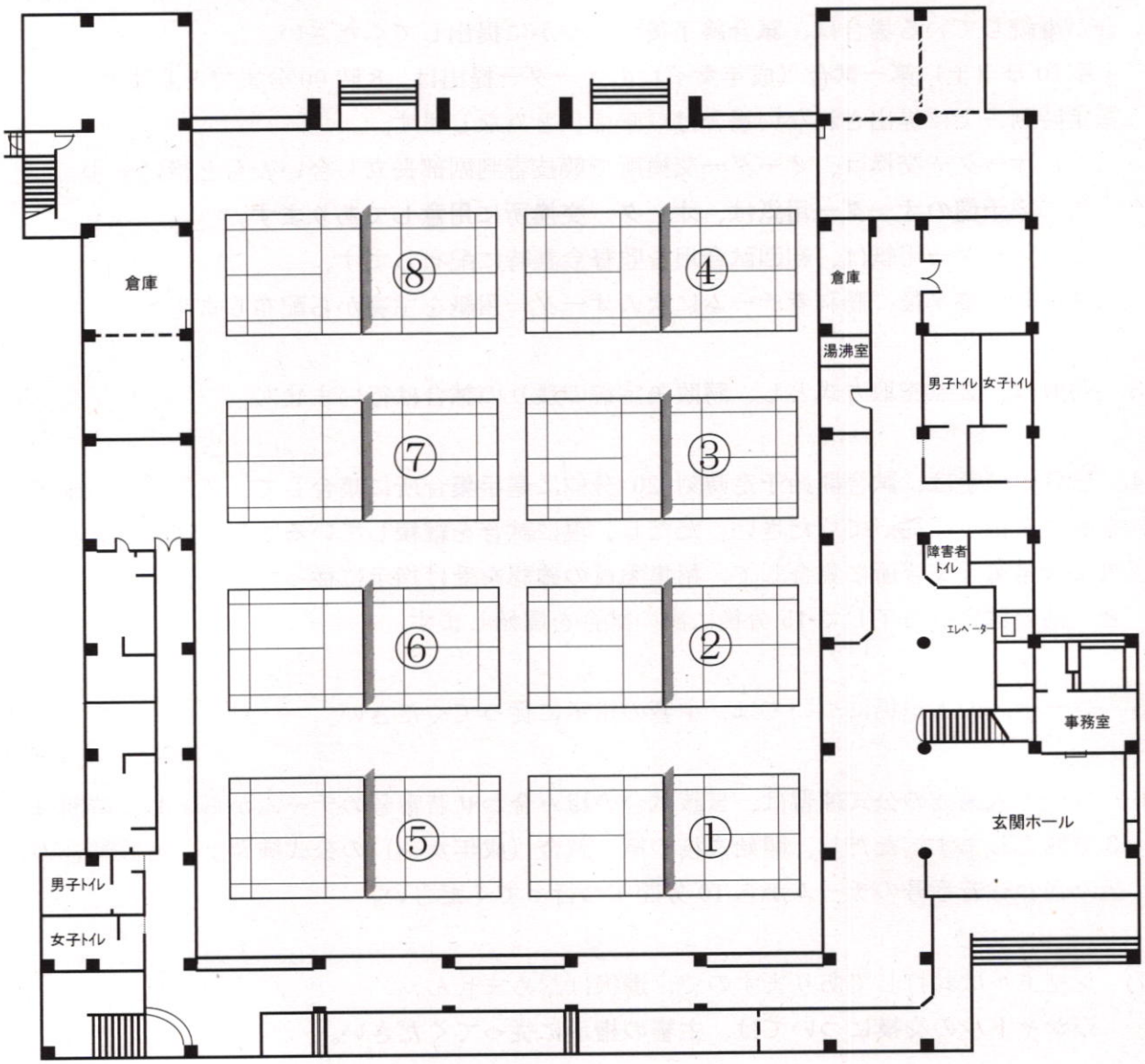
第２練習会場　岡山市立芳泉小・中学校体育館



第３練習会場　㈱クラレ岡山事業所体育館



第４練習会場　六番川水の公園体育館



競　技　上　の　注　意

1　本競技会は、財団法人日本バドミントン協会平成 17 年度競技規則及び大会運営規程により行います。

2　オーダー用紙の提出について、各日の第１試合は６０分前、第２試合以降は４５分前までに、監督がオーダー交換所へ提出してください。しかし、４５分前の時点で現に試合が継続している場合は、試合終了後すみやかに提出してください。
9月 10 日（土）第一試合（成年女子）のオーダー提出は、8時 00 分までとします。
指定時刻までに提出されない場合は「棄権」とみなします。
（１）オーダー交換は、オーダー交換所で競技審判副部長立ち合いのもと行います。
※予備のオーダー用紙は、オーダー交換所に用意してあります。
（２）オーダー用紙は、初回試合用を監督会議時に配布します。
（３）試合終了後、勝利者チームに次のオーダー用紙を主審から配布します。

3　勝敗は、２点先取方式とし、勝敗決定後の残りの試合は行いません。

4　監督・選手は、試合開始予定時刻 20 分前に選手集合所に集合して、招集委員の確認を受け、指示に従ってください。ただし、現に試合を継続している監督・選手は試合が終了次第選手集合所に集合して、招集委員の確認を受け指示に従ってください。この場合、前の試合が終了して 15 分後に次の試合を開始します。

5　コートへの入退場については、主審の指示に従ってください。

6　コート入場後の公式練習は、当該試合の組み合わせ若番号のチームからとし、時間は３分間とします。ただし、開始式後の第一試合（成年女子）の公式練習は、当該試合の組み合わせ若番号のチームから 10 分間ずつ行ってください。

7　シャトルは試打してありますので、選択は認めません。
※シャトルの交換については、主審の指示に従ってください。

8　ファイナルゲーム前のインターバルは、５分を超えないこととしますが、競技区域内及びベンチを離れる場合でも、１分前には必ずコート内で待機してください。
また、第１ゲームと第２ゲーム間の 90 秒を超えないインターバルでは、第１ゲームが終了したら直ちにチェンジエンズをし、その後コート上（競技区域内）にてインターバルを取ってください。その時、コート内に入れるのは選手の外２人までとします。「20 秒」のコールがなされたら、選手以外の方は速やかにコートから離れてください。

9　同一選手による連続試合の場合は、ウエアの着替えのみ認めますが、その場合は必ず主審に申し出てください。

10　試合が遅れている場合は、コートを並行して試合を行うことがあります。
※第２シングルス戦に同一選手が連続して試合を行う場合は、ダブルス戦の試合が終了して10分後に開始します。

11　試合進行の都合により、コートを変更する場合があります。

12　試合中にコート内で事故が生じた場合、コートに入ることを許されるのは、通常、医師の他、必要と認められる競技役員に限られています。

13　競技に際しては、上衣の背面中央に必ず都道府県名のみを明示（文字は、明瞭な漢字）してください。
　また、試合前の練習を含め、ベンチに控えている際にも都道府県名の分かるジャージ又は、ウエアを着用してください。

14　水分の補給について、主審の指示に従ってください。
（１）蓋付のボトルのみ使用を許可します。
（２）脱衣カゴを用意しますので、給水ボトルは必ずその中に入れてください。

15　各試合（ダブルス又は、シングルス）終了時には、勝敗に関係なく、主審及びサービスジャッジと握手することを心がけてください。

16　競技場内では、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。

17　その他、競技実施要項を遵守してください。

審　判　上　の　注　意

1　審判員は、財団法人日本バドミントン協会平成 17 年度の競技規則及び公認審判員規程にのっとり厳正に競技を運営する。

2　競技規則の第９条（サービス）、第 13 条（フォルト）、第 16 条（プレーの継続、不品行な振舞い、罰則）については、厳正に判定する。

3　プレーヤーは、どんな事があっても、体力や息切れを回復できるように、プレーを遅らせてはならない。〔第 16 条第４項〕

ラケットの破損、ストリングスの切断等のためラケットを交換する場合、あるいは、靴の紐を締め変える場合などは、主審の許可を得て指示に従わなければならない。

4　プレーヤーは、第 16 条第２項のインターバル、第 16 条第３項のプレーの中断を除き、マッチ（試合）が終了するまで助言を受けてはならない。〔第 16 条第５項（１）〕

監督・選手などから、プレー中の選手（プレーヤー）に対して、助言・指導することは認められない。

5　プレーヤーは、第 16 条第２項の５分を超えないインターバルを除き、マッチ（試合）が終了するまで、主審の許可なしにコートを離れてはならない。〔第 16 条第５項（２）〕

試合中、プレーヤーが汗拭きやそれに伴う水分補給などのため、プレーが中断しない範囲内でコートを離れる場合でも、主審の許可を得なければならない。

6　競技の品位を保つため、色付着衣を使用する場合は、財団法人日本バドミントン協会の審査合格品とする。〔大会運営規程第 19 条〕

7　全てのマッチ(試合)の第１ゲームと第２ゲームの間のインターバルは、90 秒を超えないこととする。

なお、チェンジエンズを終了後コートを離れてはならない。もし、コートを離れる場合は、主審の許可を得なければならない。

8　プレーヤーが競技規則第 16 条第４・５・６項に違反した場合、主審は違反したサイドのプレーヤーに警告し、さらに繰り返した場合はフォルトを宣言する。目に余る不品行な振舞いをしたり、また、それを続けた場合には、その違反したサイドをフォルトとし、直ちに競技役員長に報告する。

9　審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーと監督に限り、主審に対して「質問」することができる。ただし、「抗議」あるいは「異議」であってはならない。

昼食弁当の斡旋について

1　斡旋期間

平成１７年９月１０日（土）～９月１３日（火）まで

2　弁当料金

１個　９４５円（消費税込み、お茶付き）

3　申込み方法

●競技２日目以降（９月１１日～１３日分）の弁当申込み方法

所定の申込書に必要事項を記入の上、代金を添え、弁当必要日前日の午前１１時～最終試合終了後３０分後もしくは午後６時のどちらか早い時間までに各競技会場弁当引換所へ申込みください。なお、競技初日(９月１０日分)の弁当申込は別途斡旋済みです。

※　申込み後の変更・取消はできません。また、宿舎でのお弁当の申込みは取り扱っておりませんのでご注意ください。

4　弁当引換方法

各競技会場の弁当引換所にて、弁当引換券と引き換えに弁当を受け取ってください。なお、申込みされた引換日・引換所以外での引き換えはできません。

弁当引換時間は、午前１１時～午後１時までです。

5　その他

（1）　食中毒防止のため、弁当はお早めにお召し上がりください。

（2）　弁当ガラは割り箸、お茶容器と分別し、弁当引換所に返却ください。

（3）　弁当引換券及び弁当代金領収書の再発行はいたしません。

医療救護について

1 傷病者が発生したとき

（１）競技会場で傷病又は発病したとき

ア　競技会場には、救護所を設置しています。競技会場の医事係に申し出てください。

イ　救護所は、「看板」等により、所在を示してあります。

（２）宿舎で傷病又は発病したとき

直接宿舎に申し出て、医療機関の紹介をしてもらうか、緊急な場合は、救急車の手配を依頼してください。なお、医療機関に移送する場合、チーム関係者が必ず同行してください。

2　治療の受け方

（１）救護所では、応急処置及び軽易な手当を行います。傷病者を医療機関に移送する必要がある場合、救急車等で移送します。移送の場合は、チーム関係者が必ず同行してください。

（２）救護所から移送により医療機関で治療される場合は、救護所で交付する「処置記録兼診療依頼書」（第１号様式）及び「健康保険証」を医療機関に提示してください。

（３）宿舎において傷病又は発病をし、医療機関で治療を受ける場合は、チーム関係者が同行のうえ「健康保険証」を提示してください。

3 医療費の負担

（１）救護所で行う応急処置及び軽易な手当並びに救急車の利用に要する費用は無料です。

（２）医療機関で治療を受けた費用は受診者の負担となりますので、「健康保険証」を必ず持参してください。「健康保険証」を提示しなかった場合は、医療費の全額が受給者の負担となります。

※個人情報の取り扱いについて

「処置記録兼診療依頼書」（第１号様式）は人の生命、身体の保護のために必要な場合に使用します。なお、国体終了後「処置記録兼診療依頼書」（第１号様式）をもとに傷病者の統計を行い実績報告書に掲載します。ただし、個人を特定できるものではありません。

輸送について

1	大会期間中の輸送	①	選手・監督（タクシー輸送）	公共交通機関での来岡チームを対象に，タクシー輸送を予定しています。タクシーの手配につきましては，国体タクシー予約専用電話へ各チームの責任で手配してください。 また，競技日程を終えた場合は，競技会場から宿舎までの必要枚数を残し，余ったタクシー乗車券を各会場タクシー乗降所の輸送担当係員に返却してください。
		②	一般観覧者	一般観覧者用のシャトルバスは運行しませんので，公共の交通機関等をご利用ください。 【岡山市総合文化体育館】 路線バス利用…　ＪＲ岡山駅バスターミナル⑤⑬番のりばより岡南飛行場行き乗車，カルチャーパーク前下車，下車してすぐ。約１０分間隔で運行，片道運賃４００円。
2	その他	チーム担当者を配置しませんので，不明な点がございましたら各会場「輸送交通係員」にお尋ねください。		

競技会関係電話番号一覧表

【岡山市総合文化体育館】

名　　称	場　　所	電話番号	
実施本部	岡山市浦安南町４９３－２	FAX兼用	（０８６）２６５－６７９３
競技・記録本部	岡山市浦安南町４９３－２	ＴＥＬ	（０８６）２６５－６７９１
		ＦＡＸ	（０８６）２６５－６７９２

【練習会場】

名　　称	場　　所	電話番号	
第１練習会場 岡山県立興陽高等学校体育館	岡山市藤田１５００番地	係員携帯	０９０－４１００－４８７８
第２練習会場 岡山市立芳泉小・中学校体育館	岡山市当新田３－１	係員携帯	０９０－４１００－４８７５
第３練習会場 ㈱クラレ岡山事業所体育館	岡山市海岸通り１－２－１	係員携帯	０９０－４１００－４８７７
第４練習会場 六番川水の公園体育館	岡山市升田６１４－６４	係員携帯	０９０－４１００－４８７６

(財)日本体育協会・文部科学省・都道府県本部宿舎一覧

(財)日本体育協会・文部科学省宿舎

団体名	宿舎名	所在地	電話番号
(財)日本体育協会	ホテルグランヴィア岡山	岡山市駅元町1-5	086-234-7000
文部科学省	ホテルグランヴィア岡山	岡山市駅元町1-5	086-234-7000

都道府県本部宿舎

No.	都道府県名	宿舎名	所在地	電話番号
1	北海道	倉敷ステーションホテル	倉敷市阿知2-8-1	086-425-2525
2	青森県	ホテルグレイス倉敷	倉敷市中央2-1-15	086-434-0111
3	岩手県	ホテルエクセル岡山	岡山市石関町5-1	086-224-0505
4	宮城県	ホテルグレイス倉敷	倉敷市中央2-1-15	086-434-0111
5	秋田県	ホテルグランヴィア岡山	岡山市駅元町1-5	086-234-7000
6	山形県	ホテルエクセル岡山	岡山市石関町5-1	086-224-0505
7	福島県	後楽ホテル	岡山市平和町5-1	086-221-7111
8	茨城県	後楽ホテル	岡山市平和町5-1	086-221-7111
9	栃木県	ホテル倉敷	倉敷市阿知1-1-1	086-426-6111
10	群馬県	岡山全日空ホテル	岡山市駅元町15-1	086-898-1111
11	埼玉県	倉敷国際ホテル	倉敷市中央1-1-44	086-422-5141
12	千葉県	ホテルグランヴィア岡山	岡山市駅元町1-5	086-234-7000
13	東京都	セントラルホテル岡山	岡山市田町1-10-28	086-222-2121
14	神奈川県	セントラルホテル岡山	岡山市田町1-10-28	086-222-2121
15	山梨県	ホテルレオパレス岡山	岡山市柳町2-12-13	086-223-6231
16	新潟県	ベネフィットホテル岡山ほんまち	岡山市本町4-20	086-232-5858
17	長野県	倉敷国際ホテル	倉敷市中央1-1-44	086-422-5141
18	富山県	岡山全日空ホテル	岡山市駅元町15-1	086-898-1111
19	石川県	岡山ロイヤルホテル	岡山市絵図町2-4	086-255-1111
20	福井県	ホテル倉敷	倉敷市阿知1-1-1	086-426-6111
21	静岡県	後楽ホテル	岡山市平和町5-1	086-221-7111
22	愛知県	倉敷ステーションホテル	倉敷市阿知2-8-1	086-425-2525
23	三重県	ホテルグレイス倉敷	倉敷市中央2-1-15	086-434-0111
24	岐阜県	岡山ロイヤルホテル	岡山市絵図町2-4	086-255-1111
25	滋賀県	岡山プラザホテル	岡山市浜2-3-12	086-272-1201
26	京都府	倉敷ステーションホテル	倉敷市阿知2-8-1	086-425-2525
27	大阪府	岡山全日空ホテル	岡山市駅元町15-1	086-898-1111
28	兵庫県	岡山全日空ホテル	岡山市駅元町15-1	086-898-1111
29	奈良県	岡山全日空ホテル	岡山市駅元町15-1	086-898-1111
30	和歌山県	岡山全日空ホテル	岡山市駅元町15-1	086-898-1111
31	鳥取県	ホテルグランヴィア岡山	岡山市駅元町1-5	086-234-7000
32	島根県	ホテルエクセル岡山	岡山市石関町5-1	086-224-0505
33	岡山県	岡山全日空ホテル	岡山市駅元町15-1	086-898-1111
34	広島県	ホテル倉敷	倉敷市阿知1-1-1	086-426-6111
35	山口県	岡山全日空ホテル	岡山市駅元町15-1	086-898-1111
36	香川県	セントラルホテル岡山	岡山市田町1-10-28	086-222-2121
37	徳島県	ホテル330グランデ倉敷	倉敷市中央2-2-26	086-421-0330
38	愛媛県	ホテル330グランデ倉敷	倉敷市中央2-2-26	086-421-0330
39	高知県	ホテルサンルート岡山	岡山市下石井1-3-12	086-232-2345
40	福岡県	ホテル倉敷	倉敷市阿知1-1-1	086-426-6111
41	佐賀県	ホテルグレイス倉敷	倉敷市中央2-1-15	086-434-0111
42	長崎県	岡山プラザホテル	岡山市浜2-3-12	086-272-1201
43	熊本県	ホテルレポーゼ岡山	岡山市表町3-19-21	086-223-5501
44	大分県	岡山全日空ホテル	岡山市駅元町15-1	086-898-1111
45	宮崎県	ホテル倉敷	倉敷市阿知1-1-1	086-426-6111
46	鹿児島県	後楽ホテル	岡山市平和町5-1	086-221-7111
47	沖縄県	ホテル倉敷	倉敷市阿知1-1-1	086-426-6111

BRIDGESTONE

Player's Eye

パワー&コントロール

ニッケルチタン採用。
反発力がアップし
面安定性を兼ね備えた
攻撃型長尺モデル。





NEW

SV-Tg 5000 LONG
エスヴイ チタン 5000ロング
XRAST5 ¥18,000（専用ソフトケース付）

POINT1

形状記憶合金「ニッケルチタン」をシャフトに搭載。
反発力がアップし、シャトルをより速く力強く飛ばせる。



POINT2

高比重素材「タングステンファイバーシート」をフェース両サイドに挿入。
驚異的な面安定性を実現。

- ●サイズ：X1,X2　●フェース面積：346cm²
- ●フェース背幅：最大幅・13.0mm
- ●ラケット長：675mm
- ●素材：ハイモジュラスカーボン　ニッケルチタン　タングステンファイバーシート



SHUTTLECOCKS



SV-1000
エスヴイ1000

XSL101 ¥4,200
- ●サイズ：76～80
- ●数　量：12個入り

第一種検定合格品



SV-1500
エスヴイ1500

XSL201 ¥3,700
- ●サイズ：76～80
- ●数　量：12個入り

第一種検定合格品



SV-2000
エスヴイ2000

XSL102 ¥2,900
- ●サイズ：76～80
- ●数　量：12個入り

第二種検定合格品



ARCHPOWER FB211
アーチパワー エフビー211

XSH211 ¥10,500 *(Men's&Ladies')*

高反発素材「エラ・ムス」と高性能ラバーソールがフットワークを強化。

- ●カラー：BK　●サイズ：22.5～28.0cm
- ●素　材：アッパー部/人工皮革＋合成繊維
  ソール部/
  アウト：耐久ラバー（Ab28/1000）
  ミッド：コンプレッションEVA＋TPUアーチホールド

NEW



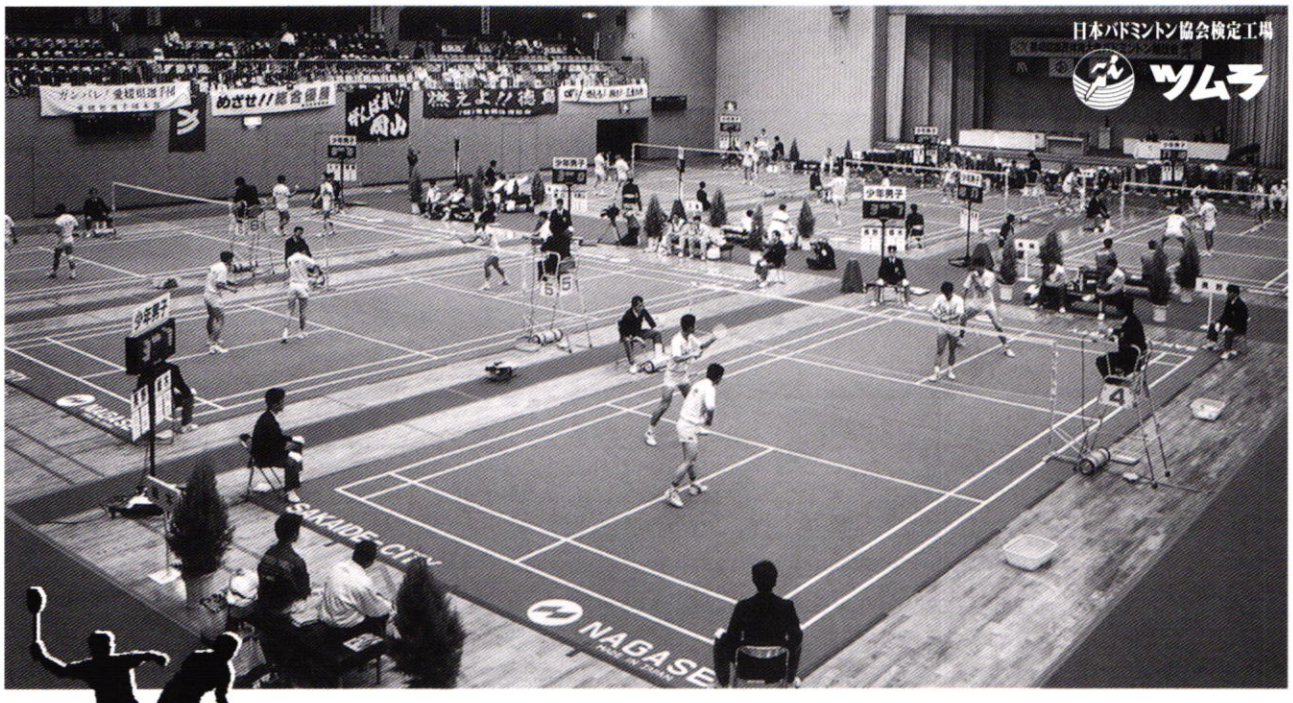
SV-Tg 5000
エスヴイ チタン 5000

XRAST4 ¥18,000
（専用ソフトケース付）

ニッケルチタン採用。
厚ラケの高反発と面安定性を兼ね備えたハードヒッター向けモデル。

- ●サイズ：X1,X2
- ●フェース面積：346cm²
- ●フェース背幅：最大幅・13.0mm
- ●ラケット長：665mm
- ●素材：ハイモジュラスカーボン　ニッケルチタン　タングステンファイバーシート

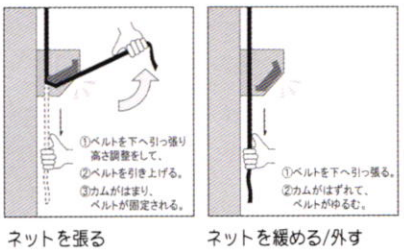
商品のお問い合わせはフリーダイヤル 0120-116613　ホームページのアドレスはhttp://www.bs-badminton.com　ブリヂストンスポーツ株式会社



For the long lasting progression of the sports culture.

あっ という間に ネットが張れる!

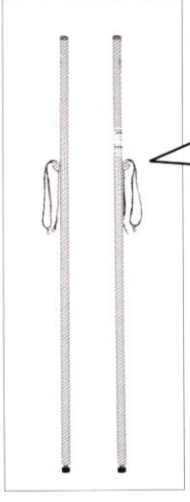
すべての支柱に取り付け可能なネットバックル



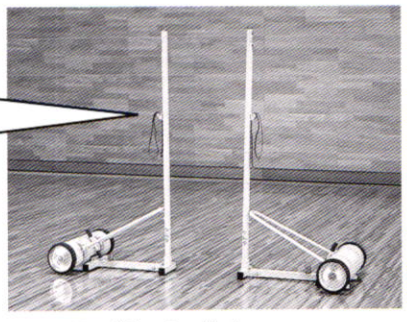
ネットを張る　　ネットを緩める/外す



BD-1300 バドミントンネットバックル
カムロックシステム　既存ポスト取付用　直径40mm
(個) ¥6,510



VT-4057
バドミントンポスト
日本バドミントン協会検定品
支柱直径40mm
カムロック式、床面保護ゴム付
(組) ¥37,800



VT-4321 バドミントンポスト〈移動式〉〈セパレートタイプ〉
国際バドミントン連盟検定品日本バドミントン協会検定品
支柱直径40mm/移動車輪付
カムロック式、床面保護ゴム付
(組) ¥252,000

株式会社 都村製作所　http://www.tsumura-f.co.jp

本社・工場 〒766-0004 香川県仲多度郡琴平町榎井590　TEL: 0877-73-2251 FAX: 0877-73-2084　mail: head@tsumura-f.co.jp
東京支店 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-9-101 TEL: 03-3208-1505 FAX: 03-3208-1535　mail: tokyo@tsumura-f.co.jp

MMOA PROFESSIONAL STAFF 2005

モア・ジャパン　プロフェッショナルスタッフ

マーレフ　マイナキー（MARLV MAINAKY）
1993年　US OPEN 1位
1997年　オーストラリアオープン 2位
1998年　トマス杯　インドネシアチーム 1位
1999年　スイスオープン 2位
2000年　トマス杯　インドネシアチーム 1位
　　シドニーオリンピックベスト 8
2001年　インドネシアオープン 1位
　　スイスオープン 2位
2002年　トマス杯インドネシアチーム 1位
　　スイスオープン 1位
　　全英オープンベスト 8
2003年　WORLD CHAMPIONSHIPベスト 8
　　全英オープンベスト 8
2004年　パキスタンオープン 2位
　　カナダマスターベスト 4

リオニー　マイナキー（RIONNY MAINAKY）
1990年　インドネシアランキングサーキット 1位
1991年　オーストラリアオープン 3位
　　インドネシアオープン 2位
1992年　インドネシアランキングサーキット 1位
　　インドネシア総合 1位
2001年　インドネシアオープンベスト 4



MMOA JAPAN CO., LTD.

モア・ジャパン株式会社

〒232-0015　神奈川県横浜市南区共進町1-23
TEL. 045-730-0495　FAX. 045-743-0392

www.badminton.co.jp

手に汗にぎる瞬間を、見せてください。



OHKと、OHKスポーツ振興財団は
スポーツマンを応援しています。



OH!援団の旗 無料 レンタル中!

各種スポーツ大会や運動会などにピッタリの旗です。遠慮なくお使いください!

無料レンタルご希望の方は、
OHKのホームページ
「OH!くん」のコーナーで!

www.ohk.co.jp

OHK

GOSEN

体感、超高速スマッシュ!

ボンサナ・ブンサック[タイランド]:
タイシングルスチャンピオン

BS323
0.66mm(22GA.)
10m(33FT.)

Badminton

快音
超高弾性

MIRACLELIGHT 66
ミラクルライト66

ゴーセン
インターナショナル
モデル

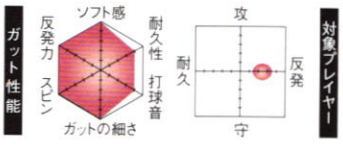
GOSEN

海外トッププロが認めた反発力と耐久性。
[ミラクルライト66]、いよいよ日本上陸です。

爽快な打球音が耳に届くと同時に、ライバルの脇をすり抜けるスマッシュ。0.66mmに秘められた驚異の反発力が、あなたに勝利をもたらします。超極細ゲージの常識を超えた高耐久性は、糸の奥まで樹脂が染み込むゴーセン独自の「ディッピング加工」が実現しました。[ミラクルライト66]、その奇跡をどうぞご体感ください。

NEW MODEL
ミラクルライト 66
BS323 | ¥1,050

□ゲージ/0.66mm(22GA.)
□長さ/10.0m
□本体価格 ¥1,000



張人 GOSEN HARIBITO

ガットやプレイに関することなら何でも「張人(はりびと)」にご相談ください。

詳しくはホームページをご覧ください
http://www.gosen.jp/

「張人」とは、いわばガットドクターのようなもの。あなたのプレイスタイルに最適なガットを見つけたり、クセを把握して張り方を調整します。スランプのときは「張人」に相談してみてください。きっと的確なアドバイスが返ってきます

生きることの尊さと
健康であることの幸せを、
すべての人と共に





祝 晴れの国おかやま国体
輝いて!おかやま大会

汗いっぱい・夢いっぱい
ベストを尽くしてがんばれ!!

あなたがキラリ☆

医療法人創和会

しげい病院
倉敷市幸町2-30

重井医学研究所附属病院
岡山市山田2117

重井医学研究所
岡山市山田2117

倉敷しげい訪問看護ステーション
倉敷しげい居宅介護支援事業所
倉敷市幸町2-30 しげい病院南館1F

岡山しげい訪問看護ステーション
岡山しげい居宅介護支援事業所
岡山市山田2117 重井医学研究所1F

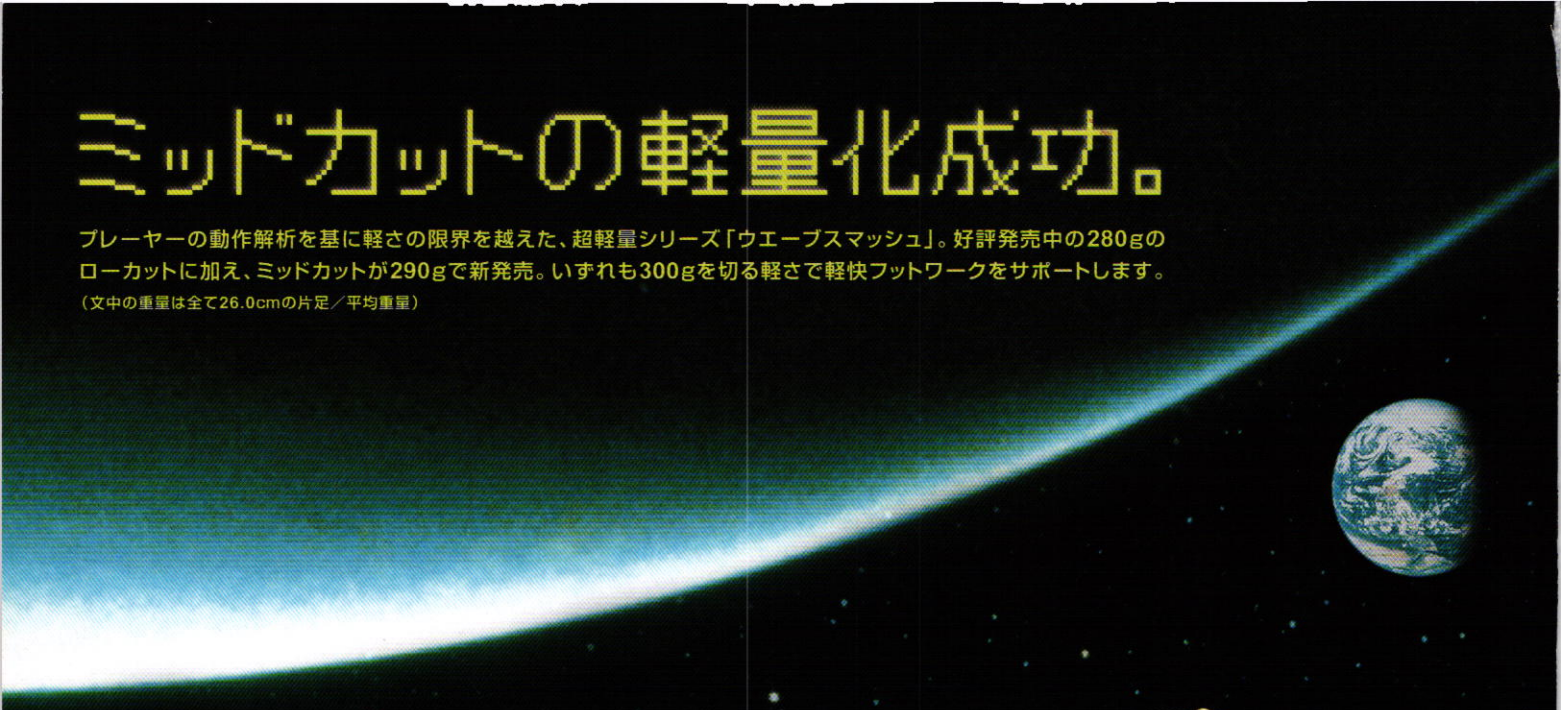
重井薬用植物園
倉敷市浅原20

倉敷昆虫館
倉敷市幸町2-30 しげい病院8F

http://www.shigei.or.jp

ミッドカットの軽量化成功。

プレーヤーの動作解析を基に軽さの限界を越えた、超軽量シリーズ「ウエーブスマッシュ」。好評発売中の280gのローカットに加え、ミッドカットが290gで新発売。いずれも300gを切る軽さで軽快フットワークをサポートします。
（文中の重量は全て26.0cmの片足／平均重量）



コートで人気のミッドカットは290g。



WAVE SMASH® S2 7KM-S1025 ¥10,500（本体¥10,000） サイズ／22.5～28.0cm

シリーズ最軽量、280gのローカット。



WAVE SMASH® SR 7KM-40009 ¥12,600（本体¥12,000） サイズ／23.0～28.5cm

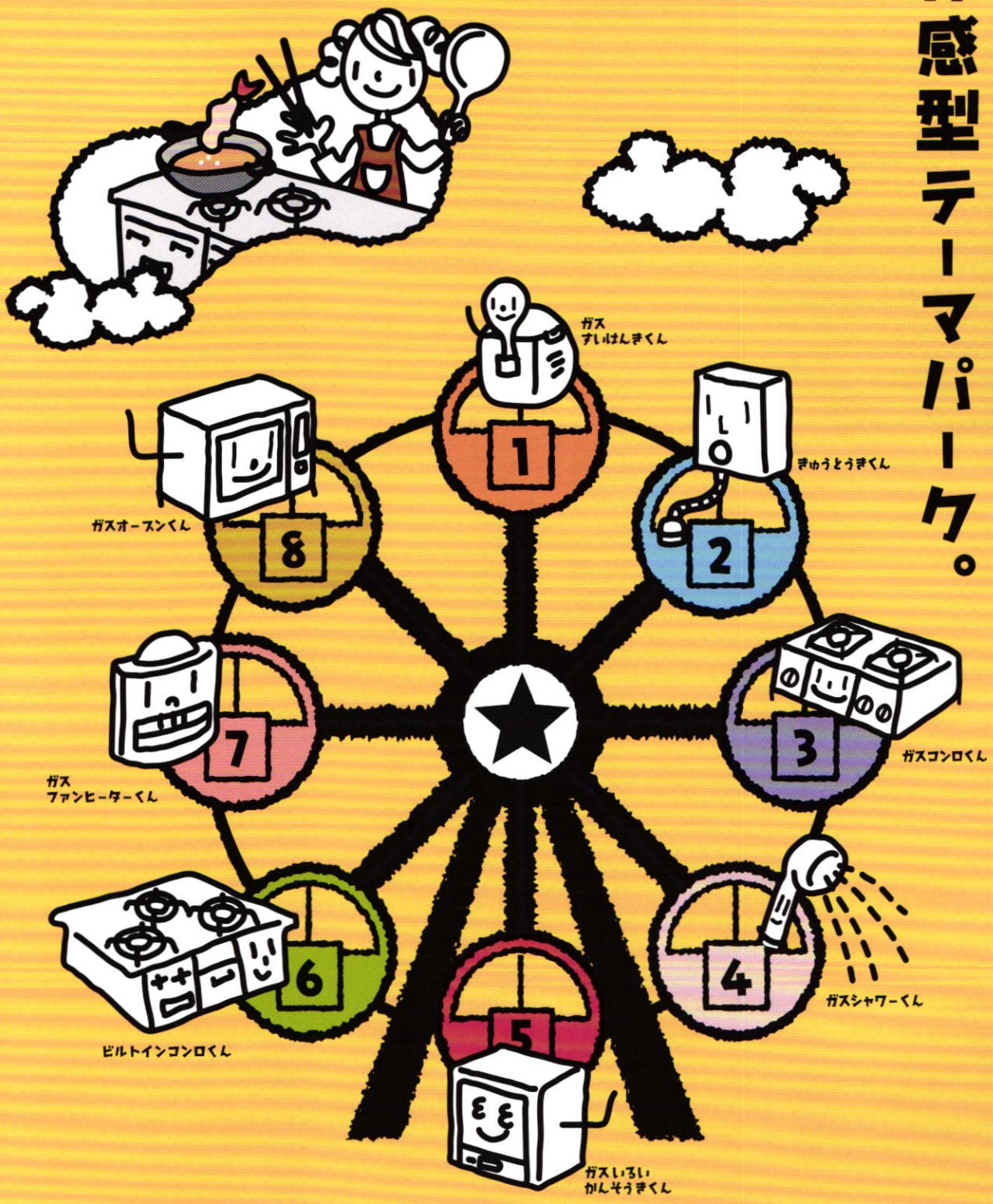
MIZUNO

● www.mizuno.co.jp ● 0120-320-799

● 記載価格は、消費税込みのメーカー希望小売価格です。（ ）内は消費税抜き本体価格です。

岡山ガス
http://www.okagas.co.jp

都市ガスライフ体感型テーマパーク。



より快適に、より美味しい生活、体験してみませんか？

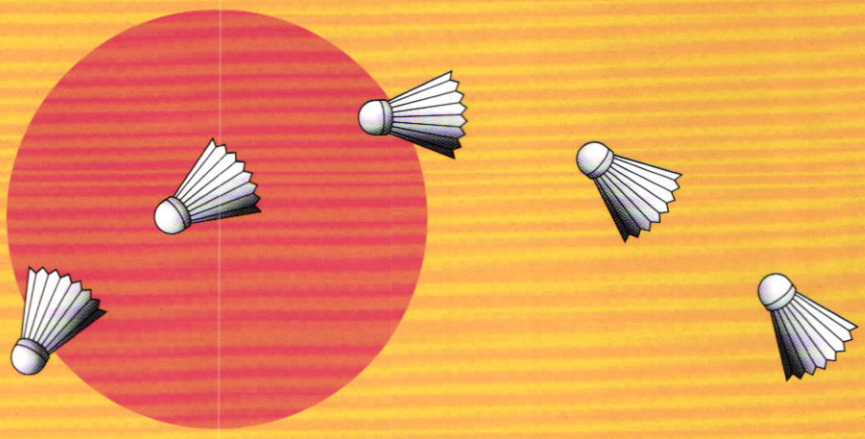
アスパラガス
OKAYAMA GAS SHOW ROOM
Special cooking space

岡山ガスショールーム
〒700-0907　岡山市下石井2-2-5ニッセイ岡山スクエア1F
TEL(086)223-5195 / FAX(086)223-5213
営業時間／9:00～19:00（一部の祝日を除く年中無休）
土・日・祝日は9:00～18:00





YONEX



Thomas & Uber Cup Japan 2006









The Champions Of The Thomas Cup	
1948～49	Malaya
1951～52	Malaya
1954～55	Malaya
1957～58	Indonesia
1960～61	Indonesia
1963～64	Indonesia
1966～67	Malaysia
1969～70	Indonesia
1972～73	Indonesia
1975～76	Indonesia
1978～79	Indonesia
1981～82	China
1984	Indonesia
1986	China
1988	China
1990	China
1992	Malaysia
1994	Indonesia
1996	Indonesia
1998	Indonesia
2000	Indonesia
2001～02	Indonesia
2004	China

The Champions Of The Uber Cup	
1956～57	U.S.A.
1959～60	U.S.A.
1962～63	U.S.A.
1965～66	JAPAN
1968～69	JAPAN
1971～72	JAPAN
1974～75	Indonesia
1977～78	JAPAN
1980～81	JAPAN
1984	China
1986	China
1988	China
1990	China
1992	China
1994	Indonesia
1996	Indonesia
1998	China
2000	China
2001～02	China
2004	China



http://www.yonex-tuc.com

YONEX

国別対抗世界選手権の最高峰〈仙台・東京で開催!!〉

ヨネックストマス杯&ユーバー杯ジャパン2006

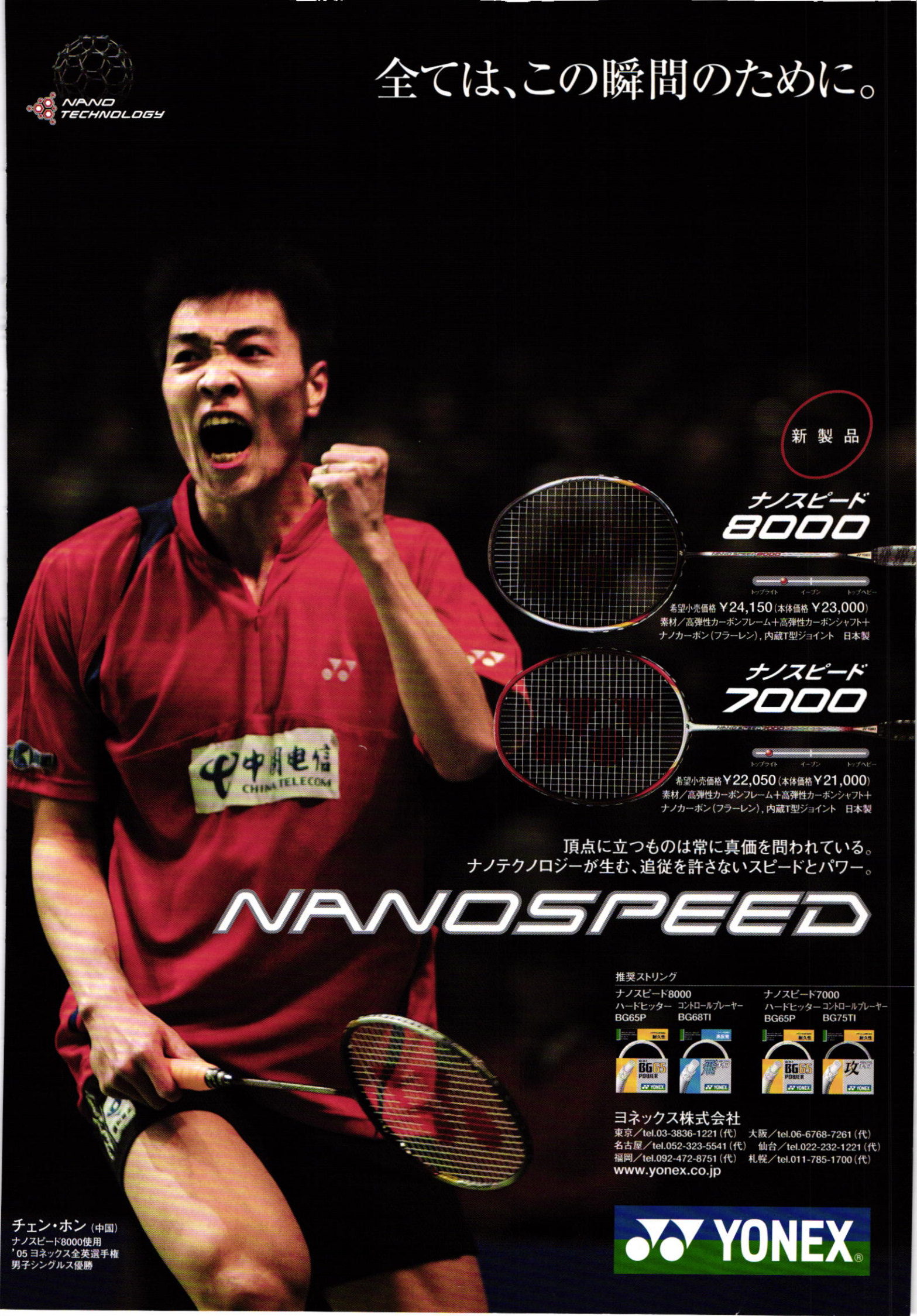
24th The Thomas Cup & 21st The Uber Cup Finals

第24回トマス杯争奪世界男子団体バドミントン選手権大会・第21回ユーバー杯争奪世界女子団体バドミントン選手権大会

●**順位決定リーグ**／仙台市体育館：2006年4月28日（金）～5月1日（月）［5月1日（月）決勝トーナメント1回戦］●**決勝トーナメント**／東京体育館：2006年5月3日（水）～5月7日（日）［5月3日（水）トマス杯・ユーバー杯　準々決勝／5月4日（木）ユーバー杯準決勝／5月5日（金）トマス杯準決勝／5月6日（土）ユーバー杯決勝／5月7日（日）トマス杯決勝］●**入場料【仙台会場】**◎4月28日（金）～5月1日（月）／SS席（当日5,000円・前売4,000円・通し券9,000円）、S席（当日3,000円・前売2,500円・通し券6,000円）、一般席（当日2,000円・前売1,500円・通し券4,000円）、中・高校生（当日1,500円・前売1,000円・通し券2,000円）、小学生（当日800円・前売500円・通し券1,000円）**【東京会場】**◎5月3日（水）／S席：指定（当日6,000円・前売5,000円）、一般席（当日3,000円・前売2,500円）、中・高校生（当日2,000円・前売1,500円）、小学生（当日800円・前売500円）◎5月4日（木）～5月7日（日）／SS席：指定（当日12,000円・前売10,000円）、S席：指定（当日6,000円・前売5,000円）、一般席（当日3,000円・前売2,500円）、中・高校生（当日2,000円・前売1,500円）、小学生（当日800円・前売500円）◎5月3日（水）～5月7日（日）通し券／S席：指定（当日・前売15,000円※S席は限定500枚）、一般席（当日・前売7,500円）、中・高校生（当日・前売4,500円）、小学生（当日・前売1,500円）●主催／国際バドミントン連盟［I.B.F］財団法人　日本バドミントン協会［N.B.A］●共催／東京都・仙台市●主管／東京都バドミントン協会・宮城県バドミントン協会・仙台市バドミントン協会●冠協賛／ヨネックス株式会社●テレビ放映／NHKテレビ［放映予定］●チケット販売／チケットぴあにて先行発売

NANO TECHNOLOGY

全ては、この瞬間のために。



新製品

ナノスピード 8000

トップライト　イーブン　トップヘビー

希望小売価格 ¥24,150（本体価格 ¥23,000）
素材／高弾性カーボンフレーム＋高弾性カーボンシャフト＋
ナノカーボン（フラーレン）, 内蔵T型ジョイント　日本製

ナノスピード 7000

トップライト　イーブン　トップヘビー

希望小売価格 ¥22,050（本体価格 ¥21,000）
素材／高弾性カーボンフレーム＋高弾性カーボンシャフト＋
ナノカーボン（フラーレン）, 内蔵T型ジョイント　日本製

頂点に立つものは常に真価を問われている。
ナノテクノロジーが生む、追従を許さないスピードとパワー。

NANOSPEED

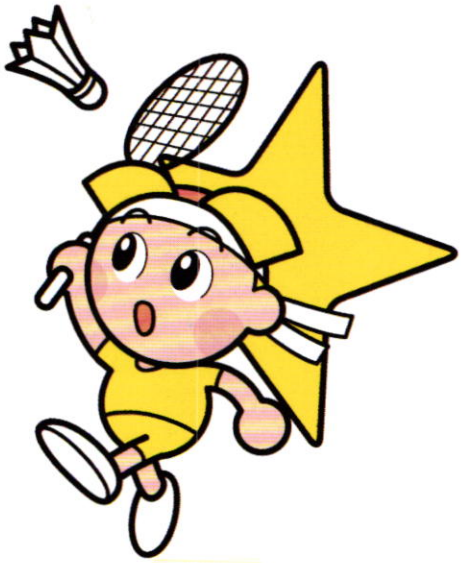
推奨ストリング

ナノスピード8000		ナノスピード7000	
ハードヒッター	コントロールプレーヤー	ハードヒッター	コントロールプレーヤー
BG65P	BG68TI	BG65P	BG75TI

ヨネックス株式会社
東京／tel.03-3836-1221（代）　大阪／tel.06-6768-7261（代）
名古屋／tel.052-323-5541（代）　仙台／tel.022-232-1221（代）
福岡／tel.092-472-8751（代）　札幌／tel.011-785-1700（代）
www.yonex.co.jp

YONEX®

チェン・ホン（中国）
ナノスピード8000使用
'05 ヨネックス全英選手権
男子シングルス優勝



競技結果をインターネットで速報します
http://www.kirokukensaku.com/kokutai

携帯サイトでも競技結果を速報します
http://www.keitai.kyogikekka.com/kokutai



来年は

のじぎく兵庫国体

でお会いしましょう